

第3章 教育施策の推進状況

第1節 社会の変化に対応する教育の推進

第1 目標達成型の学校経営の推進

各学校がそれぞれの学校の現状と地域の状況、東日本大震災津波からの復旧・復興状況などを踏まえながら、中長期的な目標の下、毎年度の達成目標とその実現方策を明らかにした学校経営計画を定め、実行し、その成果と課題を検証していくというPDCAサイクルに基づく学校経営の取組を推進した。

1 目標達成型の学校経営の推進

校長のリーダーシップの下、家庭・地域との協働体制の強化を図り、学校経営計画の方針策定や実行プロセスへの校内教職員の参画、学校内外の評価なども取り入れたPDCAサイクルに基づく学校経営を推進した。

重視する教育活動について、目指すべき成果やそれに向けた取組の具体的な目標を定めた「まなびフェスト」の公立小・中学校における作成状況は100%である。

2 家庭・地域社会との協働の促進

学校・家庭・地域社会が一体となって子どもたちの生きる力を育むため、学校では、家庭や地域と協働する「いわて型コミュニティ・スクール構想」の実現に向けて、家庭や地域との相互交流を積極的に促進するとともに、学校運営についても、家庭や地域の願い・意見等を把握しながら絶えず見直し、改善の努力をしていく「開かれた学校づくり」を推進した。

3 「開かれた学校づくり」の推進

(1) 地域連携の窓口となる教員の配置

地域や学校の実態に応じて、地域連携の窓口となる教員を配置し、積極的に地域社会と連携した開かれた学校づくりを推進した。

配置の状況は、小・中学校、高校、特別支援学校ともに100%である。

(2) 学校評議員の設置

児童生徒や保護者、地域住民の学校教育に対する意向を把握するとともに、学校運営などについて説明責任を果たすため、学校評議員の設置を推進した。全ての県立学校で設置され、小・中学校においても82.5%で設置されている。

【目標】

児童生徒や保護者、地域住民の意向を把握するとともに、学校運営などの説明責任を果たすため、全ての県立学校において学校評議員を設置することとする。

なお、小・中学校に対しては、各学校の実情に応じた積極的な取組について指導する。

【進捗状況】			【今後の取組】 学校評議員の積極的な活用を図るため、各校に学校評議員の活用状況等に係る情報を提供するとともに、各市町村教育委員会に対して設置の働きかけを行う。
	H26岩手県	H26全国平均	
公立小学校	280校(82.8%)	75.4%	
公立中学校	135校(81.8%)		
公立高等学校	65校(100%)		
公立特別支援学校	13校(100%)		

(3) 学校評価の実施

学校運営の改善や活性化を進め、教育活動に係る家庭や地域等への説明責任を果たすため、学校自己評価及び評価結果の公表を推進するとともに、自己評価結果に対する学校関係者評価を推奨している。ほとんどの学校が自己評価を行ったが、学校関係者評価については小・中学校で全国平均を下回っているものの、8割を超える学校が実施している。

【目標】 平成19年に改正された学校教育法及び施行規則等の規定に沿った学校評価の実施を推進する。 (1) 学校は自ら評価を行い、その結果を公表する（義務規定）。 (2) 学校は、学校関係者評価を行い、その結果を公表するよう努める（努力規定）。 (3) 学校は、自己評価及び学校関係者評価を行った場合は、その結果を設置者に報告する。						
【実施状況】	自己評価の実施		自己評価結果の公表		学校関係者評価の実施	
	岩手県 (H26)	全国 (H26)	岩手県 (H26)	全国 (H26)	岩手県 (H26)	全国 (H26)
公立小学校	338校(100%)	99.9%	331校(97.9%)	99.9%	304校(89.9%)	96.0%
公立中学校	165校(100%)		163校(98.8%)		146校(88.5%)	
公立高等学校	65校(100%)		65校(100%)		63校(96.9%)	
公立特別支援学校	13校(100%)		13校(100%)		13校(100%)	

(4) ホームページの開設

学校からの情報発信力を強化するため、全ての県立学校においてホームページを開設しているが、小・中学校における開設状況は7割を下回っている。

【目標】 全学校でのホームページの開設及び学校情報の発信に取り組む。		
【進捗状況】		【今後の取組】
	H27岩手県	学校運営等の積極的な情報発信の趣旨からもその充実を図るため、運用に際しての掲載すべき内容を指導するとともに、先進事例を紹介する。
公立小学校	63.3%	
公立中学校	63.6%	
県立学校	100%	

4 地域との交流の促進

地域におけるボランティア活動、伝統芸能等の継承、行事や祭事への積極的な参加、社会福祉施設との連携等、地域に開かれた学校づくりを実践的に推進した。

5 地域の人材の活用

地域の伝統文化・芸能の継承活動等において、保護者や地域の方々を指導者として招き、児童生徒が地域を理解する学習の推進を図った。

また、日常の各教科や総合的な学習の時間等においても、保護者や地域の専門的な知識・技能を有する方々をゲストティーチャーとして積極的に招聘するなど、地域の人材の活用を積極的に推進した。

6 学校の開放

地域住民の交流や学習の拠点としての役割を担う観点から、学校の体育施設等や学校図書館、空き教室等の積極的な開放を行った。

第2 社会人として自立できる能力の育成

社会の仕組みや経済社会の構造、高度情報化社会の特性、持続可能な社会をつくる取組等について、国際理解教育、情報教育、環境教育等を推進することにより、高校卒業までに、社会を生きる人間として必要な知識・技能を習得させ、自ら学ぶ態度を養うよう努めた。

さらに、児童生徒が自己の在り方・生き方を考え、主体的に進路を選択し、社会人・職業人として自立する能力を育成するため、「いわてキャリア教育指針」に基づき、「いわてキャリア教育の手引き」を活用して、学校の取組の促進に努めた。

1 児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実

各学校が児童生徒の実態等に応じて、わかる授業を基盤とした、習熟の程度に応じた指導などの少人数指導や繰り返し学習などきめ細かな指導ができるように、児童生徒一人一人の主体的な「学び」の支援・指導の充実に努めた。

2 社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造等

各学校が総合的な学習の時間などを中心に体験的な学習を積極的に取り入れ、児童生徒の関心・意欲や思考力、判断力、表現力を育成し、社会の変化に主体的に対応する新たな「学び」の創造に取り組むことができるよう、支援・指導の充実に努めた。

3 学校裁量を生かした創意工夫

(1) 平成27年度文部科学省・岩手県教育委員会研究指定校（高等学校を除く）

文部科学省指定

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名	指定年度
道徳教育の抜本的改善・充実	盛 岡	滝沢市立一本木中学校	H27
人権教育研究指定校事業	沿岸南部	大船渡市立末崎中学校	H27
英語教育強化地域拠点事業	盛 岡	紫波町立日詰小学校・古舘小学校・赤石小学校・紫波第一中学校・紫波総合高等学校	H26・27
防災教育を中心とした実践的安全教育総合支援事業	盛 岡	盛岡市教育委員会 雫石町教育委員会	H27
	中 部	花巻市教育委員会 西和賀町教育委員会	
	県 南	奥州市教育委員会 一関市教育委員会	
	沿岸南部	大船渡市教育委員会 釜石市教育委員会	
	宮 古	宮古市教育委員会	
	県 北	洋野町教育委員会	
教育課程研究指定校事業	盛 岡	盛岡市立河北小学校（道徳） 矢巾町立矢巾東小学校（理科）	H27

岩手県教育委員会指定

指 定 領 域	教育事務所	学校（地域）名	指定年度
県研究指定校事業	県 南	金ヶ崎町立金ヶ崎中学校（英語）	H25・26・27
	盛 岡	滝沢市教育委員会（学力向上・中学校）	H26・27

(2) 教科書関係

ア 採択の概要

平成26年度に小学校用教科書の採択替えを行い、平成27年度に中学校用教科書の採択替えを行った。

イ 教科用図書選定審議会

県教育委員会は、市町村教育委員会及び国立、私立学校の校長の行う教科書採択が円滑適正になされるよう指導、助言、又は援助をするために、平成27年度使用教科用図書選定審議会委員を委嘱した。

教科用図書選定審議会に対し、義務教育諸学校の教科用図書の無償措置に関する法律第11条第1項の規定により、次の事項について諮問し、その答申を受けて各採択権者に対し、指導、助言、援助を行った。

(ア) 平成28年度において使用する義務教育諸学校の教科用図書を各採択権者が採択する場合における採択基準について

(イ) 教科用図書選定のための資料について

ウ 教科書展示会

教科書の発行に関する臨時措置法第5条第1項の規定により、平成27年度使用教科書展示会を、平成27年6月19日から14日間、次の18箇所の教科書センターにおいて開催した。

【教科書センター】岩手中央／盛岡／八幡平／葛巻／花巻／北上／奥州／金ヶ崎／県南／川崎／大船渡／住田／遠野／釜石／宮古／岩泉／久慈／二戸

(3) 高等学校教育全般

平成22年3月に策定した「今後の高等学校教育の基本的方向」では、高校教育の目標について、「「知・徳・体」を備え調和のとれた人間形成」、言い換えれば「自立した社会人としての資質を有する人財（生徒）の育成」としている。

また、平成27年度の高等学校教育指導指針では、学校教育全般にわたる指導の要点を次の21項目とし、教育の本質に根ざした学力の向上と健全育成を目指す学校教育の充実推進に努めた。

【各校共通して取り組む内容の指導の要点】

目標達成型の学校経営の推進／学力・授業力向上／キャリア教育／豊かな心を育む教育／特別支援教育／健やかな体を育む教育／岩手の復興教育

【各学校の経営計画により取り組む内容の指導の要点】

特別活動／総合的な学習の時間／国際理解教育／環境教育／消費者教育／人権教育／ボランティア教育／情報教育／読書指導／交流及び共同学習／定時制・通信制教育／研修・研究

【スポーツや伝統・文化に関わって各学校が取り組む内容の指導の要点】

競技スポーツの強化／伝統文化の教育

また、下表のとおり研究指定校を指定（いずれも文部科学省指定）するとともに、学習指導・授業研修等による訪問や生徒指導等による訪問を行い、指導した。

【平成27年度 岩手県公立高等学校等教育研究指定校】

研究主題	研究校	指定年度
スーパーサイエンスハイスクール（SSH）（理数系教育）	水沢	H24～28
	盛岡第三	H23～27
	釜石	H24～28
英語教育強化地域拠点校事業	紫波総合	H26～29
教育課程研究指定校	花北青雲	H26～27
確かな学力の育成に係る実践的調査研究	伊保内	H26～27
スーパーグローバルハイスクール（SGH）	盛岡第一	H27～31

(4) 定時制・通信教育

平成27年度における定時制課程の学校数は、9校（独立校1校、併置校6校、分校2校）であり、通信制課程は、杜陵高等学校本校（宮古分室含む。）、奥州校の2校である。

昭和56年度から定時制高等学校と県立高等職業訓練校（1年課程）7校との間に技能連携教育が始まり、さらに昭和57年度には雇用促進事業団立総合高等職業訓練校（2年課程）2校が加わった。この制度により高校を卒業した生徒は541人にのぼっており、平成27年度における技能連

携教育は、杜陵高等学校通信制と岩手看護高等専修学校で行われている。

昭和63年4月には杜陵高等学校定時制に全国初の単位制を導入し、平成5年度からは3部制にして、働きながら学ぶ生徒を支援する教育に加え、多様な生徒の学習ニーズに対応している。

ア 定時制、通信制学科別入学及び在籍生徒数

(ア) 入学生徒数（平成27年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	衛生 看護科	工業科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	560	108	—	—	—	6	—	—	114	20.4
通信制	330	96	—	—	—	—	—	—	96	29.1
合計	890	204	—	—	—	6	—	—	210	23.6

[平成26年5月1日現在の生徒数計は、定時制129人、通信制108人、合計237人であり、それぞれ15人減、12人減、27人減]

(イ) 在籍生徒数（平成27年5月1日現在） [単位：人、%]

課程	定員	普通科	農業科	生活科	衛生 看護科	工業科	産業科	商業科	計	定員充足率
定時制	2,240	373	—	—	—	12	—	—	385	17.2
通信制	—	1,099	—	—	0	—	—	—	1,099	—
合計	2,240	1,472	—	—	0	12	—	—	1,484	—

[平成26年5月1日現在の生徒数計は、定時制454人、通信制1,189人、合計1,643人であり、それぞれ69人減、90人減、159人減]

イ 就学奨励事業

就学促進と教育の機会均等の確保のため「高等学校定時制課程及び通信制課程等修学資金貸付」「高等学校定時制課程教科書及び通信制課程教科書給与事業」「夜間定時制高等学校給食費補助」を実施している。

ウ 主な事業（主催及び共催）

(ア) 岩手県高等学校定時制通信制教育振興会理事会・総会

期日……………平成27年5月11日

会場……………杜陵高等学校

参加者……………40人

(イ) 第65回岩手県高等学校定時制通信制生徒生活体験発表会

期日……………平成27年9月27日

会場……………一関第一高等学校

参加者等……………約100人（発表12人）

4 情報教育の充実

社会の情報化に対応した教育を行うため、「教育の情報化」を推進することとし、情報機器の整備促進及びその活用充実等のための研修や、ICT活用能力及び指導力の向上のための各種研修を積極的に実施した。

(1) 情報関連機器の整備状況（平成27年3月現在） [単位：人、%]

学校種別	コンピュータ1台あたりの児童生徒数		普通教室における校内LAN整備率		超高速インターネット接続率	
	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均	岩手県	全国平均
小学校	5.8	7.2	61.6	84.8	69.5	81.9
中学校	5.1	6.4	65.3	83.8	72.5	82.5
高等学校	4.5	5.0	98.7	94.2	100.0	78.2
特別支援学校	5.7	3.2	93.9	91.9	100.0	80.1
合計	5.2	6.4	70.5	86.4	74.6	81.6

(参考) 第2期教育振興基本計画による基準（文部科学省） [単位：人、%]

コンピュータ1台あたりの児童生徒数	電子黒板・実物投影機の整備	無線LAN整備率	超高速インターネット接続率
3.6	1学級当たり1台	100	100

（小学校、中学校、高等学校、特別支援学校共通）

(2) 教員の指導力の向上

ア 教員のICT活用指導力の状況（平成27年3月現在） [単位：%]

「わりにできる」「ややできる」と回答した教員の割合	岩手県	全国平均
教材研究・指導の準備・評価などにICTを活用する能力	82.4	82.1
授業中にICTを活用して指導する能力	71.3	71.4
児童・生徒のICT活用を指導する能力	68.5	65.2
情報モラルなどを指導する能力	77.6	77.7
校務にICTを活用する能力	80.1	78.2

イ 教員情報活用能力向上のための研修

小・中・高等学校及び特別支援学校の教員を対象に、総合教育センターで各種研修を行った。

ウ 初任者研修

初任者研修において、情報モラル指導や教育の情報化のための研修を行った。

5 国際理解教育の充実

国際化の進展に対応し、語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）により外国青年を招聘し、県立学校等における外国語教育や国際理解教育の充実を図った。

(1) 外国青年招致事業

ア 招致人員 12人

イ 国籍

米国、英国、カナダ、オーストラリア

ウ 配置先

学校教育室 1人

総合教育センター 1人

県立高等学校 10人

【配置・訪問学校名】

盛岡第一、盛岡第三、盛岡北、不来方、花巻北、花巻南、花北青雲、黒沢尻北、水沢、一関第一、釜石、杜陵、紫波総合、大迫、盛岡青松支援

(2) 外国語教育推進事業

これまで活用してきた語学指導等を行う外国青年招致事業（JETプログラム）における外国語指導助手に関する事業について、外国語指導の向上を目的として、より効率的かつ効果的な運用を図ることとし、平成20年度から一部の業務を民間業者に委託して、県内すべての高等学校に外国語指導助手を配置している。

（平成27年度 民間業者による外国語指導助手27人）

6 キャリア教育の推進

近年の社会構造や就業形態の複雑化を背景として、高校や大学を卒業した若者の早期離職傾向や勤労観・職業観の未熟さ、社会人・職業人としての資質や能力の不足等が社会的に大きな課題となっており、小・中・高の発達段階に応じたキャリア教育が重要であることから、平成21年度に策定した「いわてキャリア教育指針」及び「いわてキャリア教育の手引き」並びに平成24年3月に作成した「いわてが目指すキャリア教育」リーフレットを活用し、各学校におけるキャリア教育推進の支援に努めた。

(1) 実践的キャリア教育研修会（北上川流域ものづくりネットワーク共催）の開催

企業見学や人材育成担当者等からの講話を通して、実社会や産業とのつながりについて認識するとともに、キャリア教育に対する視野を広げる機会とする。

地区名	期 日	見学先	担当教育事務所
盛岡北	平成27年 7月30日(木)	株式会社やまびこ盛岡事業所	盛岡教育事務所
遠 野	平成27年 9月14日(月)	株式会社 トーノ精密	中部教育事務所
一 関	平成27年 8月26日(水) 平成27年 8月31日(月)	株式会社一関LIXIL製作所	県南教育事務所
該当地区を平成25、26年度で全校実施済み			沿岸南部教育事務所
該当地区を平成25年度で全校実施済み			宮古教育事務所
該当地区を平成25、26年度で全校実施済み			県北教育事務所

(2) キャリア教育指導者養成研修への派遣

県教育委員会及び市町村教育委員会のキャリア教育を担当する指導主事や小・中・高等学校のキャリア教育担当者・進路指導主事等に対し、発達段階に応じたキャリア教育、キャリア・カウンセリング等について必要な知識を習得させることをねらいとした文部科学省主催の講座であり、小学校2人、中学校2人、高等学校1人が受講した。

(3) キャリアアップサポート事業の実施

岩手県産業教育振興会が行うキャリアアップサポート推進事業（各学校における外部講師による講演会、生徒の企業見学等）に対し補助した。

(4) いわてのキャリア教育実践研修講座の実施

総合教育センターにおいて、教員研修を年2回実施した（平成24～27年度の4か年計画）。

この研修は、キャリア教育の計画立案や実践に当たって直面する諸課題の解決方法をより具体的に学ぶとともに、各校の実践内容について研究協議を行い、キャリア教育の実践に役立てることを目的としたものである。

7 職業教育の充実

(1) 職業教育の現状

本県における職業教育は、専門高校を中心に行われており、有為な職業人を育成するために、望ましい勤労観や職業観を培い、創造性を身に付けた総合的な人間育成の場としても大きな役割を果たしている。

また、近年、社会や産業構造、就労環境等も変化してきており、専門高校の教育内容等の一層の改善が求められているところである。

今後は、普通高校におけるキャリア教育の推進とともに、職業教育の更なる充実が求められていくものと考えられる。

(2) 職業教育の活性化に向けて

ア 新しい教育課程の実施

高等学校における職業教育のスタート段階では、専門分野の基礎的・基本的な知識・技能を定着させることが重要であり、平成21年3月に告示された新学習指導要領の改訂の趣旨を踏まえ、各教科・科目の基礎的・基本的な知識・技能の一層の定着を図るとともに、「課題研究」等の実践をとおした問題解決能力や自発的・創造的な学習態度の育成を進め、職業教育の活性化に努めた。

また、地域の産業や社会を担う人材を育成するためには、産業界と連携しながら、体験的な学習を更に推進していく必要がある。

イ 学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業の実施

平成19年度から平成22年度まで実施した文部科学省と経済産業省、農林水産省、水産庁との連携による「地域産業の担い手育成プロジェクト」の成果を踏まえ、平成22年度から県単独事業として実施している「学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業」において、企業内実習や企業技術者による学校での実践的指導、日本版デュアルシステムなどを実施することにより生徒の実践力の向上が図られた。

分野	平成27年度「学校・地域の協働によるキャリア教育推進事業」実施校
農業分野	盛岡農業、花巻農業、水沢農業、遠野緑峰
工業分野	盛岡工業、花北青雲、黒沢尻工業、水沢工業、一関工業、千厩、大船渡東、釜石商工、宮古工業、久慈工業、種市、福岡工業
商業分野	盛岡商業、花北青雲、北上翔南、水沢商業、一関第二、大東、大船渡東、釜石商工、遠野緑峰、宮古商業、久慈東
水産分野	高田、宮古水産
家庭分野	平舘、花北青雲、大船渡東、宮古水産

第3 児童生徒の健やかな成長を支える取組の推進

社会の変化の中で、児童生徒の健やかな成長を支援するため、教員の資質と能力の向上を図るとともに、少人数教育の充実に努めた。

1 特色ある学校づくり

各学校は、児童生徒一人一人が在り方・生き方を自覚し、将来の目標の設定や自己実現を図ることができるような、魅力ある学校づくりを進める必要がある。

そこで、平成21年度から、家庭、地域と協働して岩手の特色ある産業、文化を支える人材を育成するなど、生徒一人一人の多様な進路実現に向けた学校の取組を支援する「いわて未来創造人サポート事業」を実施している。

2 小規模校の振興

本県のへき地指定校は、平成27年5月1日現在小学校75校、中学校31校となっており、全学校に占める割合は、小学校22.1%、中学校18.6%で、小中学校全体では20.9%となっている。

また、複式学級を有する学校は、小学校100校（29.5%）、中学校4校（2.4%）である。

(1) 複式指導資料の作成

へき地・小規模複式指導資料を活用し、複式学級における学習指導の充実を図った。

(2) 複式指導等改善講座の実施

複式学級の特性を生かした学習指導の充実を図るため、複式学級の実態に即した研修を実施し、指導力の向上を図った。

教育事務所	学校名	期 日	研修内容
宮 古	山田町立轟木小学校	平成27年6月11日	出前授業、講義、演習

第4 教員の適正配置

1 教員採用試験の改善等

教員としての資質・能力のみならず、多角的な視点から判断できるような面接試験、論文試験を行っている。

また、実践的、専門的な技術、技芸等を教えることができる人材を確保し、学校を活性化することを目指して、スポーツ・社会人・特定教科特別選考を実施するとともに、臨時的任用教員経験者特別選考、現職教員特別選考を実施し、即戦力となる人材の確保に努めた。さらに、専門的な知識を持った人材の確保のために、英語資格所有者への加配措置や大学院進学者等への名簿登載期間延長制度の導入を行った。

2 人事管理の改善

義務教育諸学校においては第7次定数改善計画、高等学校においては第6次定数改善計画により、きめ細やかな指導と基礎学力の向上を図るため、少人数指導を可能にする加配措置がなされた。

また、学級編制については、平成18年度から平成19年度にかけて小学校1、2年生に35人学級編制を導入し、平成24年度には中学校1年生、平成25年度から平成26年度にかけて小学校3、4年生まで拡大した。

3 司書教諭の養成

平成15年4月1日から12学級以上の学校には司書教諭を配置することになったため、計画的な司書教諭の養成に努めた。

【平成27年度図書館司書教諭有資格者数】

小学校	458人
中学校	163人
高等学校	143人
特別支援学校	111人

4 教職員の養成・免許・検定

領域別免許状の保有状況等を勘案し、平成21年度から特別支援学校教諭免許状の取得を促すため、特別支援教育に関する科目のみの認定講習を開催するなど、県として保有状況の改善に努めた。

(1) 免許法認定講習

会場	盛岡市内3会場
期日	平成27年7月27日～8月7日
受講者	150人
単位授与者	150人
開設講座	3講座

(2) 教育職員の免許状授与状況

(右表のとおり)

【教育職員の免許状授与状況（単位：件）】

免許状の種類	平成27年度	平成26年度
授与・再交付・書換え		
普通免許状		
小学校教諭	246	246
中学校教諭	353	337
高等学校教諭	391	389
養護教諭	12	12
特別支援学校教諭	94	94
自立教科教諭(理療)	1	1
特別支援自立活動	0	0
幼稚園教諭	423	439
栄養教諭	27	27
計	1,547	1,545
臨時免許状		
小学校助教諭	14	11
中学校助教諭	7	7
高等学校助教諭	52	53
養護助教諭	1	0
特別支援学校助教諭	11	18
自立教科助教諭(理療)	0	1
幼稚園助教諭	6	3
計	91	93
特別免許状	0	3
再交付・書換え		
再交付	257	261
書換え	401	322
計	658	583
合計	2,296	2,224
免許状授与証明書	500	558

第5 教員研修の充実

本県における教育振興上の重要課題の解決のため、「授業力向上研修」を中心とする教員のキャリア・ライフステージに沿った新しい研修体系を平成21年度に策定し、研修を実施した。

特に、新学習指導要領の趣旨や内容の徹底を図るとともに、児童生徒の学力向上・健全育成を中心課題として、教員の指導力の向上を図った。

1 平成27年度研修実績

(1) 管理職研修

[単位：人]

講座名	受講対象	講座内容	日数等	研修者数
校長研修講座	小中学校長	人事・サービス上の諸問題、指導行政上の諸問題、復興教育・生徒指導関係、保健体育関係、教育センター関係、講話（岩手の教育の目指すもの／校長に望むこと）、意見交換会、コンプライアンス、グループ協議（教育課題協議）	2	502
副校長研修講座	小中学校副校長	副校長に期待すること、人事管理上の諸問題、復興教育、リスクマネジメント、講話、講演、研究協議等	1	502
新任校長研修講座	小中学校新任校長	人事・サービス上の諸問題、生徒指導上の重大事案への対応、教職員のメンタルヘルス、指導行政上の諸問題、新任校長に望むこと、学校経営に望むこと、アンガーマネジメント、学校経営とリスクマネジメント、校内における教職員の人材育成	2	68
新任副校長研修講座	小中学校新任副校長	副校長としての役割、先輩副校長から学ぶ、学校経営上の諸問題、コンプライアンス、教職員のメンタルヘルス、指導行政と学校教育、岩手の教育の目指すもの、人事管理上の諸課題、労働基準及び労働安全衛生について、学校教育課題に対する回答、サービス・法規課題に対する回答	3	90
新任校長研修講座	県立学校新任校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、学校の危機管理、インクルーシブ教育、コンプライアンス、新任校長に期待する	3	14
新任副校長研修講座	県立学校新任副校長	各学校の課題・取組状況についての意見交換会、生徒指導、教育法規演習、教職員のメンタルヘルス、労働安全衛生、特別な支援を要する生徒への対応、新任副校長に期待する	2	17

(2) 初任者・2年目研修（小学校・中学校、新採用教員対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等	研修者数
初任者研修講座	総合教育センター研修	学習指導要領、年間指導計画の作成、教育相談、学級経営、教科・道徳・特別活動、総合的な学習の時間の意義と進め方、情報モラル、自己研修等	(Ⅰ) 4	81
			(Ⅱ) 3	81
			(Ⅲ) 3	79
	教育事務所研修	身分とサービス、教育課程の編成、授業実習と授業研究、自己研修の進め方、社会奉仕体験の心構え等	5	81
市町村教育委員会研修	市内研修	各市町村の教育課題、教科・領域授業研究、各実践課題への取組等	2	81
			各種教育指導、学級経営、教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間の指導、生徒指導の実際等	180時間程度
2年目研修講座	総合教育センター研修	宿泊研修、学校安全、防災教育、自己研修等	3	77
	教育事務所研修	社会教育、コンプライアンス、メンタルヘルス等	2	77
	校内研修	校内授業研修（2回、20時間）、自己研修等	20時間程度	77

(3) 初任者・2年目研修（高等学校・特別支援学校、新採用教員対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数等	研修者数
初任者 研修講座	本庁研修	学習指導要領解説、教科・教育の現状と課題、授業参観、授業研究、他校種授業参観、社会奉仕体験活動	高校6 特支4	81 (高校53、 特支28)
	総合教育センター研修	サービスとその責任、復興教育、指導計画・指導案、教材研究、教科指導法、生徒理解、接遇、道徳教育、特別支援教育、総合的な学習の時間、特別活動、ホームルーム活動、ボランティア活動、キャリア教育、情報モラル、教育相談、自己研修 等	(高校Ⅰ) 4	53
			(高校Ⅱ) 4	53
			(高校Ⅲ) 3	53
			(特支Ⅰ) 3	28
			(特支Ⅱ) 4	28
			(特支Ⅲ) 3	28
	所属校研修	基礎的素養、ホームルーム経営、教科指導、特別活動、生徒指導 等	180時間程度	81
2年目 研修講座	総合教育センター研修	宿泊研修、学校安全、防災教育、自己研修 等	3	66
	フォローアップ研修	教科指導 等	(高校) 1	41
	本庁・センター研修	キャリア教育、自立活動の進め方 等	(特支) 2	25
	所属校研修	校内授業研修（2回、20時間）、自己研修 等	20時間程度	66

(4) 新任教務主任研修（小学校・中学校、新任教務主任対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修 (中央研修)	岩手の義務教育の充実を目指して、学校経営と教務主任、教務に役立つ情報活用、教務主任と教育法規、学校運営計画書と教育課程の編成について、教務主任への期待、教務主任の校務上の課題	2	84 (小56、中28)

(5) 新任教務主任研修（高等学校・特別支援学校、新任教務主任対象）

[単位：人]

講座名	コース名	講座内容	日数	研修者数
新任教務主任研修	新任教務主任研修	岩手の教育課題について、教務主任の役割、いわて特別支援教育推進プランの実行について、文書事務、教育活動と教育法規、教務課運営の実際、カリキュラムマネジメント、学力向上の推進、総合的な学習の時間・自立活動の指導の取組、学校における人材育成の進め方	3	28(高校24、 特支 4)

2 平成27年度研修事業受講者一覧（総合教育センター実施分）

(1) 所属種別研修講座数、研修者数（要請研修、随時研修は除く）

[単位：人]

講座\所属	幼稚園・保育所	小学校	中学校	高等学校	特別支援学校	事務職等	計
研修講座数	9	65	66	63	70		273(延)
研修者数	148	1,598	1,108	1,149	479		4,482

(2) 所属種別研修講座別研修者数

[単位：人]

研修名	講座名	研修者数										計	
		単 独					合 併						
		幼・保	小学校	中学校	高校	特支	幼・保	小学校	中学校	高校	特支		事務職
基本研修	初任者研修	134	117	124	172	119							666
	2年目研修		37	40	80	51							208
	教職経験5年研修		38	42	39	25							144
	教職経験10年研修	13											13
	授業力向上研修		670	413	390	112		416	261	199	68		2,529
	小計	147	862	619	681	307		416	261	199	68		3,560
特別研修	新任者				21			381	188	74	15		679
	教職専門		45	51	193	98		75	61	28	17		568
	事務職専門												
	小計		45	51	214	98		456	249	102	32		1,247
希望研修	教科研修			2					61	93	1		157
	領域等研修							35	40	47	27		149
	情報教育研修							8	16	34	4		62
	教育相談研修							66	47	58	16		187
	特別支援教育研修						1	51	31	18	24		125
	公開研修		118	6	1	11		32	24	15	19		226
小計		118	8	1	11	1	192	219	265	91		906	
	要請研修	1,019	2,418	1,955	1,883	2,152							9,427
	随時研修	24	193	135	110	19							481
	小計	1,043	2,611	2,090	1,993	2,171							9,908
	派遣研修							10	1	3	2		16
	総計	1,190	3,636	2,827	2,982	2,588	1	1,074	671	476	192		15,637

第6 教員研究等の充実

総合教育センターを中心に、本県教育における重要性・緊急性が高い諸課題について、以下の調査・研究を行った。

1 学習指導要領を具体化する小・中・高等学校国語科の指導法に関する研究

—学びの連続性を考慮し、言語活動の充実を図る授業づくり—

学習指導要領の趣旨を踏まえた授業について、目指すべき授業像や授業づくりの手法を明らかにし、授業実践の収集と分析を行った。平成 25 年度に「読むこと」領域、平成 26 年度に「書くこと」、平成 27 度は「話すこと・聞くこと」領域の研究を行い「授業づくりガイドブック」としてまとめた。

2 中学校社会科及び高等学校地理歴史・公民科における「アクティブ・ラーニング型授業」の進め方に関する研究

課題の発見と解決に向けて主体的・協働的に学ぶ「アクティブ・ラーニング」が提唱されている。資質・能力を育むため学びの質や深まりを重視し、課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学びの指導方法の研究を行った。平成 27 年度は理論を構築し、高等学校における研究担当者による授業実践とその検証を行い、理論の有効性を確認した。また、研究の考え方及び理論についてはガイドブックに、授業実践の様子についてはDVDにまとめた。

3 中・高等学校英語科における「話す力」を高めるための指導の在り方に関する研究

中・高等学校英語科では、自分の考えや気持ちを伝える「話す力」の育成を重視した授業への改善が求められている。そこで、中・高等学校を通じて「話すこと」における明確な学習到達目標を提示し、その目標を意識しながら授業デザインを工夫するとともに、授業を英語で行うことで英語の発話量を増やし、自然かつ十分なコミュニケーション活動を行うことができる言語使用場面を設定した授業をすることによって「話す力」が高まることを確認できた。

4 幼稚園・こども園・保育所における子育ての支援の進め方に関する研究

—親と子が共に育つ支援の質的充実を図るための事例集作成を通して—

幼稚園等で、幼児に対する保育とともに重要な役目とされている子育ての支援は、保育の外注化やサービス化として進めるのではなく、園と保護者のパートナーシップを形成し、子どもの健やかな成長につなげることが大切である。子育ての支援を「保護者の幼児期の教育に関する理解力の向上」という視点で見直し、質的に充実させていくための進め方について研究し、研究協力園での実践事例を通してその有効性を明らかにした上で、その成果を「親と子が共に育つ子育ての支援事例集」としてまとめた。

5 小学校理科の追加内容における教材と指導に関する研究

平成 20 年に学習指導要領が改訂され、小学校理科では授業時数が大幅に増加したことに伴い、14 の学習内容が追加された。この追加内容について、全面実施から数年経過しているが、指導法や教材の研究があまり進んでおらず、学校において指導に苦慮している状況がうかがえる。この状況を克服するために、指導の工夫・改善及び教材の開発・工夫に関する研究を行い、その成果をガイドブックにまとめた。

6 児童生徒の実態に即した体系的な情報モラルの指導に関する研究

教員による情報モラルの指導に関する実態調査から明らかになった「教材に関する課題」「指導

内容や方法に関する課題」を考慮し、自校の児童生徒の実態や様々な指導機会に応じ、教材を選択し組み合わせることができる教材集を作成し提供を行っている。このことにより、教員による体系的な情報モラルの指導の充実を図ることができた。

7 タブレットPCを活用した学習指導に関する研究

学習指導の充実を目的としたタブレットPCの活用の在り方について、タブレットPC導入後における、児童や教員、機器環境等の実態を踏まえた段階的な活用や学校規模に応じた具体的な実践事例を積み上げた。また、情報モラルの指導教材「情報サイト LAN」の掲示板機能を、道徳の振り返りや音楽の鑑賞の場面で活用し、児童同士の考えを共有しやすい環境を生かした学習指導の有用性について実践を通して明らかにすることができた。

8 通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童生徒への支援の充実に関する研究

—校内資源を活用した校内支援体制の確立を目指して—

多くの小・中学校の通常の学級には、特別な支援を必要とする児童生徒が在籍している。こうした児童生徒の支援においては、一人一人が充実した学校生活を送ることができるように、校内の各分掌等の資源を効率的に関連させ、校内全体で取り組む必要がある。そこで、校内支援体制の基本的モデルを策定し、この活用を図ることで、児童生徒の支援の充実につながる校内支援体制の確立に役立てることができた。

9 高等学校理科「化学基礎」における学習指導要領に対応したサポート資料の作成

高等学校において、生徒の化学的に探究する能力と態度を育成するために、目的意識をもって行われる観察、実験の充実を図ることを目的に、導入の工夫や薬品の取り扱いなどの観察、実験に関する情報を集約した理科教員向けの「化学基礎」のサポート資料を作成した。さらに、サポート資料に基づき授業実践を行い、導入の工夫が目的意識の形成に効果的であることを明らかにし、その結果をサポート資料に反映させた。

10 タブレットPCを活用した学習指導に関する研究

—「思考力・判断力・表現力」を高める指導を目指して—

小学校の教科指導において「思考力・判断力 表現力」を高めることを目的とした学習過程を工夫し、タブレットPCを活用した学習指導を行った。音楽科においては、児童にタブレットPCで自分の歌っている姿を撮影して歌い方を確認させ、国語科においては、俳句のテーマとしてイメージする場面を撮影しそれを基に俳句を創作させた。このように活用することで、児童は自分を高めたり変容させたりするためにはどの学習を役立てられるか考えることができるようになり、「思考力・判断力」の高まりが見られた。また、算数科においては、タブレットPCの画面上の式や図、表などを用いて自分の考えを表現させ、理科においては、自然観察の際に撮影した写真を提示しながら自分の考えを説明させた。このように活用することで、児童は個々に合った方法で表現をすることができようになり、「表現力」を高めることができた。

11 重度・重複障がいのある児童生徒の教育内容・指導方法の充実に関する研究

—A T・I C T機器を活用した指導実践の提示を通して—

重度・重複障がいのある児童生徒が抱える意思表出やコミュニケーション、身体活動等の困難を軽減するための手立ての一つであるAT（アシスタント・テクノロジー）・ICT機器に着目し、先行研究や、ICT活用状況調査、授業実践を通して、実態に応じた機器やアプリケーションの選択、活用の方法について明らかにした。また、児童生徒が主体的な活動を行うことのできる教育内容・指導方法の充実に関与するためのICT活用実践資料を作成した。

第2節 確かな学力をはぐくむ教育の推進

第1 学習指導要領を踏まえた教育課程の編成

学習指導要領の趣旨の確実な周知と理解を図り、効果的な教育課程の編成と実践に向けた指導の在り方を支援し、地域や児童生徒の実態に即した柔軟で特色ある教育を推進するよう努めた。

また、学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした柔軟で適切な教育課程を編成するために、9年間の義務教育を効果的なものにしていく一つの方策として、小中連携・一貫教育に関する取組への支援を進める環境を整備した。

具体的には、次のとおりである。

- 1 児童生徒に生きる力をはぐくむことを目指し、創意工夫を生かした特色ある教育活動を展開することができたこと
- 2 基礎的・基本的な内容の確実な定着を図り、個性を生かす教育の充実に努めることができたこと
- 3 教育課程を計画的・組織的に評価し、教育課程の見直しと改善を図ることができたこと

第2 学習面における基礎・基本の定着

基礎的・基本的な知識や技能に加え、習得した知識や技能を活用し、自らの人生を切り拓いていくために必要な能力である思考力、判断力、表現力を身に付けさせるよう努めた。

このため、きめ細かな指導を通じて、児童生徒に自信と意欲をもたせるとともに、家庭と連携して学習習慣の確立を図った。

また、少人数教育による児童生徒の実態や状況に応じた柔軟な指導を推進するよう努めた。

1 児童生徒一人一人の学習面における基礎・基本の確実な定着

(1) 学習面における基礎・基本の確実な定着

各種調査により明らかになった課題を解決するための取組を推進した。

- ・ 授業力の向上・分析力の向上（学習定着度状況調査 集計・分析シートの活用）
- ・ 分析結果を活用した授業改善の推進（授業力向上ブラッシュアッププラン）
- ・ 基礎力の定着状況の把握（基礎力確認調査）

(2) 市町村教育委員会や関係機関などと連携した少人数教育の推進

2 学力・授業力向上の取組

(1) 学校訪問の趣旨

学習定着度状況調査の分析及び学力向上のための学校訪問指導の結果等から、数学・英語の学力向上について取り組むべき課題が明らかになっている。この対策に取り組むため、学校教育室に学力・授業力向上を担当する指導主事を配置し、算数・数学、英語に携わる教員に対して授業力の向上につながる支援を行うとともに、教員一人一人が更なる授業改善に取り組み、授業力の向上を図ることによって、各教科の課題解決を目指すものである。

ア 取組内容

<p>【小・中学校】授業力向上ブラッシュアップ事業 授業改善研修会</p> <ul style="list-style-type: none">● 学習指導要領の趣旨及び学習定着度状況調査の分析結果、授業の実態等を踏まえ、授業における言語活動の充実や県の教育課題の解決に視点を置いた学習活動や学習評価の在り方を改善するため、プロジェクトチームによるモデル授業の提案を中心とした授業改善研修会を通して、参加教員をはじめとする小・中学校教員の授業改善の推進に資する。 ⇒プロジェクトチームによる授業説明＋モデル授業＋研究協議＋講義 ⇒小・中・高の教員が同一の授業を見て気付き合うことや情報交換できるような場を提供
<p>【県立高校】授業実践セミナー（数学）及び域内研修会（英語）</p> <ul style="list-style-type: none">● 県内各地区の優れた授業実践（数学・英語）や、岩手の教育課題の解決に基づいた授業を紹介するほか、児童、生徒の学力向上に向けた授業力向上のための講義や演習の実施 ⇒モデル授業＋研究協議若しくは付箋紙ワークショップ＋講義による参加型の半日の研修会が基本 ⇒中・高の教員が同一の授業を見て気付き合うことや情報交換できるような場を提供
<p>個別訪問</p> <ul style="list-style-type: none">● 【目的】 諸調査から見える県全体の課題解決と、各校の課題に応じた授業改善に向けた個別支援● 【訪問対象校】 ⇒訪問を希望する学校（※）● 【訪問内容】 ⇒授業参観（1単位時間）の後、指導助言及び授業者と個別相談、教科部会についての協議 ⇒校長・副校長との生徒の学力向上に向けた情報交換 <p>※ 個人、学校、市町村教育委員会として希望することも可能</p>

イ モデル授業から学ぶ研修会の実施（小・中・高）・個別訪問実績（中・高）

平成27年度実績

	モデル授業から学び研修会							個別訪問		
	<小中学校> 授業改善研修会 <県立高校> 授業実践セミナー（数学） 域内研修会（英語）									
	校種	年間実施計画 （校）	実施校 （校）	授業者 （人）	参加者（人）			年間実施計画 （校）	実施校 （校）	授業者 （人）
			小中学校	県立学校	合計					
算数・数学	中学校	5	5	5	134	0	134	15	16	23
	高等学校	6	6	6	9	146	155	65	65	98
	小学校	1	1	1	12	3	15			
	計	12	12	12	155	149	304	80	81	121
英語	中学校	6	6	6	160	7	167			
	高等学校	6	2	11	15	137	152	37	37	54
	計	12	8	17	175	144	319	37	37	54

3 中高連携学力向上協議会

(1) 趣旨

本県で実施している学習状況に係る諸調査の結果を活用し、各中学校、高等学校が授業改善の取組について教科の枠を超えた学校全体の横断的な取組や校種を超えた縦断的な取組へと発展させ、中高の接続の観点強化することにより生徒の確かな学力の育成に資する。

(2) 実施内容

- ア 学習状況に係る諸調査結果等の説明及び授業改善の取組についての講義
- イ 中・高での諸調査結果を活用した授業改善の取組に向けた協議
- ウ 教科の枠を超えた学校全体での授業改善の工夫についての協議

(3) 参加対象

地区内の各校において、授業改善を中心となって推進する教員1人（副校長、主幹教諭、教務主任等）

(4) 実施日及び実施地区

8月27日（木）	中部地区	（中学校24校、高校11校）
8月28日（金）	県南地区	（中学校32校、高校13校）
8月31日（月）	県北地区	（中学校23校、高校11校）
9月1日（火）	宮古地区	（中学校19校、高校7校）
9月2日（水）	沿岸南部地区	（中学校21校、高校7校）
9月9日（水）	盛岡地区	（中学校46校、高校16校）

第3 学力を伸ばし、生きる力をはぐくむ教育の推進

すべての教科等を通じて児童生徒の言語活動を充実させ、論理的な思考や表現する力、人間関係を豊かにする力などをはぐくむよう努めた。

また、児童生徒が自ら将来を考え、希望する進路を実現するために、それぞれの学校において学力向上に取り組むとともに、自立した社会人となるための意識の醸成や、学習に主体的に取り組むための動機付けなどを積極的に推進した。

1 進路指導の充実

進路指導は生徒の「人間としての在り方・生き方」についての指導、援助であるとともに、個々の生徒の職業的発達を促進し、主体的な進路の選択能力を育て、自己実現に最善の努力ができる人間の育成を図ることにある。このため、次のような点に留意して実施した。

- ① 校内進路指導体制の確立
- ② 年間指導計画の整備
- ③ 生徒理解の強化と生徒の自己理解の深化
- ④ 個人資料及び進路情報資料の収集と整備
- ⑤ 進路指導研修の充実と中高連携の強化
- ⑥ 中高の望ましい接続の在り方についての研修

2 魅力ある学校づくりの推進

学校の活性化と個性化を推進するため、各学校が自らの裁量で創意工夫を凝らした様々な活動を通じて、大学講習など進学指導に関する取組を実施した。

【いわて進学支援ネットワーク事業（28校）】

生徒一人一人の進路希望の実現とともに、医師、弁護士、高度先端技術分野の研究者や技術者等の、将来の本県を支える人材を育成するために、生徒の医学部等のいわゆる難関大学・学部等への進学希望も実現できるよう、学校の取組を支援した。

[主な取組]

○難関大学・超難関大学対策講座

県内各地域の難関大学志望の生徒を対象に広く呼びかけ、指導実績のある講師による対策講座を1年に3～4回合同で実施。

○ウィンター・セッション

県内高校の進学希望者に大学で学ぶ内容や意義を知る機会を提供するため、県内5大学等で組織される「いわて高等教育コンソーシアム」と合同で実施。

第3節 豊かな人間性や社会性をはぐくむ教育の推進

第1 道徳教育、体験活動・読書活動等の推進

人間としての在り方、生き方について考える力の育成と心の教育の充実を図り、他人を思いやり、良好な人間関係を築くことのできる力、自然や命あるものを大切に作る心など、児童生徒の内面に根ざした道徳性の育成を図った。

また、ボランティア活動など様々な体験活動や多様な読書活動に取り組み、物事に主体的にかかわり素直に感動できる豊かな情操を育てるよう努めた。

1 道徳教育の推進

学校の教育活動全体を通じた道徳教育を推進し、児童生徒の豊かな心の育成を図った。

教員の指導力向上のため、道徳教育の中核となる指導者養成研修に教員等を派遣し、指導力の向上を図るとともに、総合教育センターにおいて特別研修を実施し、道徳教育推進教師の資質向上を図った。

(1) 研修事業

- 平成27年度道徳教育指導者養成研修（中央指導者研修）（(独)教員研修センター）
平成27年5月18日～22日（5日間）指導主事（高等学校を含む）4人
- 平成27年度道徳教育指導者養成研修（東日本ブロック別指導者研修）（山形県山形市）
平成27年8月19日～21日（3日間）教諭（高等学校・特別支援学校を含む）15人
- 総合教育センターでの特別研修「道徳の時間を『要』として進める道徳教育研修講座」
平成27年11月9日～10日（2日間）教諭等

(2) 研究推進事業

- 児童生徒の心を耕す教育推進事業
中央指導者研修、ブロック別指導者研修への派遣研修者を活用し、授業研究会、理論研究会、教材研究の場等への講師を派遣することにより、道徳教育の質の向上を図った。

2 体験活動・読書活動の推進

学習指導要領の趣旨を踏まえて、児童生徒の人間として調和のとれた育成を目指し、地域や学校の実態と特色を生かした豊かな体験活動や読書活動を推進した。

(1) 体験活動の状況

体験活動の「いわての復興教育」などの教育活動への位置付けと多様な推進方策についての情報提供を図るとともに、各学校においては、地域や学校の特色を生かした体験活動への取組を進めた。

(2) ボランティア教育・環境教育の状況

福祉活動や環境保護などボランティア教育・環境教育に対する理解と関心を高め、社会貢献の精神を育てるとともに、児童生徒の豊かな人間性を育み、自らの生き方を主体的に考える態度の育成を図る教育を推進した。

ア ボランティア教育

ほぼ全ての小・中学校でボランティア活動が実施されており、特に、地域における清掃活動や募金活動を実施する学校が増えている。社会福祉協議会等関係機関と連携しながら、老人施設・福祉施設・特別支援学校等での交流活動や介護体験、キャップハンディ体験等を、総合的な学習の時間をはじめ、各教科、道徳、特別活動に積極的に取り入れ、体験的な学習としてボランティア活動に取り組むことが広がっている。

イ 環境教育

かつてない広がりや複雑さをもって環境問題が顕在化している現状を踏まえ、将来を生きる児童生徒が、この問題に関する正しい理解を深め、環境保全に参加する態度及び問題解決能力などを身に付け、責任をもって環境を守るための行動ができるよう指導を行った。

- ・ 環境副読本を改訂し、「北東北三県共通環境ワークブック」（バインダー式教材、教師用資料、児童配布用リーフレット）を7月に各小学校へ配布した。

(3) 読書活動の状況

読書活動については、学校図書館担当者も対象とした読書活動推進会議・研修会を実施し、児童生徒の読書活動を支援し、より豊かなものとしていくための環境整備に努めた。

- ・ 「いわて中高生のためのおすすめ図書100選」に続き、「いわての小学生のためのおすすめ図書100選（いわ100きつず）」を作成した。
- ・ 子どもたちが主体的に読書活動に取り組むことのできる環境作りを進めるための「第3次いわて子どもの読書活動推進計画」に基づく読書活動を推進している。

3 幼児教育の推進

幼稚園教育要領に基づく教育の充実のために、幼稚園教育の内容、幼稚園の運営・管理、保育技術等に関する説明や研究協議、演習を行った。また、教員の資質の向上を図るため、幼稚園等初任者研修及び教職経験者10年研修を実施した。

(1) 園長等運営管理協議会（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
サンセール盛岡	平成27年5月31日	49	18	28	23	118

(2) 保育技術協議会（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成27年7月2日	28	9	102	23	162

(3) 幼稚園教育研究協議会（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成 27 年 8 月 7 日	52	35	9	20	116

(4) 幼児期における子育て支援協議会（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)				
		公立	私立	保育所	その他	合計
生涯学習推進センター	平成 27 年 11 月 11 日	7	6	19	16	48

(5) 幼稚園等初任者研修（主催：岩手県教育委員会）

区 分	会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)			
			公立	私立	保育所	合計
センター研修Ⅰ	総合教育センター	平成 27 年 6 月 3 日 ～ 4 日	12	29	2	43
センター研修Ⅱ	総合教育センター	平成 27 年 8 月 3 日 ～ 5 日	11	34	3	48
センター研修Ⅲ	総合教育センター	平成 27 年 10 月 14 日 ～ 16 日	12	27	3	42

(6) 幼稚園教職経験者 10 年研修（主催：岩手県教育委員会）

会 場	実 施 期 日	参 加 人 数 (人)		
		公立	私立	合計
センター研修	平成 27 年 7 月 28 日～30 日	3	9	12
教育事務所研修	平成 28 年 1 月 29 日（沿岸南部） 平成 28 年 2 月 1 日（中部） 平成 28 年 2 月 3 日（県南）	3	0	3
選択研修	選択研修講座の日程による	3	0	3

第 2 生活面における基礎・基本の充実

家庭や地域社会における教育力を生かし、学校、家庭、地域と連携・協働した教育を充実させ、児童生徒に基本的な生活習慣を身に付けさせる取組を推進した。

○ 生活面における基礎・基本の充実

学習定着度状況調査等における児童生徒質問紙調査の生活習慣や家庭での生活に関する内容の結果を分析・検証し、各学校に情報提供するとともに、県PTA連合会との連携を図り、家庭や地域との一体となった取組に努めた。

第3 問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応のための指導の充実

家庭教育、体験や経験を通して身につける社会生活を営むためのルールや規範意識、コミュニケーション能力等の低下により、暴力行為、いじめなどの問題行動や不登校、中途退学などの学校不適応が大きな教育問題となっている。

平成26年度児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題の調査（文部科学省）によると、暴力行為の発生件数は104件で前年度から58件減少した。一方、いじめの認知件数は1,774件であり、前年度に比べ937件増加した。不登校児童生徒の状況については、小学校143人、中学校791人、高等学校354人であり、小学校、中学校では不登校の比率が上昇し、高等学校では低下の傾向を示している。また、中途退学者は、平成19年度から減少傾向にあり、平成25年度から調査対象となった通信制課程における中途退学者を除くと平成26年度は201人と前年度から62人減少した。

本県の児童生徒は、全国と比較すると概ね落ち着いた状況にあるが、これらの問題の解決のためには、学級経営、学級集団づくりを充実させ、一人一人の児童生徒にしっかりと向き合い自己実現を支援することが必要である。また、不適応傾向をもつ児童生徒に対しては学校全体で情報を共有し、チームによる指導、援助を行っていくとともに、関係機関との日常的な連携の強化、就学後の福祉サイドからのサポートなどの親への支援、家庭を孤立させない地域コミュニティの確立を通して、学校不適応を解消する組織的、広域的な取組が必要である。

1 高等学校生徒指導連絡協議会（主催：岩手県教育委員会）

【期 日】平成27年5月11日～5月22日

【会 場】地区別8会場

【参加者】校長、教員、在学青少年指導員 164人（延べ）

2 児童生徒の表彰

県内各学校の児童生徒を対象に、他の模範となる行為や活動を表彰することにより、児童生徒の社会的行動や道徳的態度、実践力の向上など学校教育の一層の充実に資するため、昭和60年度から児童生徒の表彰を実施している。

平成27年度の表彰は次のとおりであり、計21個人・団体を表彰している。内訳は、善行表彰が1、奨励表彰が19、努力表彰が1であり、小学校が3（個人2、団体1）、中学校が1（個人0、団体1）、高校が17（個人11、団体6）である。

平成27年度第1回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	校種	所属・氏名	内容
1	奨励 (スポーツ)	小 個	奥州市立前沢小学校 6年 本城 咲良	第31回全国小学生陸上競技交流大会女子ソフトボール投において、第1位に入賞した。
2	奨励 (スポーツ)	中 団	矢巾町立矢巾中学校 男子ハンドボール部	平成27年度全国中学校体育大会第44回全国中学校ハンドボール大会において、第2位に入賞した。
3	奨励 (スポーツ)	高 個	盛岡第一高等学校 3年 佐々木 天	平成27年度全国高等学校総合体育大会陸上競技女子100mハードルにおいて、第2位に入賞した。
4	奨励 (スポーツ)	高 個	宮古商業高等学校 3年 姉石 慶一	第58回全国高等学校選抜レスリング大会120kg級において、第2位に入賞した。
5	奨励 (スポーツ)	高 団	盛岡南高等学校 男子陸上競技部 男子4×400mリレーチーム	平成27年度全国高等学校総合体育大会陸上競技男子4×400mリレーにおいて、第2位に入賞した。
6	奨励 (スポーツ)	高 団	雫石高等学校 男子ボート部	平成27年度全国高等学校総合体育大会ボート競技男子ダブルスカルにおいて、第2位に入賞した。
7	奨励 (スポーツ)	高 個	不来方高等学校 3年 高橋 翔	障がいにならず、部活動に積極的に取り組み、第67回岩手県高等学校総合体育大会弓道競技男子団体において、第3位入賞に貢献するなど、周囲の生徒に多大なる勇気と感動を与えた。

平成27年度第2回児童生徒表彰（はばたき賞） 受賞者一覧

番号	項目	校種	所属・氏名	内容
1	善行 (人命救助)	高 個	住田高等学校 3年 佐々木 勇也	海中に転落した男性を発見し、誘導するなど人命救助に貢献し、釜石海上保安部長から感謝状を授与された。
2	奨励 (文化活動)	小 個	大槌町立大槌小学校 4年 小松 光	第54回郷土民謡民舞青少年みんよう全国大会民謡グランプリ部門において、グランプリ大賞及び文部科学大臣賞を受賞した。
3	奨励 (文化活動)	小 団	山田町立大沢小学校 新聞委員会	第64回全国小・中学校・PTA新聞コンクール小学校学校新聞の部において、文部科学大臣賞を受賞した。
4	奨励 (文化活動)	高 個	杜陵高等学校奥州校 1年 佐々木 郁美	平成27年度第63回全国高等学校定時制通信制生徒生活体験発表大会において、文部科学大臣賞を受賞した。
5	奨励 (文化活動)	高 団	盛岡第三高等学校 文芸部	第30回全国高等学校文芸コンクール文芸部誌部門において、最優秀賞及び文部科学大臣賞を受賞した。
6	奨励 (文化活動)	高 団	不来方高等学校 音楽部	第68回全日本合唱コンクール全国大会高等学校部門Aグループにおいて、金賞及び文部科学大臣賞を受賞した。
7	奨励 (スポーツ)	高 個	不来方高等学校 3年 四戸 宗	第70回国民体育大会カヌー競技カヌースプリント少年男子カヤックシングル200mにおいて、第2位に入賞した。
8	奨励 (スポーツ)	高 個	杜陵高等学校 2年 佐藤 牧	平成27年度全国高等学校定時制通信制体育大会第50回陸上競技大会女子800mにおいて、第2位に入賞した。
9	奨励 (スポーツ)	高 個	花巻北高等学校 2年 前島 彩乃	第34回全国高等学校弓道選抜大会女子個人において、第2位に入賞した。
10	奨励 (スポーツ)	高 個	宮古商業高等学校 1年 佐々木 烈弥	第15回全国障害者スポーツ大会陸上競技男子1部ジャベリックスローにおいて第1位、ソフトボール投において第2位に入賞した。
11	奨励 (スポーツ)	高 個	盛岡峰南高等支援学校 2年 北村 大吾	第15回全国障害者スポーツ大会陸上競技少年男子800m及び1500mにおいて、第1位に入賞した。
12	奨励 (スポーツ)	高 個	花巻清風支援学校 高等部2年 國谷 朋哲	第15回全国障害者スポーツ大会フライングディスク競技ディスクスタンス・メンズスタンディングにおいて、第1位に入賞した。
13	奨励 (スポーツ)	高 団	岩手県少年女子 ホッケーチーム	第70回国民体育大会ホッケー競技少年女子において、第2位に入賞した。
14	奨励 (スポーツ)	高 団	岩手県混合リレーチーム	第15回全国障害者スポーツ大会陸上競技男女混合4×100mリレーにおいて、第2位に入賞した。

3 教育相談

平成27年度の相談受理件数は432件、延べ相談件数は2,224件であった。うち電話相談が1,602件、面接による相談が622件（来所相談523件、訪問相談99件）である。

相談受理件数を内容別に見ると、小・中・高いずれの校種も「性格・行動に関すること」が最も多く、全体で259件と60.0%を占めた。次いで、「知能・学業に関すること」が56件（13.0%）となっている。主訴別の相談件数では「集団不適応」が76件と最も多く、児童生徒が日々の学校生活において不適応状態による多くの困り感を抱えているということがわかる。

不登校の校種別の相談件数は、高校が16件、次いで中学校が14件、小学校が8件となっており、相談件数としては前年度より減少している。さらに学年別に見ると、小学校は学年が上がるにつれて、中学校は2年生、高校は1年生に多くなっている。また、不登校の性別の相談件数は、全ての校種で男子の割合が高くなっている。

平成27年度の「いじめ相談電話・メール」での相談受理件数は、電話は187件、メールは50件である。いじめの被害を訴える相談件数は、電話相談では102件（54.5%）、メール相談では29件（58.0%）である。

<平成27年度総合教育センターの相談受理件数について>

(1) 内容別・校種別相談件数

[単位：件、()内は%]

内容	校種	就学前	小学校	中学校	高等学校	その他	計(割合)
知能・学業に関すること		0	27	14	15	0	56(13.0)
性格・行動に関すること		5	105	74	68	7	259(60.0)
性に関すること		0	0	0	1	0	1(0.2)
進路・適性に関すること		1	4	13	12	0	30(6.9)
精神衛生に関すること		0	3	2	5	1	11(2.5)
家庭教育一般に関すること		0	10	7	5	2	24(5.6)
その他		3	11	14	12	11	51(11.8)
計(割合)		9(2.1)	160(37.0)	124(28.7)	118(27.3)	21(4.9)	432(100.0)

(2) 主訴別相談件数

[単位：件、()内は%]

主訴	件数(割合)
不登校	39(9.0)
集団不適応	76(17.6)
精神衛生(情緒障がい 神経症・同疑い)	11(2.5)
進路相談	30(6.9)
学業	56(13.0)
いじめ	14(3.2)
家庭教育(家庭内暴力等)	24(5.6)
生活指導	69(16.0)
対人関係(交友関係等)	56(13.0)
非行	5(1.2)
性	1(0.2)
その他	51(11.8)
計	432(100.0)

(3) 校種別・性別不登校相談件数

[単位：件]

校種	性別		計
	男	女	
就学前	0	0	0
小学校	7	1	8
中学校	10	4	14
高校	9	7	16
その他	0	1	1
計	26	13	39

(4) 学年別不登校相談件数

[単位：件]

学年	件数	
小1	0	8
小2	0	
小3	2	
小4	1	
小5	2	
小6	3	
中1	4	14
中2	6	
中3	4	
高1	12	16
高2	3	
高3	1	
その他	1	1
計	39	39

第4節 健やかな体をはぐくむ教育の推進

第1 体力向上や運動に親しむ態度の育成

各校が体力・運動能力調査の適切な実施により、現状を把握し、課題に応じた取組が効果的に実施できるよう担当者会議を開催する等情報共有や研修の機会を設定するとともに、被災地における運動部活動の活動場所の確保を支援することにより、運動に親しむ態度を育成し、運動の習慣化が図られるように努めた。

1 学校設定目標達成のための支援

事業名「希望郷いわて 元気・体力アップ60運動」

「希望郷いわて 元気・体力アップ60（ロクマル）運動」とは、希望郷いわて国体、希望郷いわて大会の開催を契機として、児童生徒が1日に合わせて60分以上運動（遊び）やスポーツに親しみ、運動習慣を身に付けることができるように、学校・家庭・地域が連携した環境づくりに取り組むことを目指した運動の総称である。

各校では調査結果を活用し、次の3点の視点から取組を選択して実施した。

- ・体育科・保健体育科の授業改善
- ・教科以外の取組の実施
- ・家庭・地域と連携した取組

2 体力向上担当者等のリーダー研修会の実施

事業名「地区別学校体育担当者会議」

- ア 期 日 平成28年1月～2月
- イ 会 場 各教育事務所が設定する会場
- ウ 参加者 県内全小・中学校から各1人
- エ 内 容 平成27年度調査結果の報告と平成28年度の取組に係る協議

3 運動部活動の支援

事業名「東日本大震災津波で被災した中学校及び高等学校の運動部活動支援事業」

- ア 実施期間 平成27年6月～平成28年1月
- イ 実施校数 13校（中学校11校 高等学校2校）
- ウ 実施回数 92回

第2 健康教育の充実

生涯を通じて健康、安全で活力ある生活を送るための基礎を培うため、学校保健・学校安全活動や食育などを充実させるとともに、家庭や地域と連携し望ましい生活習慣の確立に努めた。

1 学校保健

(1) 保健教育の充実及び保健管理の徹底

ア 学校保健計画並びに保健室経営計画の立案、周知の徹底

学校保健においては、保健教育と保健管理並びに健康相談の活動を適切に行うことによって、児童生徒及び教職員の健康の保持増進を図り、学校教育目標の達成に寄与することとし、児童生徒自らの意思決定により健康な生活が実践できるよう健康教育を推進した。

また、学校保健を組織的に推進するために、教職員の協力体制を確立するとともに、家庭や地域の関係機関との連携を図った。

イ 関係機関団体等との連携及び学校保健組織活動の充実

(ア) 学校内の組織の設置促進と活動の充実

- ・学校保健委員会の活動
- ・児童生徒保健委員会の活動促進

(イ) 関係機関団体との連携

- ・(一社)岩手県医師会学校医部会
- ・(一社)岩手県歯科医師会
- ・(一社)岩手県薬剤師会岩手県学校薬剤師会
- ・岩手県学校保健会
- ・岩手県学校保健会養護教諭部会
- ・岩手県学校保健会高等学校部会
- ・岩手県高等学校教育研究会学校保健部会

(2) 岩手県学校保健功労者表彰

	氏名	職	現所属等
1	大沼一夫	学校医	花巻市立花巻北中学校
2	松舘邦彦	学校歯科医	盛岡市立太田小学校
3	高砂子祐平	学校医	盛岡市立高松小学校
4	小川和子	学校薬剤師	盛岡市立河北小学校
5	杉山ちか子	学校歯科医	滝沢市立鶴飼小学校ほか
6	渡邊立夫	学校医	紫波町立紫波第一中学校
7	齊木茂温	学校医	花巻市立桜台小学校
8	高橋義和	学校歯科医	西和賀町立湯田中学校
9	大歳栄一	学校医	奥州市立小山中学校
10	阿部俊也	学校医	一関市立赤荻小学校
11	道又衛	学校医	大槌町立大槌小学校
12	菊池万里子	学校歯科医	大船渡市立赤崎小学校
13	豊島喜美子	学校医	宮古市立重茂中学校ほか
14	新淵光子	学校薬剤師	久慈市立侍浜小学校
15	菅弘志	学校歯科医	二戸市立中央小学校
16	菊池優	校長	県立大船渡高等学校
17	平野栄子	養護教諭	一戸町立鳥海小学校

2 学校安全

学校管理下における児童生徒の災害は、毎年約1万件も発生し、これらの学校災害の防止と後を絶たない交通事故の防止に加え、学校への不審者侵入や通学路での連れ去り、声がけといった犯罪に対する安全確保を図るため、安全指導、安全管理の推進、充実が重要な課題となっている。

独立行政法人日本スポーツ振興センター仙台支所が調査した平成27年度の学校管理下における児童生徒の災害発生件数は下表のとおりとなっており、以下の事業を通して児童生徒の事故、災害の防止を図り、学校における安全教育の充実に取り組んだ。

(1) 災害発生件数（岩手県） [単位：件、%]

区 分	発生件数	発生率
幼稚園・保育所等	503	1.36
小 学 校	2,998	4.75
中 学 校	3,824	10.77
高 等 学 校	3,000	8.15
高等専門学校	38	4.44
計	10,363	5.98

(2) 学校安全関係職員研修 [単位：人]

研修の名称	期 日	場 所	参加者数[内訳]
学校安全指導者養成研修	平成27年9月14日～18日	茨城県つくば市	5 [高1、指導主事4]
交通安全教育指導者講習会	平成27年7月1日	盛岡市	88 [小2、中1、高78、特7]
防犯教室講習会	平成27年6月22日	盛岡市	74 [幼3、小21、中6、高30、特13、他1]

3 食育・学校給食

小・中学校においては、食育担当者を中心とした食育推進のための校内体制が整備され、「食に関する指導の全体計画」及び「年間指導計画」により、計画的な推進が図られている。また、小中学校、高等学校の管理職、教諭を対象とした食育推進研修会において、学校における食育の推進が図られるよう、小学校、中学校、高等学校における実践例発表の機会を設けた。

学校給食施設のドライシステムの導入（ドライシステムを導入していない場合はドライ運用）及び「学校給食施設の区分」に従い汚染作業区域・非汚染作業区域等に区分するよう整備促進に努めるなど、学校給食衛生管理基準に基づいた衛生管理の徹底を図った。さらに、関係職員の資質向上を図るため、各種研修会を開催し、食に関する指導、給食管理及び衛生管理の充実に努めた。

(1) 学校給食の実施状況（平成27年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区 分	完全給食		その他の方式		補食給食		ミルク給食		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	321 (94.7)	60,634 (97.2)	— (—)	— (—)	10 (2.9)	1,071 (1.7)	8 (2.4)	643 (1.0)	339 (100)	62,348 (100)
中学校	146 (87.4)	27,657 (79.6)	— (—)	— (—)	4 (2.4)	624 (1.8)	17 (10.2)	6,394 (18.4)	167 (100)	34,675 (100)
夜間定時制高等学校	3 (100)	37 (100)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	3 (100)	37 (100)
特別支援学校	13 (92.9)	1,373 (95.9)	— (—)	— (—)	— (—)	— (—)	1 (7.1)	59 (4.1)	14 (100)	1,432 (100)

注：小学校は市町村立学校分、中学校は市町村立学校と県立学校分、夜間定時制高等学校及び特別支援学校は県立学校分

(2) 調理方法別の完全給食の実施状況（平成27年5月1日現在）[単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区 分	単独調理方式		共同調理方式 (65か所)		その他の調理方式		計	
	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数	学校数	児童生徒数
小学校	51 (15.9)	14,864 (24.5)	270 (84.1)	45,770 (75.5)	— (—)	— (—)	321 (100)	60,634 (100)
中学校	5 (3.4)	800 (2.9)	141 (96.6)	26,857 (97.1)	— (—)	— (—)	146 (100)	27,657 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校

(3) 米飯給食の実施状況（平成27年5月1日現在） [単位：校、人、（ ）内は実施率で%]

区 分	自校（共同調理場） 炊 飯		委託炊飯		自校・委託 併 用		計	
	学校数	児童 生徒数	学校数	児童 生徒数	学校数	児童 生徒数	学校数	児童 生徒数
小学校	154 (48.0)	26,734 (44.1)	166 (51.7)	33,573 (55.4)	1 (0.3)	327 (0.5)	321 (100)	60,634 (100)
中学校	66 (45.2)	11,041 (39.9)	80 (54.8)	16,616 (60.1)	— (—)	— (—)	146 (100)	27,657 (100)

注：小学校及び中学校は市町村立学校

(4) 栄養教諭、学校栄養職員及び学校給食調理員配置状況（平成27年5月1日現在） [単位：人]

区 分	(給与負担)	職員数			
		単独調理方式	共同調理方式	教育委員会	計
栄養教諭	(県 費)	26	66	—	92
学校栄養職員	(県 費)	5	17	—	22
	(市町村費)	17	6	4	27
(計)		(48)	(89)	(4)	(141)
調理員	(市町村費)	126	167	—	293

注：調理員は常勤職員のみ

(5) 学校給食費の状況（保護者負担額、平成27年5月1日現在） [単位：円、回]

区 分	1食あたり平均単価	平均月額	年間実施予定回数
小学校	262	4,222	177
中学校	299	4,764	175

注：小学校は中学年（3・4年）分

(6) 学校給食優良学校等表彰

一関市西部学校給食センター
岩手県立盛岡となん支援学校

(7) 学校給食功労者表彰

奥州市立水沢区中学校給食センター 千 葉 ひろ子
岩手県立盛岡となん支援学校 徳 田 恵 子

(8) 文部科学大臣表彰

山田町立大浦小学校 刈 屋 保 子

第3 指導者の資質・授業力向上

学校の教育活動全体を通じて「生きる力」の基礎となる健やかな体をはぐくむため、中核となる体育、食育、健康教育などを担当する指導者の資質や授業力向上に努めた。

1 学校体育関係職員の研修及び地域スポーツ人材の活用

(1) 学校体育関係研修会の開催

[単位：人]

No.	事業名	期 日	会 場	参加者数
1	体力向上指導者研修会 [講義・演習(体づくり運動、水泳、器械運動、球技、剣道、柔道)] ※小・中は希望研修	平成27年6月30日・7月1日	盛岡市	小学校教員 20 中学校教員 37 高校教員各校1
2	地区別小学校体力向上指導者研修会	平成27年6月～7月	各教育事務所管内	小学校教員各校1
3	地区別中学校体力向上指導者研修会	平成27年6月	各教育事務所管内	中学校教員各校1
4	運動部活動指導者研修会 [共通研修、種目別研修(剣道、卓球、サッカー、ソフトテニス、軟式野球、バスケットボール、ソフトボール、バレーボール)]	平成27年9月～11月 計9回	盛岡市	中・高等学校教員 133
5	運動部活動外部指導者ステップアップ研修会	平成27年11月	盛岡市 花巻市 宮古市	教員 29 外部指導者 26 保護者 3

(2) 地域スポーツ人材活用の促進

[単位：校、人]

No.	事業名	期 間	実施校数	派遣者数
1	地域スポーツ指導者派遣事業	平成27年8月～1月	陸上22 武道 8	30
2	運動部活動地域スポーツ指導者派遣事業	平成27年6月～平成28年1月	8	14

2 学校保健関係職員の研修

(1) 県 内

[単位：人]

No.	研修名	期 日	場 所	参加者数[内訳]
1	養護教諭研修会	平成27年7月29日～31日	盛岡市	49[小28、中17、高3、特1]
2	第51回岩手県学校健康教育研究大会	平成27年12月25日	盛岡市	274
3	学校保健講習会	平成27年10月30日	盛岡市	103[小39、中36、高27、特1]
4	県立学校新任保健主事研修会	平成27年6月12日	花巻市	31
5	学校におけるアレルギー疾患に対する普及啓発講習会	平成27年9月4日	盛岡市	248

(2) 県外

[単位：人]

No.	研修名	期日	場所	参加者数[内訳]
1	全国養護教諭研究大会	平成27年8月6日～7日	富山県富山市	1[小1]
2	全国学校保健・安全研究大会	平成27年12月3日～4日	愛媛県松山市	1[指導主事1]
3	健康教育指導者養成研修第1回	平成27年6月23日～26日	茨城県つくば市	1[小1]
4	健康教育指導者養成研修第2回	平成27年7月13日～16日	茨城県つくば市	7[小4、中1、高1 指導主事1]
5	全国学校歯科保健研究大会	平成27年10月29日～30日	長野県長野市	2[中1、高1]

3 食育・学校給食関係職員研修

(1) 県内

[単位：人]

No.	研修名	期日	場所	参加者数
1	衛生管理推進等研修会	平成27年6月5日	盛岡市	77
2	食育推進研修会	平成27年9月1日	一関市	68

(2) 県外

[単位：人]

No.	研修名	期日	場所	参加者数[内訳]
1	全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成27年7月29日～30日	徳島県徳島市	1[小1]
2	全国学校給食研究協議大会	平成27年11月5日～6日	高知県高知市	1[小1]
3	健康教育指導者養成研修食育（基礎） コース	平成27年9月8日～11日	茨城県つくば市	3[小2、中1]
4	健康教育指導者養成研修食育（発展） コース	平成27年10月20日～23日	茨城県つくば市	2[小1、中1]
5	学校給食の衛生管理に関する指導者講習 会	平成27年7月16日～17日	茨城県つくば市	2[小2]
6	食中毒防止に関する実技講習会	平成27年10月21日～23日	東京都	1[中1]

(3) その他

[単位：人]

No.	主催	研修会名	期日	場所	参加者数
1	(公社)全国学校栄養士協議会岩手県支部・岩手県[共催]	岩手県栄養教諭・学校栄養職員研修会	平成27年6月26日	盛岡市	123
2		岩手県栄養教諭・学校栄養職員研究大会	平成27年12月4日	盛岡市	129
3	(公財)岩手県学校給食会・岩手県[共催]	学校給食調理講習会	平成27年7月28日 ～29日	盛岡市	55
4		学校給食調理員研修会	平成27年8月7日	盛岡市	223
5		学校給食調理コンクール	平成28年1月8日	盛岡市	30

第5節 「共に学び、共に育つ教育」の推進

第1 「就学指導」から「就学支援」へ

国においては、障がい者制度改革推進会議において、インクルーシブ教育の推進を基本的な理念とした制度改革にかかわる検討が行われ、その結果を受け、文部科学省中央教育審議会初等中等教育分科会「特別支援教育の在り方に関する特別委員会」から、現在の就学指導の在り方を改善する方向性を含んだ「共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育システム構築のための特別支援教育の推進（報告）」（平成24年7月）が公表された。また、平成25年9月には学校教育法施行令の一部を改正する政令が公布され、障がいのある児童生徒等の就学先決定の仕組みに関する改正が行われた。こうした動向に合わせ、現在の県就学指導委員会の機能向上に向けて取り組んだ。

1 市町村教育委員会を対象とした就学指導にかかわる支援体制の整備

就学指導に関する各市町村就学指導委員会の抱える課題やニーズ、困難なケース等の相談、支援への助言を行うために、特別支援教育エリアコーディネーターを県就学指導委員会調査員（就学支援アドバイザー）に任命し、市町村における就学指導委員会を支援する体制を整えた。

就学支援アドバイザーの活動状況（平成27年4月～平成28年1月）は、計37回であった。

2 県就学指導委員会委員の在り方の検討

上記の学校教育法施行令の一部改正等を踏まえ、県就学指導委員会の名称及び在り方についても、引き続き検討していく予定である。

3 「今後の就学指導のためのガイドライン」の改訂

県就学指導委員会の名称変更を含めた機能の拡充を進めるとともに、新たな就学指導に関わる理念や制度等について、学校教職員及び保護者、関係者に周知を図るため、平成22年度発行の「今後の就学指導のためのガイドライン」を「教育支援のためのガイドライン」とし、関係機関に送付した。

第2 幼、保、小、中、高等学校における特別支援教育の充実

1 特別支援教育エリアコーディネーターの指名及び配置

特別支援教育に関する研修や相談などの業務を効果的に推進するため、各教育事務所に特別支援教育エリアコーディネーター（教諭兼指導主事）を1人配置した。特別支援教育エリアコーディネーターは、学校教育室及び教育事務所と連携しながら管内の特別支援教育に関する課題に対応するとともに、全県的な課題にも同一步調で対応するなど効果的な業務の推進を図った。

2 特別支援学校による相談、研修等の支援

各特別支援学校の特別支援教育センター的機能を活用し、地域の幼稚園、保育所、小・中学校、高等学校等での相談や研修等への支援を行った。また、幼稚園、小・中学校等79校を対象に、継続的に訪問し、当該校を支援する継続型訪問支援を実施した。

3 特別支援教育研修資料の活用

平成25年度に作成した『交流及び共同学習ガイドブック』を活用し、県内の公立小・中学校と

特別支援学校の交流学習の推進を図った。

4 いわて特別支援教育かがやきプラン推進事業の継続実施

平成27年5月1日現在、県単独事業により県立高等学校28校へ特別支援教育支援員30人を配置し、障がい等によって個別の指導及び支援が必要な生徒への支援の充実を図った。

(特別支援教育支援員配置校)

葛巻高等学校、平館高等学校、雫石高等学校、紫波総合高等学校、花巻農業高等学校、大迫高等学校、西和賀高等学校、水沢農業高等学校、前沢高等学校、岩谷堂高等学校、一関工業高等学校、花泉高等学校、千厩高等学校、大東高等学校、住田高等学校、大船渡東高等学校、釜石高等学校定時制、釜石商工高等学校、遠野高等学校、遠野緑峰高等学校、山田高等学校、宮古高等学校、宮古北高等学校、宮古水産高等学校、久慈高等学校長内校、福岡高等学校定時制、軽米高等学校、一戸高等学校

第3 特別支援教育の理解促進

1 いわて特別支援教育講演会の実施

インクルーシブ教育の理念と地域の中で障がいのある子どもを育むための環境について、広く県民の皆様に対して情報提供するため、平成27年度に県民向け特別支援教育講演会を盛岡市、二戸市、一関市の3箇所で開催した。盛岡会場では85人、二戸会場では27人、一関会場では69人の参加を得た。

2 幼稚園及び保育所を対象とした研修会の実施

幼稚園、保育所、療育関係者等を対象に幼児期における障がいの基本的理解や対応と園内での特別支援教育の推進を図るための研修会を大船渡市と盛岡市の2箇所で開催した。大船渡会場では45人が参加し、盛岡会場では118人の参加を得た。

3 特別支援教育ボランティアの育成と活用

平成27年度は、盛岡峰南高等支援学校、前沢明峰支援学校、釜石祥雲支援学校において、特別支援教育ボランティア養成講座を開催した。さらに修了者が登録するボランティアバンクについて周知と活用を図り、小・中学校等及び特別支援学校における活用を図った。

平成27年度のボランティア活動実績は、小学校と特別支援学校において延べ52件、117人が活用された。

第4 特別支援学校生徒の就労支援の充実

1 県の機関における職場実習の受け入れ

教育委員会事務局、商工労働観光部、保健福祉部、盛岡広域振興局、労働委員会事務局等が連携し、特別支援学校高等部生徒7人の現場実習を受け入れた。各機関において、2日から2週間にわたって実習を実施した。

2 関係機関との連携

岩手労働局、岩手障害者職業センターと共催で「就労支援セミナー」を盛岡峰南高等支援学校で開催するなど、関係機関との連携を図った。

3 啓発リーフレットの活用

平成25年度に作成した企業事業所向けの啓発リーフレットを活用し、特別支援学校卒業生の雇用及び職場実習先の開拓や、学校の進路指導の充実を図った。

4 企業との連携協議会の開催

平成27年度は、盛岡地区、花巻地区、北上地区、胆江地区、一関地区、大船渡・陸前高田地区、釜石地区、宮古地区、久慈地区において67企業・事業所の参加を得て企業との連携協議会を各地区で2～3回開催し、特別支援学校の職業指導や高等部生徒の学習の様子について企業の理解を深め、また、参加企業から指導内容等についての助言を受けることができた。

第6節 学校教育を支える教育環境の充実

第1 県立高校の望ましい教育環境の整備

1 県立高等学校新整備計画

(1) 概要

国際化、情報化、少子高齢化等著しい社会の変化に主体的に対応できる人材の育成が求められていることから、県立高等学校長期構想検討委員会（船越昭治委員長）の報告をもとに、生徒が活力ある環境の中で、一人一人の個性・能力を最大限に伸ばせるような学習環境を構築する観点から、平成12年度以降10年間を見通した学校・学科の適正な配置等について慎重に検討を進め、平成12年1月に「県立高等学校新整備計画」として、平成12年度から16年度（前期）の学校別の計画並びに平成17年度から21年度（後期）の計画の大まかな見通しを示した。

平成17年度から21年度の後期計画の策定では、平成16年1月に「県立高等学校新整備計画後期マスタープラン」として基本的な方針を示した後、8月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）案」、平成17年1月に調整案、6月に再調整案を公表し、各段階において、パブリックコメントを実施したほか、各地で意見を聴く会や出前説明会などを重ね、7月に「県立高等学校新整備計画（後期計画）」を策定・公表した。

後期計画では、学科改編を含む学級数の取扱いは、中学校卒業予定者数の状況、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案して毎年度調整するものとし、小規模校等の統合は、一定の基準を設けて実施することとした。

平成20年度においては、

- ・ 花巻北高等学校と東和高等学校を統合して花巻北高等学校とし（東和高等学校は平成21年度末まで存続）、
- ・ 水沢高等学校と胆沢高等学校を統合して水沢高等学校とし（胆沢高等学校は平成21年度末まで存続）、
- ・ 高田高等学校と広田水産高等学校を統合して高田高等学校とし、
- ・ 大船渡農業高等学校と大船渡工業高等学校を統合して大船渡東高等学校とし、
- ・ 釜石南高等学校と釜石北高等学校を統合して釜石高等学校とするとともに、
- ・ 遠野高等学校情報ビジネス校、宮古高等学校川井校、久慈高等学校山形校の3分校を本校に統合し（3分校とも平成21年度末まで存続）、
- ・ 久慈高等学校長内校を昼間部と夜間部の多部制高等学校とし、
- ・ 浄法寺高等学校を福岡高等学校の分校とした。

平成21年度においては、黒沢尻工業高等学校定時制課程と水沢商業高等学校定時制課程を募集停止するとともに、杜陵高等学校奥州校を多部制単位制高等学校として設置した（両課程とも平成23年度末まで存続）。

なお、後期計画終了後において、教育環境を整える観点から、平成22年度に岩泉高等学校田野畑校を本校に統合した（岩泉高等学校田野畑校は平成23年度末まで存続）。

(2) 全体計画（平成12年1月24日公表、平成17年7月19日後期計画により変更）

年度	中学校卒業 予定者数（人）	高等学校設置学級数			高等学校数 （校）	
		うち普通科	専門学科	総合学科		
11	18,440	368	229	134	5	83
17	14,857	301	177	91	33	77
21	13,797	266	159	75	32	61～68

(3) 後期計画の総括表（平成17年7月19日公表）

	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
総合的な専門高等学校				<input type="checkbox"/> 高田(商業科)・広田水産(家政科)・大船渡農・大船渡工[統合]	<input type="checkbox"/> 釜石工・釜石商[統合]
普通科と専門学科併設高等学校		<input type="checkbox"/> 大東・大原商[統合]	<input type="checkbox"/> 藤沢・千厩[統合]	<input type="checkbox"/> 高田(普通科)・広田水産(水産科)・住田(※)[統合]	
総合学科高等学校	<input type="checkbox"/> 一戸[改編]				<input type="checkbox"/> 岩谷堂・岩谷堂農林[統合]
普通高等学校				<input type="checkbox"/> 釜石南・釜石北[統合] <input type="checkbox"/> 花巻北・東和[統合] <input type="checkbox"/> 水沢・胆沢[統合] <input type="checkbox"/> 遠野・情報ビジネス[統合] <input type="checkbox"/> 宮古・川井[統合] <input type="checkbox"/> 岩泉・田野畑[統合] <input type="checkbox"/> 久慈・山形[統合]	<input type="checkbox"/> 伊保内・福岡・浄法寺[統合]
定時制(多部制・単位制)				久慈ブロック	
	<input type="checkbox"/> 胆江ブロックにおいてもできるだけ後期計画中に整備に努める。				
中高一貫教育校コミュニティ・スクール	<input type="checkbox"/> 新しいタイプの学校である、中等教育学校・併設型中高一貫教育校やコミュニティ・スクールについては、継続して検討する。				

※ 住田高等学校については、県の中高一貫教育に関する検討委員会の検討結果等を踏まえ、別途検討する。

<p>【学級数の取扱いについて】 学級数（学科改編を含む）の取扱いは、中学校卒業予定者数、高校進学希望者の志望動向、各高校の定員充足状況等を勘案しながら毎年度調整する。</p> <p>【1学年2学級校の取扱い】 (1) 1学年2学級の募集定員に対し、1学級定員の半数を超える欠員が2年続いた場合には、原則として翌年度に学級減を行う。なお、通学困難な地域は、高校教育を受ける機会を確保するという観点から学級減を行わないことも検討する。 (2) 募集定員に対して1学級相当程度の欠員が生じている場合には、原則として翌年度に学級減を行う。ただし、中学校卒業予定者数に回復の見通しがあれば、学級減を行わないことも検討する。 (3) 各学年とも2学級を維持できない場合には統合を基本とするが、広大な県土を有する本県の通学事情等に鑑み、地域の実情に応じて分校（1学級規模）の設置も検討する。</p> <p>【分校の取扱い】 入学者が募集定員の半数を下回る状況又は当該分校に進学した者のうち分校所在地の中学校からの進学者の割合が半数以下となる状況が、2年続いた場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合する。</p>

2 新たな県立高等学校再編計画

- (1) 次期県立高等学校再編計画策定に向けた取組及び東日本大震災津波による策定作業の中断
今後の少子化によるさらなる生徒減少や社会情勢の変化に対応するため、教育の原点に立ち返

り、高校教育として子供たちの確かな成長を支える仕組みや取組を強固にすることが重要であることから、平成 20 年 4 月から「第二次県立高等学校長期構想検討委員会」を設置し、委員会において教育環境の整備や将来の岩手県を担う人財育成について検討の上、平成 21 年 5 月に「今後の県立高等学校の在り方」〔中間まとめ〕を取りまとめ、県内 9 ブロックにおいて地域懇談会を開催し、県民からのご意見、ご提言等をいただき、9 月 17 日に県教育委員会に成案が報告された。

これを基に、県教育委員会において平成 21 年 12 月 24 日に、概ね 10 年先を展望し、今後の人口減少と超高齢社会の到来や厳しい国際競争などに対応し、明日の日本や岩手の未来を担う人財の育成に向けた今後の県立高校における教育の基本的考え方と方向性を示した「今後の高等学校教育の基本的方向」（案）を作成、公表し、パブリック・コメント、地域説明会、意見を聴く会を通じ、ご意見等をいただき、平成 22 年 3 月 17 日に成案を策定した。

これを指針として、平成 23 年上半期の策定を目途に「第二次県立高等学校整備計画（仮称）」を策定することとし、その検討のため、平成 22 年度において、市町村長、市町村教育委員会教育長、PTA 関係者、産業関係者、中学校長代表者で構成される「今後の県立高校に関する地域検討会議」を県内 9 ブロックにおいて 3 回ずつ、また、一般県民を対象とした「今後の県立高校に関する地域別懇談会」を県内 9 ブロックにおいて 2 回ずつ、併せて、地域等の要望に応じて出前懇談会を実施し（計 11 回）、「今後の高等学校教育の基本的方向」への理解を図るとともに、各ブロックにおける高校のあるべき姿や地域実情に応じた高校配置等について意見交換を行った。

しかし、東日本大震災津波の発生に伴い、甚大な被害及びその影響を踏まえ計画の策定は見送ることとし、策定の時期については、県内各ブロックにおける、震災後の児童・生徒数の動向・推移等を見据えつつ、被災地における公共交通機関の復旧による通学事情の改善など、教育に関わる環境整備の状況も考慮しながら、改めて調整・検討することとした。

また、学級数調整については、東日本大震災津波による被害等を考慮し、平成 24 年度は実施しなかったが、中学校卒業者数の減少は続いていることから、平成 25 年度から再開した。

(2) 次期再編計画策定作業の再開及び今後の高等学校教育の基本的方向の改訂に向けた取組

東日本大震災津波の発生から 3 年が経過し、少子化が一層進行した状況において、生徒にとってより望ましい教育環境の早急な整備を進めるため、平成 26 年度から次期県立高等学校再編計画の策定作業を再開した。

再開にあたっては、東日本大震災津波の被害等、教育を取り巻く環境が大きく変化したことを受け、平成 22 年 3 月に策定した「今後の高等学校教育の基本的方向」の改訂を行うこととした。

具体的には、平成 26 年 5 月に外部有識者を委員とした「県立高等学校教育の在り方検討委員会」設置し、県内 9 ブロックにおいて地域懇談会を開催し、県民からの御意見、御提言等をいただいた上で、震災等の影響も踏まえた教育環境の整備や岩手の復興等を担う人財育成について検討を進め、12 月 26 日に同委員会から県教育委員会に「今後の県立高等学校の在り方について」の報告がなされた。

これを基に、県教育委員会では、東日本大震災津波からの復興、人口減少社会への対応等を踏まえ、岩手の復興・発展、ふるさとを守る人財を本県高校教育において育成することを改訂の柱とした「今後の高等学校教育の基本的方向」の改訂案を平成 27 年 1 月 29 日に公表し、県内で地域説明会を開催する等パブリック・コメントを実施、寄せられた意見を踏まえ平成 27 年 4 月 20 日に改訂を行った。

(3) 新たな県立高等学校再編計画の策定

ア 概要

平成27年4月に改訂した「今後の高等学校教育の基本的方向」を基に、県内9ブロックで市町村長、市町村教育委員会教育長、PTA関係者、産業関係者、中学校長会代表等、地域代表による地域検討会議を各3回、県民を対象とする意見交換会を各2回、要請による説明会を5回開催し、ブロックにおける高校、学科の配置、高校の魅力づくりに向けた地域との連携の在り方等について検討等を行い、平成27年12月25日に、望ましい学校規模の確保による教育の質の保証と、本県の地理的条件を踏まえた教育の機会の保障を大きな柱にした「新たな県立高等学校再編計画案」を公表した。

計画案の公表後、県内9ブロックで地域検討会議、県民向け説明会、要請による説明会（10回）を通じて、延べ900人の出席をいただき意見交換を行うとともに、パブリック・コメントにおける意見や統合対象校が所在する市町村長等とも個別に協議を重ねつつ、意見をできる限り反映させた修正を行った上で、平成28年3月29日に「新たな県立高等学校再編計画」を策定した。

なお、再編計画の策定に当たっては、統合予定校では地方創生に向けたそれぞれの地域の取組の推移や、平成30年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期等について検討する旨を追記した。また、学科改編・学級減は原則として再編計画に基づき実施するが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には実施時期等の変更も検討する旨を追記した。久慈東高校と久慈高校の統合は市村をまたがるものであり、調整に時間を要するため、統合時期を平成31年度から平成32年度に1年延長した。

イ 全体計画

年度	中学校卒業 予定者数（人）	高等学校設置学級数(全日制課程)			高等学校数 (校)
		うち普通科	専門学科	総合学科	
28	12,084	255	148	77	63
32	10,775	216	126	64	60
37(見通し)	9,806	189~191	108~110	57~59	49~51

(4) 前期プログラム総括表

計画期間(H28~H32 5年間)					
タイプ 年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度
総合的な専門 高等学校					宮古商業 宮古工業
普通科・専門学科 併置高等学校					遠野 遠野緑峰
総合学科・専門学 科併置高等学校					久慈東 久慈工業
普通高等学校		※ 表外(2)のとおり			
学科改編 コース等見直し (学級減)			西和賀 水沢農業 一関第二 釜石商工	平舘 花巻南 水沢工業 大船渡東 宮古水産	不来方 盛岡工業 紫波総合 花北青雲 北上翔南 一関工業 一戸

タイプ 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	平成 31 年度	平成 32 年度
学級減		大槌 伊保内	葛巻 大船渡 種市	盛岡第四 前沢 大東 山田 大野 久慈 福岡	盛岡第三 盛岡北 一関第一 高田 釜石 宮古
全日制学校数	63	63	63	63	60
全日制学級数	255	253	245	233	216
(定時制)			宮古ブロック	盛岡ブロック	

- (1) 統合予定校では、地方創生に向けたそれぞれの地域の取組の推移や、平成 30 年度までの入学者の状況等の検証を行い、統合時期等について検討する。
- (2) 1 学年 1 学級の普通高校では、直近の入学者数が 2 年連続して 20 人以下となった場合には、原則として翌年度から募集停止とし、統合する。
- (3) 学科改編、学級減等は、原則として再編計画に基づき実施しますが、ブロック内の中学校卒業予定者数や、各校の定員充足状況等に大きな変化があった場合には、実施時期等の変更も検討する。

3 中高一貫教育の導入について

中高一貫教育の在り方については、文部省からの研究の委嘱を受け、平成10年9月に「岩手県中高一貫教育研究会議」(船越昭治委員長)を設置して検討を重ねるとともに、実践研究を行う研究推進校(高校2校、中学校6校)を指定し、「岩手県中高一貫教育実践研究委員会」においても検討を進め、平成12年3月に中高一貫教育研究会議より報告書が提出された。

この報告を受け、軽米・葛巻地域は、連携型中高一貫教育の研究を行い、平成13年度には軽米地域が、平成14年度には葛巻地域が連携型中高一貫教育を導入した。

平成15年7月に「岩手県中高一貫教育検討委員会」を設置し、中等教育学校及び併設型中高一貫教育校の導入や連携型中高一貫教育校の推進について検討を進めた。平成17年9月には、この検討委員会を継承・発展した「岩手県新しいタイプの学校に関する検討委員会」を設置し、中高一貫教育を中心としたコミュニティ・スクールを含めた新しいタイプの学校の在り方について検討を行い、平成18年3月に報告書が提出された。

この報告を受け、併設型中高一貫教育校の導入について検討し、平成19年2月に、平成21年度から一関第一高等学校に導入する方針を決定した。

平成19年5月に「岩手県立一関第一高等学校中高一貫教育検討委員会」を設置し、併設型中高一貫教育校の教育内容や県立中学校の入学者選抜方針などについて検討を行い、同年11月に報告書が提出された。この報告を受け、一関第一高等学校に設置する併設型中高一貫教育校の目指す教育などについて検討し、平成20年1月には一関第一高等学校に併設する県立中学校の方針を決定した。平成20年4月から、県教育委員会事務局学校教育室の高校改革担当内に併設型の県立中学校準備担当(3人)を配置し、具体的な準備を開始した。7月には「岩手県立学校設置条例の一部を改正する条例」が6月県議会定例会で議決され、平成21年4月に「岩手県立一関第一高等学校附属中学校」を設置した。

平成23年度末には、第1回入学生が卒業し、全員一関第一高等学校に入学することとなった。

平成26年度末には、附属中学校第1回入学生が一関第一高等学校を卒業した。

平成27年度に実施した岩手県立一関第一高等学校附属中学校平成28年度入学者選抜検査は、162人（男子78人、女子84人）が受検し、80人（男子40、女子40人）が入学した。

4 公立高等学校入学者選抜について

(1) 県教育委員会は、平成13年8月29日に「岩手県立高等学校入学者選抜方策検討委員会」（委員長：沼田俊昭 岩手県立大学教授）から「報告」が提出されたことを受け、平成13年11月12日の教育委員会議において県立高等学校入学者選抜の方針を決定した。

県教育委員会は、この方針をもとに、受検生の意欲や個性をより適切に評価できるよう、平成16年度入学者選抜から選抜方法や通学区域等を改善した。

ア 選抜方法の変更

校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）による合否判定をする。

イ 通学区域（学区）の変更

普通科の通学区域（学区）について、平成6年度から県内19学区としてきたが、地域の意見を勘案して、8学区に改めた。

ウ 学区外許容率の変更

学区（通学区域）の拡大に伴って、学区外許容率を15%から10%に引き下げた。

今回の変更は、昭和53年に20%から15%に引き下げて以来の変更となる。

エ 再募集の要件の変更

平成15年度まで「再募集人員が定員の30%より少ない場合は、再募集を行わないことができる」とした、ただし書きを平成16年度入学者選抜から撤廃した。

(2) 平成16～18年度入学者選抜まで3年間実施後、入試制度の問題点・改善点を検討することを目的に、平成17年9月20日に「県立高等学校入試改善検討委員会」を設置し（委員長：沼田俊昭岩手県立大学副学長）、平成18年6月1日に提言を受けた。

それをもとに平成18年7月18日の教育委員会議において、県立高等学校入学者選抜の方針を決定した。

ア 全日制課程及び定時制課程

一般入学者選抜及び推薦入学者選抜を行う。

一般入学者選抜においては、調査書、学力検査、面接の結果（学校によっては小論文・作文または適性検査）を資料とし、校長の定める異なる評価尺度（ABC選考）により選抜する。

推薦入学者選抜においては、校長が推薦基準を決定し、志願理由書、調査書及び面接（学校によっては、小論文・作文または適性検査）の結果により選抜する。

イ 通信制課程

調査書その他必要な書類、面接の結果及び作文の評価に基づいて選抜する。

(3) 県教育委員会では、この方針に基づき平成19年度入学者選抜から、次のように改善した。

ア 推薦入学者選抜の実施

高等学校全学科を対象とし、各高等学校は推薦基準を公表する。

応募資格は、スポーツ、文化・芸術等において顕著な成績を収めた者とする。

イ 一般入学者選抜日程の変更

2日間の日程を改め、1日とした。

ウ 一般入学者選抜学力検査内容の変更

英語応答試験を廃止した。

エ 募集の要件の改善

平成18年度までの「合格者が募集定員に達しなかった学校は、その課程及び学科別に再募集を行う」を改め、「欠員が、募集定員の概ね10%より多い高等学校は、その学科別に再募集を行うことができる」とした。

オ 普通科と理数科の一括募集

すべての理数科を対象として、普通科と理数科を一括募集することとした。

(4) 平成20年度入学者選抜では、推薦入学者選抜において「志願先高等学校に二つ以上の学科（学系、コース）がある場合には、第2、第3志望まで出願できる」と変更した。

(5) 平成21年度入学者選抜では、体育科、体育コース、体育学系、スポーツ健康科学学系、芸術学系の推薦入学者選抜の募集定員を、定員の20%以内から50%以内に変更した。

(6) 入試制度の問題点及び改善点を検討することを目的に、平成22年6月25日に「県立高校入試改善検討委員会」（委員長：望月善次盛岡大学学長）を設置し、計6回の会議を経て、平成23年12月に「平成27年度以降の県立高校入試の改善について（提言）」が提出された。県教育委員会では、提言をもとに素案を作成し、パブリック・コメント等で寄せられた意見等も踏まえながら、「平成28年度以降の岩手県立高等学校入学者選抜の実施方法」をまとめた（平成24年3月23日）。

主な改善点は以下のとおり

ア 推薦入試合格（内定）者に対して、学力検査問題を活用した学力調査を実施する。

イ 現行では、2、3年生が対象となっている調査書の評定換算点に1年生も加える。

ウ ABC選考で学校裁量を広げる。（A選考のみ、AB選考のみ、AC選考のみも設定可能とした。）

エ 「再募集」を「二次募集」と名称変更し、「定員の概ね10%より多い欠員」としていた実施基準を「定員の10%以上の欠員」と明確にした。

(7) 平成27年度入学者選抜からは、学区外許容率（10%）は変更しないものの、学区内志願者が募集定員を満たさず、かつ、その不足数が学区外許容数を超えている場合、これを超えて入学を許可することができるとした。

第2 学校施設の耐震化の推進

(文部科学省公立学校施設の耐震改修状況調査、平成28年4月1日現在)

1 県立学校施設の耐震化状況

(1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		比較	
	H27.4.1現在	H28.4.1現在	H27.4.1現在	H28.4.1現在	岩手県	全国平均
(小)中学校	100.0%	100.0%	95.6%	98.1%	±0.0%	+2.5%
高等学校	86.2%	88.5%	93.7%	96.4%	+2.3%	+2.7%
特別支援学校	100.0%	100.0%	98.1%	99.1%	±0.0%	+1.0%
幼稚園	—	—	86.7%	91.0%	—	+4.3%
計(平均)	88.6%	89.8%	95.1%	97.6%	+1.2%	+2.5%

※1 (小)中学校の岩手県欄については、一関第一高等学校附属中学校に係る数値。(以下同じ)

2 「耐震化率」とは、全建物のうち、耐震性がある建物(昭和57年以降建築の棟数及び昭和56年以前建築で耐震性がある棟と耐震補強済みの棟)の割合のこと。(以下同じ)

(2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		比較	
	H27.4.1現在	H28.4.1現在	H27.4.1現在	H28.4.1現在	岩手県	全国平均
(小)中学校	—	—	89.7%	92.7%	—	+3.0%
高等学校	95.7%	95.8%	80.6%	87.7%	+0.1%	+7.1%
特別支援学校	—	—	98.6%	100.0%	—	+1.4%
幼稚園	—	—	92.1%	94.3%	—	+2.2%
計(平均)	95.7%	95.8%	89.7%	92.7%	+0.1%	+3.0%

2 市町村立学校施設の耐震化状況

(1) 非木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H27.4.1現在	H28.4.1現在	H27.4.1現在	H28.4.1現在	岩手県	全国平均
小中学校	92.6%	95.9%	95.6%	98.1%	+3.3%	+3.6%
高等学校	46.2%	69.2%	93.7%	96.4%	23.1%	+3.8%
特別支援学校	—	—	98.1%	99.1%	—	+1.9%
幼稚園	82.8%	80.8%	86.7%	91.0%	-2.0%	+4.2%
計(平均)	92.1%	95.4%	95.1%	97.6%	+3.4%	+3.6%

(2) 木造施設の耐震化率

	岩手県		全国平均		前年比較	
	H27.4.1現在	H28.4.1現在	H27.4.1現在	H28.4.1現在	岩手県	全国平均
小中学校	91.5%	95.3%	89.7%	92.7%	+3.9%	+3.0%
高等学校	—	—	80.6%	87.7%	—	+7.1%
特別支援学校	—	—	98.6%	100.0%	—	+1.4%
幼稚園	100.0%	100.0%	92.1%	94.3%	0.0%	+2.2%
計(平均)	92.7%	96.1%	89.7%	92.7%	+3.4%	+3.0%

第3 修学資金の支援等

1 特別支援教育就学奨励費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類		給与人員			給与額		
		小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学校給食費		708	317	1,025	15,391,695	7,302,216	22,693,911
交通費（通学費）		104	14	118	2,344,699	1,717,366	4,062,065
職場実習交通費		0	3	3	0	2,320	2,320
交流学习交通費		43	1	44	25,224	1,300	26,524
修学旅行費		117	89	206	1,195,176	2,500,668	3,695,844
校外 活動費	宿泊を伴わないもの	489	143	632	281,808	114,838	396,646
	宿泊を伴うもの	82	112	194	75,978	220,080	296,058
学用品等購入費		703	302	1,005	3,441,543	2,638,437	6,079,980
新入学児童・生徒用学用品費等		98	101	199	988,192	1,176,679	2,164,871
体育実技用具費	柔道	0	6	6	0	13,830	13,830
	剣道	0	0	0	0	0	0
	スキー	52	8	60	368,664	100,274	468,938
	スケート	0	0	0	0	0	0
拡大教材費		0	0	0	0	0	0
合 計		807	332	1,139	24,112,979	15,788,008	39,900,987

※給与人員の合計の欄は、実給与人員であること。

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

市町村名	国庫補助金額
盛岡市	5,333
八幡平市	233
雫石町	87
葛巻町	0
岩手町	360
滝沢市	1,055
紫波町	485
矢巾町	523
花巻市	2,085
遠野市	227
北上市	1,920
西和賀町	0

市町村名	国庫補助金額
奥州市	1,403
金ケ崎町	499
一関市	2,584
平泉町	102
大船渡市	337
陸前高田市	90
住田町	67
釜石市	114
大槌町	34
宮古市	613
山田町	67
岩泉町	126

市町村名	国庫補助金額
田野畑村	0
久慈市	522
洋野町	265
野田村	13
普代村	39
二戸市	323
軽米町	188
九戸村	9
一戸町	231
合 計	19,934

2 要保護児童生徒援助費補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費	0	0	0	0	0	0
新入学児童・生徒用学用品費等	0	0	0	0	0	0
通学用品費	0	0	0	0	0	0
校外活動費（宿泊を伴わないもの）	0	0	0	0	0	0
校外活動費（宿泊を伴うもの）	0	0	0	0	0	0
修学旅行費	72	88	160	1,595,584	5,791,233	7,386,817
通学費	0	0	0	0	0	0
体育 実技 用具 費	柔道 0 剣道 0 スキー 0 スケート 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0	0 0 0 0
医療費	107	47	154	2,789,938	1,110,254	3,900,192
学校給食費	0	0	0	0	0	0
合計	—	—	—	4,385,522	6,901,487	11,287,009

※平成17年度から準要保護児童生徒援助費補助金が廃止され、市町村へ財政措置されていること。

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：円]

市町村名	学用品費等	医療費	学校給食費	計
盛岡市	1,653,000	1,038,335	0	2,691,335
八幡平市	12,000	0	0	12,000
雫石町	0	0	0	0
葛巻町	0	0	0	0
岩手町	12,000	48,252	0	60,252
滝沢市	182,000	74,585	0	256,585
紫波町	86,000	77,315	0	163,315
矢巾町	28,000	24,280	0	52,280
花巻市	419,000	49,740	0	468,740
遠野市	11,000	9,350	0	20,350
北上市	351,000	150,450	0	501,450
西和賀町	0	0	0	0
奥州市	158,000	12,010	0	170,010
金ヶ崎町	28,000	0	0	28,000
一関市	197,000	24,460	0	221,460
平泉町	0	0	0	0
大船渡市	28,000	0	0	28,000
陸前高田市	0	0	0	0
住田町	0	0	0	0
釜石市	10,000	19,965	0	29,965
大槌町	32,000	0	0	32,000
宮古市	196,000	145,320	0	341,320
山田町	40,000	19,255	0	59,255
岩泉町	10,000	20,810	0	30,810
田野畑村	0	0	0	0
久慈市	15,000	15,309	0	30,309
洋野町	78,000	62,830	0	140,830
野田村	0	0	0	0
普代村	0	0	0	0
二戸市	66,000	35,695	0	101,695
軽米町	27,000	64,435	0	91,435
九戸村	0	26,875	0	26,875
一戸町	41,000	30,825	0	71,825
合計	3,680,000	1,950,096	0	5,630,096

3 被災児童生徒就学支援等臨時特例交付金（被災児童生徒就学援助事業）

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
学用品費	1,734	1,115	2,849	21,154,451	27,336,978	48,491,429
体育実技用具費	10	5	15	157,996	20,300	178,296
新入学用品費	218	322	540	4,432,881	7,553,850	11,986,731
通学用品費	1,246	672	1,918	2,718,409	1,468,340	4,186,749
通学費	563	499	1,062	82,976,516	102,453,021	185,429,537
修学旅行費	316	400	716	6,496,231	24,357,340	30,853,571
校外活動費（宿泊無し）	536	87	623	518,298	154,442	672,740
校外活動費（宿泊有り）	92	110	202	158,518	374,426	532,944
クラブ活動費	2	491	493	536	12,480,718	12,481,254
生徒会費	102	466	568	166,668	1,078,727	1,245,395
PTA会費	612	503	1,115	1,385,254	1,476,150	2,861,404
医療費	259	90	349	1,827,844	694,898	2,522,742
学校給食費	1,667	1,054	2,721	77,422,987	55,419,019	132,842,006
合計	—	—	—	199,416,589	234,868,209	434,284,798

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：円]

市町村名	学用品費等	医療費	学校給食費	計
盛岡市	1,886,092	14,570	2,468,065	4,368,727
八幡平市	0	0	0	0
雫石町	0	0	0	0
葛巻町	82,000	0	53,700	135,700
岩手町	91,480	0	43,000	134,480
滝沢市	784,917	6,720	884,000	1,675,637
紫波町	691,795	15,810	815,675	1,523,280
矢巾町	105,209	0	193,900	299,109
花巻市	1,072,759	2,853	843,692	1,919,304
遠野市	647,954	4,210	714,680	1,366,844
北上市	194,760	0	219,320	414,080
西和賀町	0	0	0	0
奥州市	158,487	0	257,100	415,587
金ヶ崎町	31,410	0	46,600	78,010
一関市	1,596,613	0	1,445,162	3,041,775
平泉町	0	0	0	0
大船渡市	51,587,955	613,120	27,005,195	79,206,270
陸前高田市	96,739,744	266,113	26,028,450	123,034,307
住田町	157,865	0	300,000	457,865
釜石市	85,670,931	689,582	24,247,518	110,608,031
大槌町	12,782,974	718,754	19,289,110	32,790,838
宮古市	34,444,117	92,210	19,558,357	54,094,684
山田町	4,133,160	54,570	986,157	5,173,887
岩泉町	765,942	0	1,263,820	2,029,762
田野畑村	814,255	4,950	1,026,660	1,845,865
久慈市	1,195,224	27,520	1,425,550	2,648,294
洋野町	34,577	0	89,950	124,527
野田村	1,714,330	11,760	2,452,378	4,178,468
普代村	1,490,765	0	1,136,700	2,627,465
二戸市	44,735	0	47,260	91,995
軽米町	0	0	0	0
九戸村	0	0	0	0
一戸町	0	0	0	0
合計	298,920,050	2,522,742	132,841,999	434,284,791

4 へき地児童生徒援助費等補助金

(1) 経費の種類別給与人員及び給与額

[単位：台、人、円]

経費の種類	給与人員			給与額		
	小学校	中学校	計	小学校	中学校	計
スクールバス購入費(台)	(3) 9	0	(3) 9	(11,310,000) 29,280,000	0	(11,310,000) 29,280,000
寄宿舎居住費 (人)						
高度へき地修学旅行費(人)	5	2	7	30,000	27,000	57,000
遠距離通学費 (人)	20	22	42	3,463,000	8,427,000	11,890,000

(注) スクールバスについて、小学校・中学校で共用している場合は、小学校に計上している。()内が共用している台数・金額(内数)。

(2) 市町村別補助金交付額

[単位：千円]

市町村名	スクールバス 購入費	寄宿舎居住費	高度へき地 修学旅行費	遠距離通学費	保健管理費	計
盛岡市						
八幡平市					56	56
雫石町						
葛巻町					413	413
岩手町	7,540				183	7,723
滝沢市						
紫波町						
矢巾町						
花巻市						
遠野市					21	21
北上市						
西和賀町					208	208
奥州市					28	28
金ケ崎町						
一関市	1,670					1,670
平泉町						
大船渡市						
陸前高田市				4,206		4,206
住田町					26	26
釜石市						
大槌町						
宮古市	9,850				55	9,905
山田町						
岩泉町			57	6,220	55	6,332
田野畑村					191	191
久慈市				1,464	232	1,696
洋野町	3,770				70	3,840
野田村						
普代村						
二戸市	2,790					2,790
軽米町						
九戸村						
一戸町	3,660					3,660
合 計	29,280		57	11,890	1,538	42,765

5 育英・奨学（公益財団法人岩手育英奨学会）

県内に住所を有する者の子弟で、有能な素質を有しながら経済的理由により高等学校等への就学が困難なものに対し、学資の貸与その他育英奨学上必要な事業を行った。

また、東日本大震災津波に被災した世帯の高校生を対象とした奨学金の貸付事業（タイプC：震災特例）を継続して行った。

(1) 奨学金の種類と額

ア タイプA（予約・在学・緊急採用共通）

区 分		貸与月額
国公立	自宅通学	18,000円
	自宅外通学	23,000円
私 立	自宅通学	30,000円
	自宅外通学	35,000円

イ タイプB（予約採用）

(ア) 貸与月額（選択制）

15,000円、20,000円、25,000円、30,000円

(イ) 入学一時金

公立50,000円、私立100,000円

ウ タイプC（震災特例）

区 分		貸与月額
国公立	自宅通学	18,000円
	自宅外通学	23,000円
私 立	自宅通学	30,000円
	自宅外通学	35,000円

(2) 奨学生貸与人数

ア タイプA（平成27年度採用）

[単位：人]

貸与人数		内 訳			
		国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
予 約	97	60	10	11	16
在 学	219	87	7	106	19
緊 急	1	1	0	0	0
合 計	317	148	17	117	35

イ タイプB（平成27年度採用、予約採用のみ）

[単位：人]

貸与人数	貸与月額				区 分	
	15,000円	20,000円	25,000円	30,000円	母子・父子家庭	経済困難
9	0	1	0	8	4	0

ウ タイプC（平成27年度採用）

[単位：人]

貸与人数	内 訳			
	国公立・自宅	国公立・自宅外	私立・自宅	私立・自宅外
116	111	1	2	2

(3) 奨学金の貸与状況

ア タイプA (平成27年度)

[単位：人、千円]

区 分		貸与人数	奨学金
国公立	自宅通学	524	112,962
	自宅外通学	53	14,628
私 立	自宅通学	327	117,151
	自宅外通学	97	40,530
合 計		1,001	285,271

イ タイプB (平成27年度)

[単位：人、千円]

区 分		貸与人数	年 額
奨学金	15,000円	8	1,440
	20,000円	9	2,160
	25,000円	2	600
	30,000円	42	14,700
入学一時金	50,000円	(8)	400
	100,000円	(0)	0
合 計		61	19,300

ウ タイプC (平成27年度)

[単位：人、千円]

区 分		貸与人数	奨学金
国公立	自宅通学	192	41,472
	自宅外通学	10	2,760
私 立	自宅通学	9	3,240
	自宅外通学	10	4,200
合 計		221	51,672

第4 教育環境の整備

1 県立学校の教育環境整備

(1) 平成27年度高等学校及び特別支援学校校舎等施設整備状況

[単位：㎡、千円]

補助・ 単独の別	事業内容	学校名	構造	事業実施面積		工事費	工期等
					うち国庫補助 対象面積		
国庫補助	仮部室新築	高田高等学校	鉄骨プレ フェブ造	40.57	40.57	8,241	H27
	作業実習棟新築	花巻清風支援学 校	鉄骨造	97.54	97.54	14,001	H27

(2) 産業教育施設整備の状況 (平成28年4月1日現在)

基準面積(A)	現有面積(B)	現有率(B/A)
303,130 ㎡	153,375 ㎡	50.6 %

(3) 平成27年度特別支援教育設備事業 [単位：千円]

区 分	金 額
特殊教育設備	-
一般教育設備	5,100
情報処理教育設備	4,386
校舎等増改築設備	6,057
計	15,543

(4) 高等学校産業教育設備の整備状況 (平成28年4月1日現在)

基準金額(A)	現有金額(B)	現有率(B/A)
25,572,337,000 円	5,588,764,233 円	21.9 %

(5) 理科教育等設備

ア 平成27年度補助金受領状況

(ア) 高等学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額	学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額
盛岡商業	266	266	釜石	861	861
雫石	221	221	久慈東	865	865
花巻北	288	288	種市	603	603
花北青雲	217	217	軽米	384	384
高田	833	833	伊保内	462	462
計				5,000	5,000

(イ) 中学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額
-	-	-

(ウ) 特別支援学校

[単位：千円]

学校名	国庫補助 交 付 額	設置者 負担額
-	-	-

イ 学校種別現有状況（平成27年度末）

[単位：校、千円、%]

区分	学校種別	学校数	基準総額[A]	現有の状況		平成27年度補助金 交付校数	
				現有金額[B]	現有率[B/A]		
1 理科教育振興法第9条第1項第1号に基づく補助	理科設備	中学校	1	22,344	1,798	8.0	0
		高等学校	64	6,873,966	692,974	10.1	10
		特別支援学校	14	994,605	35,981	3.6	0
		計	79	7,890,915	730,753	9.3	10
	算数数学特別設備	中学校	1	2,364	0	0	0
		高等学校	64	138,666	11,411	8.2	0
		特別支援学校	14	37,066	5,056	13.6	0
		計	79	178,096	16,467	9.2	0

(注) 県立学校分の記載である。

(6) 平成27年度情報処理教育設備

整備学校名	整備金額
【高等学校】 本校64校、分校3校の全校に情報処理教育設備を整備済みうち、平成27年度に更新整備した学校 18校 盛岡工業、雫石、紫波総合、花巻農業、黒沢尻北、北上翔南、黒沢尻工業、水沢商業、岩谷堂、一関工業、大東、高田、大船渡東、釜石商工、遠野、久慈東、福岡、福岡工業 【特別支援学校】 本校13校、分校1校の全校に情報処理教育設備を整備済みうち、平成27年度に更新整備した学校 6校 盛岡視覚支援、一関清明支援、盛岡となん支援、盛岡青松支援、盛岡峰南支援、釜石祥雲支援	112,666千円

(注) 「整備金額」は、全校分の平成27年度の整備金額である。

2 市町村立学校の教育環境整備への支援

(1) 市町村立小中学校の施設及び校地の保有状況

【公立学校施設の保有状況】

[単位：㎡]

区分	必要面積 [a]	保有面積			計 [b]	整備資格面積 (注2) [c]	c/a	危険面積 (注3) [d]	d/b	
		鉄筋コンクリート造	鉄骨その他造	木造						
小学校	校舎	1,071,810	(91.0%) 955,766	(1.8%) 18,571	(7.3%) 76,183	1,050,520	112,501	10.5%	2,390	0.2%
	屋体	333,320	(17.2%) 48,444	(78.0%) 219,812	(4.8%) 13,508					
	計	1,405,130	(75.4%) 1,004,210	(17.9%) 238,383	(6.7%) 89,691					
中学校	校舎	610,242	(94.4%) 598,453	(2.4%) 15,065	(3.3%) 20,676	634,194	43,902	7.2%	10,228	1.6%
	屋体	197,534	(17.3%) 31,268	(81.6%) 147,207	(1.1%) 1,966					
	計	807,776	(77.3%) 629,721	(19.9%) 162,272	(2.8%) 22,642					
合計	校舎	1,682,052	(92.3%) 1,554,219	(2.0%) 33,636	(5.7%) 96,859	1,684,714	156,403	9.3%	12,618	0.7%
	屋体	530,854	(17.2%) 79,712	(79.4%) 367,019	(3.3%) 15,474					
	計	2,212,906	(76.1%) 1,633,931	(18.7%) 400,655	(5.2%) 112,333					
					2,146,919	246,366	11.1%	14,980	0.7%	

注1：平成27年度の公立学校施設台帳を集計したもの。保有面積欄の上段の数値は、構成比。

※東日本大震災津波の影響により調査対象外の学校を除く。

2：整備資格面積とは、各学校ごとに必要面積から保有面積を差し引いた面積（負数となる場合は、ゼロとする）。

3：危険面積とは、耐力度点数が、鉄筋造及び鉄骨造にあつては4,500点以下、木造にあつては5,500点以下の建物の面積。ただし、平成19年度までに実施した耐力度調査の結果が5,000点以下のものも含む。

【公立学校校地の保有状況】

[単位：㎡]

区分	保有校地面積				借用校地面積
	建物敷地	運動場	実験実習地その他	小計	
小学校	2,304,110	2,937,555	1,140,813	6,382,478	72,817
中学校	1,515,139	2,502,484	799,444	4,817,067	109,473
計	3,819,249	5,440,039	1,940,257	11,199,545	182,290

注：数値は平成27年度のもの（東日本大震災津波の影響により調査対象外の学校を除く）

(2) 市町村立幼稚園及び市町村立小中学校の整備状況

【事業別の状況】

[単位：㎡、千円]

区分	負担金事業			交付金事業			計		
	事業数	補助面積	補助金額	事業数	補助面積	補助金額	事業数	補助面積	補助金額
小学校（校舎）	2	1,072	87,513				2	1,072	87,513
中学校（校舎）	4	1,597	139,209				4	1,597	139,209
小学校（屋体）	1	43	3,583				1	43	3,583
中学校（屋体）	1	39	3,249				1	39	3,249
統合	2	7,813	205,349				2	7,813	205,349
危険建物の改築				4	4,250	195,474	4	4,250	195,474
不適格建物の改築				3	1,383	0	3	1,383	0
地震防災対策事業				89	112,343	1,106,906	89	112,343	1,106,906
長寿命化改良事業				3	2,605	23,369	3	2,605	23,369
大規模改造				8	11,222	118,784	8	11,222	118,784
屋外教育環境施設の整備				5	24,006	37,430	5	24,006	37,430
学校体育諸施設整備事業				6	2,015	45,959	6	2,015	45,959
スポーツ施設整備事業							0	0	0
学校給食施設整備事業				4	1,220	69,903	4	1,220	69,903
防災機能強化事業				5		3,335	5	0	3,335
太陽光発電等導入事業				7		26,498	7	0	26,498
その他				1	3,498	22,805	1	3,498	22,805
合計	10	10,564	438,903	135	162,542	1,650,463	145	173,106	2,089,366

注：「屋体」は屋内体育館、「その他」は社会体育施設耐震化の整備

【市町村別の状況（負担金事業）】

[単位：㎡、千円]

市町村名	学校名	建物区分	構造区分	事業名	補助面積	補助金額	備考
盛岡市	土淵小学校	校	R	小校	1,033	84,674	増築
盛岡市	土淵小学校	校	S	小校	39	2,839	増築
盛岡市	土淵小学校	屋	S	小屋	43	3,583	増築
盛岡市	土淵中学校	校	R	中校	865	70,904	増築
盛岡市	土淵中学校	校	S	中校	81	5,896	増築
盛岡市	土淵中学校	屋	S	中屋	39	3,249	増築
奥州市	胆沢中学校	校	R	統合（校）	6,303	192,914	統合
奥州市	胆沢中学校	校	S	統合（屋）	1,510	12,435	統合
一関市	桜町中学校	校	R	中校	482	62,409	増築
宮古市	崎山中学校	校	W	中校	169	0	増築
計					10,564	438,903	

【市町村別の状況（交付金事業：一般会計）】

「単位：㎡、千円」

年度	会計	区分	市町村名	学校名	建物 区分	構造 区分	事業名	補助 面積	補助金額	備考
25	一般	補正	盛岡市	土淵小学校			太陽光発電等		513	
25	一般	補正	盛岡市	土淵中学校			太陽光発電等		513	
25	一般	補正	洋野町	種市学校給食C		S	共同調理場（新增築）	356	6,336	
25	一般	本繰	二戸市	福岡中学校			防災機能強化	22	3,335	
26	一般	補正	盛岡市	土淵小学校			太陽光発電等		5,541	
26	一般	補正	盛岡市	土淵中学校			太陽光発電等		3,693	
26	一般	補正	花巻市	湯口中学校	校	R	危険改築	1,995	98,791	
26	一般	補正	花巻市	湯口中学校	校	R	不適格改築	120	0	繰越
26	一般	当初	奥州市	梁川小学校			学校水泳プール(屋外)	325	16,740	
26	一般	当初	一関市	一関小学校			学校水泳プール(屋外)	400	20,604	
26	一般	当初	一関市	西第二学校給食センター		S	共同調理場(新增築)	465	63,567	
26	一般	当初	二戸市	福岡中学校	R		屋外教育環境	833	1,486	
26	一般	当初	二戸市	福岡中学校	R		学校屋外運動場照明施設	600	565	
26	一般	補正	二戸市	福岡中学校	R		屋外教育環境（Ⅱ期）	7,496	13,374	
26	一般	補正	二戸市	福岡中学校	R		学校屋外運動場照明施設（Ⅱ期）	5,400	5,090	
26	一般	補正	葛巻町	江刈小学校	校	W	危険改築	1,350	0	繰越
26	一般	補正	岩泉町	小本小学校			太陽光発電等		6,912	
26	一般	補正	岩泉町	岩泉中学校	校	R	大規模改造（老朽）	819	25,426	
26	一般	補正	岩泉町	小本中学校			太陽光発電等		9,326	
26	一般	補正	普代村	普代学校給食共同調理場		S	共同調理場（新增築）	235	0	繰越
26	一般	補正	普代村	普代学校給食共同調理場		S	共同調理場（改築）	164	0	繰越
26	一般	補正	洋野町	中野小学校	校	W	危険改築	362	41,142	
26	一般	当初	軽米町	軽米小学校			屋外教育環境	9,677	16,915	
26	一般	本繰	洋野町	中野小学校	校	W	危険改築	543	55,541	
27	一般	当初	盛岡市	土淵小学校		R	学校水泳プール耐震補強	400	7,390	
27	一般	補正	盛岡市	仙北中学校	校	R	不適格改築	261	0	繰越
27	一般	補正	盛岡市	城西中学校	屋	S	不適格改築	1,002	0	繰越
27	一般	当初	奥州市	胆沢区統合中学校	屋	S	中学校武道場（新築）柔剣道場	90	1,225	繰越
27	一般	当初	遠野市	遠野中学校	屋	R	大規模改造（老朽）	1,738	39,259	繰越
27	一般	当初	遠野市	遠野西中学校		R	学校水泳プール(屋外)	400	0	繰越
27	一般	当初	一関市	山目小学校		その他	学校水泳プール(屋外)	400	0	繰越
27	一般	当初	一関市	磐井中学校	校	R	大規模改造（老朽）	2,431	54,099	
27	一般	当初	矢巾町	矢巾市民総合体育館		R S	社会体育施設耐震化	3,498	22,805	
27	一般	補正	花巻市	花巻小学校	屋		防災機能強化		0	繰越
27	一般	補正	花巻市	矢沢小学校	屋		防災機能強化		0	繰越
27	一般	補正	花巻市	矢沢中学校	屋		防災機能強化		0	繰越
27	一般	補正	花巻市	湯本中学校	屋		防災機能強化		0	繰越
27	一般	補正	北上市	南小学校	校	R	長寿命化改良	1,753	0	繰越
27	一般	補正	北上市	南小学校	屋	R	長寿命化改良	189	0	繰越

27	一般	補正	久慈市	宇部中学校			大規模改造(トイレ)	63	0	繰越
27	一般	補正	雫石町	雫石中学校	R		大規模改造(老:エコ)	5,759	0	繰越
27	一般	補正	雫石町	雫石中学校	R		大規模改造(教育内容)		0	繰越
27	一般	補正	雫石町	雫石中学校			大規模改造(トイレ)	225	0	繰越
27	一般	補正	雫石町	雫石中学校			太陽光発電等		0	繰越
27	一般	補正	紫波町	紫波第一中学校			大規模改造(トイレ)	187	0	繰越
27	一般	当初	洋野町	中野小学校	屋	S	長寿命化改良	663	23,369	
27	一般	当初	岩手県						9,170	
			計					50,221	552,727	

【市町村別の状況(交付金事業:特別会計)】

〔単位:㎡、千円〕

年度	会計	区分	市町村名	学校名	建物 区分	構造 区分	事業名	補助 面積	補助金額	備考
26	特会	当初	盛岡市	厨川小学校	校	R	地震補強	4,474	32,394	
26	特会	当初	盛岡市	本宮小学校	校	R	地震補強	2,053	2,660	
26	特会	当初	盛岡市	北厨川小学校	校	R	地震補強	898	13,077	
26	特会	当初	盛岡市	太田東小学校	校	W	(特)地震改築	628	12,949	
26	特会	当初	盛岡市	大新小学校	校	R	地震補強	4,645	25,705	
26	特会	当初	盛岡市	松園小学校	校	R	地震補強	3,655	22,144	
26	特会	当初	盛岡市	下小路中学校	屋	W	(特)地震改築	553	0	繰越
26	特会	当初	盛岡市	上田中学校	校	R	地震補強	4,579	0	繰越
26	特会	当初	盛岡市	上田中学校	校	S	地震補強	143	0	繰越
26	特会	当初	盛岡市	城西中学校	校	R	地震補強	2,684	0	繰越
26	特会	当初	盛岡市	松園中学校	校	R	地震補強	2,422	7,748	
26	特会	当初	一関市	東山中学校	校	R	地震補強	2,203	29,133	
26	特会	当初	一関市	東山中学校	校	R	大規模改造(老朽)	2,203	53,634	
26	特会	当初	葛巻町	小屋瀬小学校	校	R	地震補強	1,798	18,399	
26	特会	当初	葛巻町	江刈中学校	校	R	地震補強	2,878	25,686	
26	特会	当初	葛巻町	江刈中学校	屋	S	地震補強	833	6,205	
27	特会	当初	盛岡市	仁王小学校	校	R	地震補強	7,215	107,546	
27	特会	当初	盛岡市	桜城小学校	屋	S	地震補強	957	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	仙北小学校	屋	S	地震補強	1,017	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	米内小学校	屋	S	地震補強	760	3,944	
27	特会	当初	盛岡市	土淵小学校	校	R	地震補強	1,717	15,907	
27	特会	当初	盛岡市	中野小学校	校	R	地震補強	3,697	32,688	
27	特会	当初	盛岡市	青山小学校	校	R	地震補強	4,327	100,185	
27	特会	当初	盛岡市	緑が丘小学校	屋	S	(特)地震改築	800	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	松園小学校	屋	S	(特)地震改築	924	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	玉山小学校	校	R	地震補強	1,545	23,968	
27	特会	当初	盛岡市	生出小学校	校	R	地震補強	545	7,008	
27	特会	当初	盛岡市	見前小学校	屋	S	地震補強	867	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	月が丘小学校	校	R	地震補強	5,201	0	繰越

27	特会	当初	盛岡市	高松小学校	校	R	地震補強	4,432	54,949	
27	特会	当初	盛岡市	下小路中学校	校	R	地震補強	6,041	30,019	
27	特会	当初	盛岡市	下小路中学校	屋	S	(特)地震改築	1,218	5,322	
27	特会	当初	盛岡市	繫中学校	校	R	地震補強	1,205	11,268	
27	特会	当初	盛岡市	北陵中学校	校	R	地震補強	3,401	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	北陵中学校	校	S	地震補強	216	0	繰越
27	特会	当初	盛岡市	巻堀中学校	校	R	地震補強	1,705	476	
27	特会	当初	盛岡市	巻堀中学校	校	R	大規模改造(老朽)	1,952	67,332	
27	特会	当初	盛岡市	巻堀中学校	校		大規模改造(障害)	0	9,950	
27	特会	当初	大船渡市	盛小学校	屋	S	地震補強	982	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	末崎小学校	校	R	地震補強	2,810	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	猪川小学校	屋	S	地震補強	938	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	日頃市小学校	校	R	地震補強	2,398	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	日頃市小学校	屋	S	地震補強	684	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	大船渡北小学校	校	R	地震補強	3,269	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	大船渡北小学校	校	R	(特)地震改築	2,527	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	大船渡北小学校	屋	S	(特)地震改築	1,106	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	綾里小学校	屋	S	地震補強	750	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	第一中学校	屋	S	地震補強	1,033	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	綾里中学校	校	R	地震補強	2,513	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	越喜来中学校	校	R	地震補強	2,286	0	繰越
27	特会	当初	大船渡市	越喜来中学校	屋	R	地震補強	793	0	繰越
27	特会	当初	一関市	桜町中学校	校	R	不適格改築	725	110,000	
27	特会	当初	一関市	東山中学校	校	R	地震補強	436	5,772	
27	特会	当初	一関市	東山中学校	校	R	大規模改造(老朽)	436	10,628	
27	特会	当初	宮古市	川井中学校	屋		防災機能強化		3,255	
27	特会	当初	奥州市	水沢小学校	屋	R	地震補強	1,383	3,535	
27	特会	当初	奥州市	水沢南小学校	校	R	地震補強	516	1,776	
27	特会	当初	奥州市	水沢中学校	屋	R	(特)地震改築	367	2,962	
27	特会	当初	花巻市	東和小学校	屋		防災機能強化		5,849	
27	特会	当初	花巻市	亀ヶ森小学校	屋		防災機能強化		10,215	
27	特会	当初	花巻市	西南中学校	屋		防災機能強化		22,690	
27	特会	当初	花巻市	石鳥谷中学校	屋		防災機能強化		24,260	
27	特会	当初	花巻市	東和中学校	屋		防災機能強化		14,269	
27	特会	当初	北上市	北上中学校	屋		防災機能強化		7,363	
27	特会	当初	久慈市	小久慈小学校	校		防災機能強化		3,969	
27	特会	当初	久慈市	大川目小学校	校		防災機能強化		5,573	
27	特会	当初	久慈市	夏井小学校	校		防災機能強化		2,014	
27	特会	当初	久慈市	平山小学校	校		防災機能強化		4,117	
27	特会	当初	久慈市	侍浜小学校	校		防災機能強化		6,887	
27	特会	当初	久慈市	小袖小学校	校		防災機能強化		6,571	
27	特会	当初	久慈市	山形中学校	校		防災機能強化		2,583	
27	特会	当初	釜石市	平田小学校	屋		防災機能強化		2,486	

27	特会	当初	釜石市	小佐野小学校	校		防災機能強化		5,998	
27	特会	当初	釜石市	甲子中学校	校		防災機能強化		4,429	
27	特会	当初	釜石市	大平中学校	校		防災機能強化		7,556	
27	特会	当初	釜石市	双葉小学校	校		防災機能強化		6,551	
27	特会	当初	八幡平市	田頭小学校	屋		防災機能強化		13,632	
27	特会	当初	八幡平市	田山小学校	屋		防災機能強化		14,419	
27	特会	当初	八幡平市	松尾中学校	屋		防災機能強化		19,346	
27	特会	当初	八幡平市	安代小学校	屋		防災機能強化		14,674	
27	特会	当初	滝沢市	柳沢小学校	屋		防災機能強化		5,037	
27	特会	当初	滝沢市	滝沢南中学校	屋		防災機能強化		9,284	
27	特会	当初	滝沢市	一本木中学校	屋		防災機能強化		4,903	
27	特会	当初	西和賀町	沢内小学校	屋		防災機能強化		6,105	
27	特会	当初	山田町	山田中学校	屋		防災機能強化		478	
27	特会	当初	岩泉町	安家小学校	校		防災機能強化		4,972	
27	特会	当初	岩泉町	有芸小学校	校		防災機能強化		3,625	
27	特会	当初	岩泉町	釜津田中学校	校		防災機能強化		4,502	
27	特会	当初	岩泉町	小川中学校	校		防災機能強化		4,325	
			計						112,343	1,106,906

(3) 理科教育等設備

(ア) 平成27年補助金交付状況

[単位：千円]

市町村	理科設備	算数・数学設備	計
盛岡市	3,950	0	3,950
岩手町	1,118	0	1,118
葛巻町	287	189	476
八幡平市	521	0	521
滝沢市	500	0	500
紫波町	781	0	781
矢巾町	280	0	280
花巻市	1,120	0	1,120
北上市	1,075	30	1,105
奥州市	2,823	137	2,960
一関市	4,260	0	4,260
陸前高田市	1,600	400	2,000
釜石市	370	34	404
遠野市	1,000	0	1,000
宮古市	797	0	797
山田町	1,386	0	1,386
久慈市	1,922	0	1,922
洋野町	586	62	648
大槌町	425	144	569
一戸町	650	53	703
軽米町	371	126	497
九戸村	467	102	569
計	26,289	1,277	27,566

(イ) 学校種別現有状況 (平成26年度末)

[単位：校、千円、%]

区 分	学校種別	学校数 (26. 5. 1現在)	基準総額[A]	現有の状況		平成27年度補 助金交付校数	
				現有金額[B]	現有率[B/A]		
1 理科教育振興法第9条第 1項第1号に基づく補助	理科 設備	小学校	345	3,562,356	1,417,004	39.8	147
		中学校	169	3,749,001	1,105,066	29.5	81
		高等学校	1	104,151	12,951	12.4	0
		計	515	7,415,508	2,535,021	34.2	228
	算数数学 特別設備	小学校	345	731,543	154,394	21.1	39
		中学校	169	397,238	69,001	17.4	21
		高等学校	1	2,101	0	0.0	0
		計	515	1,130,882	223,395	19.8	60

第7節 教育振興運動を基盤とした地域ぐるみで取り組む教育の推進

第1 学校・家庭・地域が連携するための仕組みづくり

目標達成型の学校経営の取組と教育振興運動が軌を一にして展開することにより、学校、家庭、地域が一体となって、地域ぐるみで子どもを育てていく環境づくりを推進した。

1 「いわて教育の日」推進事業

(1) 趣旨

県民の教育に対する関心と理解を深め、学校、家庭及び地域社会が連携して、次代を担う豊かな人間性を備えた子どもを育成するため、県民一人一人が教育の重要性を認識し、本県における教育のあり方を考える契機として、いわて教育の日を設け、本県における教育の充実と発展に資することを目的に、平成17年3月に県議会で「いわて教育の日に関する条例」が制定され、平成17年4月から施行された。

この条例の目的の実現を図るため、教育に関する活動の奨励、広報その他の取組を行うとともに、市町村や関係団体の取組も併せて実施状況を取りまとめた。

- いわて教育の日 11月1日
- 教育週間 11月1日～7日

(2) 「いわて教育の日」県教育委員会主催事業

平成27年度「いわて教育の日」のつどい（「いわて教育の日」制定10周年記念）

テーマ 『みんなで育む学びの場いわて』

期日 平成27年11月26日（木）

会場 岩手県民会館 大ホール

参加者 県内教育関係者、一般県民、児童生徒等 約1,600人

内容

第1部 開会行事

○開会行事

○子どもたちの命を守り、いじめを許さない社会をつくる宣言

第2部 児童による発表

○田野畑村立田野畑小学校（菅窪鹿踊保存会・小学生踊り組）

郷土芸能 「菅窪鹿踊」

第3部 記念講演

演題 未来に生きる子どもたちのために

～これからの岩手の教育に期待すること～

講師 独立行政法人日本学術振興会 理事長 安西 祐一郎 氏

第4部 記念行事

内容 「イーハトーヴ交響曲」演奏

出演 富田 勲 氏、初音ミク、県内小・中・高校生、イーハトーヴシンガーズほか

演奏 いわてフィルハーモニー 代表・指揮 寺崎 巖 氏

合唱指揮 声楽家 太田代 将孝 氏

(3) 「いわて教育の日」関連事業

「いわて教育の日」前後の10月と11月の2箇月間に実施される、県・市町村・学校・民間団体などによる教育・文化・スポーツ・青少年健全育成等の教育関連事業（行事）を、「いわて教育の日」関連事業として県教育委員会のホームページで周知し、広く参加を求めることにより、教育振興の機運の醸成を図った。

登録事業数：834事業

参加者数：延べ404,897人

2 子どもの読書活動の推進

平成26年6月に策定した「第3次岩手県子どもの読書活動推進計画」を踏まえ、子どもの読書活動推進事業として次の事業を実施した。

(1) 読書ボランティアのための研修会

- ア 読書ボランティア研修会(中央研修)
平成27年 7月 3日 生涯学習推進センター (参加:253人)
- イ 読書ボランティア研修会(各地区研修)
 - ① 平成27年 9月18日 盛岡教育事務所 (参加:41人)
 - ② 平成27年10月16日～平成28年1月14日
中部教育事務所 (参加:183人)
 - ③ 平成27年11月22日、12月12日
県南教育事務所 (参加:119人)
 - ④ 平成27年 9月 9日 沿岸南部教育事務所(参加:31人)
 - ⑤ 平成27年 7月23日 宮古教育事務所 (参加:34人)
 - ⑥ 平成27年 8月27日 県北教育事務所 (参加:98人) ※推進センターとの共同開催

(2) 読書活動の普及・啓発

- ア 「第3次岩手県子どもの読書活動推進計画」の策定・公表
各市町村や関係機関へ計画を送付し、HP等を通じて周知を行った。
- イ 「いわての中高生のためのおすすめ図書100選」の増刷・再配布
平成28年度新中1年生分を増刷し、配布した。(平成28年3月)
- ウ 「いわての小学生のためのおすすめ図書100選」の増刷・再配布
平成28年度新小1年生分を増刷し、配布した。(平成28年3月)

(3) 読書活動の推進体制の整備

- ア 岩手県子どもの読書活動推進委員会
 - ① 第1回委員会 平成27年 6月 3日
 - ② 第2回委員会 平成28年 1月22日
- イ 各地区推進体制の整備
 - ① 平成28年 2月 2日 盛岡教育事務所 (参加:11人)
 - ② 平成27年 7月 8日 中部教育事務所 (参加:14人)
 - ③ 平成27年 7月17日 県南教育事務所 (参加: 8人)
 - ④ 平成27年 5月19日 沿岸南部教育事務所(参加:18人)
 - ⑤ 平成28年 2月 5日 宮古教育事務所 (参加:54人)
 - ⑥ 平成27年 5月29日 県北教育事務所 (参加:35人)

3 教育振興運動

教育振興運動の原点である「地域ぐるみで、地域の教育課題を掘り起こし解決する主体的・自立的な運動の展開」を目指して、平成27年度からは、「みんなで教振! 5か年プラン」への取組を開始した。

このプランは、新しい全県共通課題「情報メディアとの上手な付き合い方」と地域の教育課題の解決に向けた取組を有機的に連動させることにより、運動のより一層の活性化を図ろうとするもので、プラン1年目は、新しい全県共通課題の周知・啓発や「情報メディア」の使用実態把握、メディアの特性を理解するための研修会等が各地で行われた。

(1) 県段階における推進活動

- ア 幹事会
 - ① 期 日 平成27年7月13日、平成28年2月19日
 - ② 会 場 盛岡地区合同庁舎

- ③ 内 容 ・教育振興運動の概要と「みんなで教振！5か年プラン」について
 ・運動の推進方針、事業実施計画について
 ・教育振興運動推進研修会について
 ・事業評価、次年度事業の検討等について

イ 市町村担当者研修会

- ① 趣 旨 教育振興運動の基本理念の理解を図るとともに、「5か年プラン」の概要について理解を図るとともに、情報メディアに関わる全国や本県の現状や課題を知り、取組の方向性を探る機会とする。
- ② 期 日 平成27年5月12日
- ③ 場 所 生涯学習推進センター
- ④ 内 容 説明：「みんなで教振！5か年プラン」について
 講演：「情報メディアとの上手な付き合い方」
 講義・実技：情報機器を使つての危険性の体験等

ウ 教育振興運動推進研修会

- ① 趣 旨 市町村・地区の推進組織や実践組織のリーダー等及び地域連携窓口教員を対象に、地域と家庭・学校の連携に課題解決にあたる教育振興運動の基本理念の理解を図るとともに、「5か年プラン」の周知と情報メディアに関する現状と課題について理解を図る。

② 概 要

教育事務所	期 日	会 場	参加者	内 容
盛岡地区	6月26日	渋民公民館	241人	・説明 ・講演
中部地区	6月3日	県立生涯学習推進センター	141人	・説明 ・講演 ・実践事例紹介
県南地区	6月9日	前沢ふれあいセンター	179人	・説明 ・講演 ・事例発表
沿岸南部地区	6月2日	三陸公民館	114人	・説明 ・講演 ・映画
宮古地区	6月12日	宮古市民文化会館	115人	・説明 ・講演
県北地区	6月9日	二戸地区合同庁舎	60人	・説明 ・講演 ・シンポジウム

エ 市町村地域課題支援事業

- ① 趣 旨 市町村教育委員会と連携を図り、県内各地域の実情に対応した研修機会の拡充を図るとともに、市町村や実践区の実践事例を収集・整理し、情報提供等による市町村支援に活かす
- ② 期 日 5～12月
- ③ 対 象 実践組織関係者（実践区・PTA・子ども会・地域住民等）
- ④ 会 場 各教育事務所における管内市町村
- ⑤ 内 容 ア 教振運動の基本理念の啓発、ワークショップ等
 イ 市町村や実践区の実践状況を調査し、実践事例としてまとめ、情報提供。
 ※今年度の主な取組事例（各教育事務所収集）
 ・チラシ等による周知・啓発→19市町村 30地区
 ・講演会・実技等の研修 →18市町村 39地区
 ・アンケート等の実態把握 →9市町村 14地区
 ・メディア使用のルール作り→7市町村 9地区

オ 公立小中学校及び県立学校の校内体制における「地域連携窓口教員（地域教育担当教員）」の位置づけ周知

- ① 教育基本法及び学校教育指導指針の趣旨を踏まえ、「学校、家庭及び地域住民の連携協力」を推進する「地域連携窓口教員」の位置づけを周知
- ② 「地域連携窓口教員」の設置状況調査の実施（平成27年8月調査）
 ※公立小学校・公立中学校・県立高校・県立特別支援学校 全て100%
- ③ 教育振興運動推進研修会への参加促進
- ④ 各教育事務所で実施する初任者研修（2年次研修）及び教職10年研修等において、学社連携・融合、教育振興運動等の趣旨理解の時間を設定

(2) 市町村段階における推進活動

※震災の影響により、陸前高田市は部分回答。

ア 推進組織の状況 (合計47市町村・地区)

単独の組織で教育振興運動を推進	36市町村・地区
他の運動体や組織と合わせて推進	8市町村・地区
推進組織なし	3市町村・地区

イ 実践組織の状況

(ア) 実践組織の数

区 分	数(割合)
小学校区	234(46.3%)
中学校区	102(20.2%)
公民館区	42(8.3%)
町内会区	74(14.7%)
そ の 他	53(10.5%)
計	505(100.0%)

(イ) 実践組織が取り組む主題の数 (延べ数)

区 分	主題の数
学習活動	815
社会参加	667
自然体験	176
郷土芸能	212
文化芸能	164
生活健康	595
世代間交流	360
勤労体験	155
国際理解	62
スポーツ・レクリエーション	279
情報メディア	328
そ の 他	58
計	3,871

4 学校支援地域本部事業

学校と地域の連携体制を構築し、ボランティアによる多様な形態の教員支援を行い、地域全体で学校教育を支援するとともに、地域の教育力を向上させるため、学校支援地域本部事業を実施した。

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

(1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

ア 委員会の開催

(平成27年5月26日、平成28年2月16日)

イ 学校支援ボランティア推進研修会の開催

(平成27年6月5日 64人)

(2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	本部数
盛岡市	(28)国から直接委託
八幡平市	—
雫石町	—
葛巻町	—
岩手町	—
滝沢市	—
紫波町	—
矢巾町	1
花巻市	—
遠野市	—
北上市	—
西和賀町	1
奥州市	5
金ヶ崎町	—
一関市	3
平泉町	3
大船渡市	1
陸前高田市	10
住田町	—
釜石市	2
大槌町	1
宮古市	5
山田町	—
岩泉町	—
田野畑村	2
久慈市	7
普代村	1
洋野町	6
野田村	1
二戸市	—
軽米町	1
九戸村	1
一戸町	1
計	52(28)本部

第2 多様な体験活動の充実（学習機会の確保）

放課後子ども教室推進、青少年団体の支援等を通じ、多様な体験活動の充実を図った。
また、社会教育施設における体験活動の内容の充実を図り、成果の普及に努めた。

1 放課後子ども教室

地域に根ざした多様な活動の機会を提供するため、放課後子ども教室事業を実施した。子どもたちの放課後における安全・安心な居場所づくりを進めた。

（国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施）

(1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

ア 促進委員会の開催

（平成27年5月26日、平成28年2月16日）

イ 指導者合同研修会の開催

（平成27年7月1日 172人、9月11日 193人、12月13日 79人）

ウ 実地調査

（「学びの部屋」陸前高田、平泉町立長島小学校）

(2) 市町村ごとの事業実施状況

市町村名	子ども教室数
盛岡市	(5)国から委託
八幡平市	—
雫石町	—
葛巻町	4
岩手町	—
滝沢市	2
紫波町	3
矢巾町	2
花巻市	2
遠野市	11
北上市	(3)市独自
西和賀町	—
奥州市	14
金ヶ崎町	1
一関市	21
平泉町	3
大船渡市	—

陸前高田市	1
住田町	2
釜石市	6
大槌町	2
宮古市	6
岩泉町	—
田野畑村	—
久慈市	8
普代村	1
洋野町	4
野田村	1
二戸市	6
軽米町	3
九戸村	4
一戸町	5
計	112(8)教室

※市町村数の()は県の委託以外の市町村数

2 少年団活動の支援

(1) 子ども会等少年団体の組織状況

[単位：団体、人]

団体名	団体数	会員数
ボーイスカウト	12	345
ガールスカウト	11	224
地域子ども会	13	39,062

(平成27年5月1日現在)

(平成28年3月31日現在)

(平成27年5月1日現在)

(2) 少年団体の活動状況

団体名	主な事業
日本ボーイスカウト岩手連盟	指導者育成事業／プログラム事業
ガールスカウト日本連盟岩手県支部	リーダー養成講習会／ガールスカウト支部ギャザリング
岩手県子ども会育成連合会	ジュニアリーダー育成／各地域子ども会育成組織支援

3 青年団体活動の支援

(1) 組織状況 [単位：団体、人]

団体名	構成団体数	会員数
岩手県青年団体協議会	11	570

(平成27年5月25日現在)

(2) 事業内容

ア 第62次青年問題研究集会

期 日……平成28年2月13日～14日

場 所……岩手県青少年会館

イ 第64回岩手県青年大会

(ア) 体育部門

期 日……平成27年7月19日

場 所……葛巻町

種 目……バスケットボール、柔道

(イ) 文化部門

期 日……平成27年9月6日

場 所……岩手県青少年会館

種 目……生活文化展

ウ 第64回全国青年大会

期 日……平成27年11月13日～16日

場 所……日本青年館及び東京周辺各会場

参加種目…バスケットボール、柔道、生活文化展

4 青年教室・講座

項 目	開設数	参加者数	内 容
30人以上で20時間以上	1教室(1市町村)	26人	1 人間関係に関すること 2 市民性、社会性に関すること 3 職業、家庭に関すること 4 郷土理解に関すること
30人以上で10～20時間	0教室(0市町村)	0人	
上記以外(自立開設)	36教室(9市町村)	2,420人	
合 計	37教室(10市町村)	2,446人	

5 青少年教育施設の利用状況

(1) 運営の基本方向

次代の担い手である青少年に、恵まれた自然環境の中で規律ある共同生活を体験させ、友情・協同・奉仕等の相互扶助の精神を養い、地域社会の発展に寄与し得る自主的で創造性豊かな青少年の育成を図る。

(生活方針) 「規律」「友情」「協同」「奉仕」

(2) 青少年の家の利用者数 [単位：団体、人]

	利用団体数	実利用者数	延利用者数
県南青少年の家	510	22,612	35,175
陸中海岸青少年の家	509	19,667	29,790
県北青少年の家	458	25,676	32,396
計	1,477	67,955	97,361

(3) 県北青少年の家スケート場利用者数 [単位：人]

	研修利用者数	普通利用者数	計
幼児	480	197	677
小学生・中学生	4,269	8,820	20,070
高校生・大学生・一般	6,981		
計	11,730	9,017	20,747

(4) 類型別実利用者数 [単位：人]

		県南青少年の家	陸中海岸青少年の家	県北青少年の家
事業参加	施設主催事業	3,983	2,804	5,412
	県主催事業	438	979	560
学校利用	大学・短大	483	1,183	246
	各種学校	289	0	0
	高等学校	4,734	1,911	2,325
	中学校	4,591	4,632	2,610
	小学校	8,557	5,779	6,206
地域団体利用	サークル(勤労青年)	0	0	70
	サークル(一般)	75	727	338
	子ども会	2,216	2,427	2,183
	スポ少団体	4,645	2,306	7,266
	児童館・公民館	759	564	1,014
	幼稚園・保育園	258	1,362	570
企業体		1,321	253	1,911
その他		2,826	4,863	1,685
合計		35,175	29,790	32,396

第3 地域の教育課題の解決・家庭教育の充実

子どもたちが基本的な生活習慣を身に付けることができるよう、幼児期からの家庭での取組を支援するとともに、子育て支援に関わるグループ・団体・NPO等や企業との連携・協力をしつつ、家庭教育支援を推進した。

1 学習機会の提供

親等に対する様々な機会を活用した家庭教育に関する学習機会を提供した。

(1) 子育て・親育ち講座

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

ア 目的……親等が多数集まる機会を利用して、子どもの心理や親子の関係について学習する。

イ 期 日……平成27年4月～平成28年3月

ウ 内 容……滝沢市、遠野市、金ヶ崎町、平泉町、陸前高田市、田野畑村、久慈市、洋野町、軽米町の9市町村において、次の機会を利用して各種講座を実施した。

(ア) 幼児期講座

(イ) 小学校入学時講座（就学時健診等の機会を活用）

(ウ) 学童期講座

(エ) 中学校入学時講座（入学説明会等の機会を活用）

(オ) 父親の家庭教育参加促進事業

2 子育て支援体制の充実

地域との関わりの中で家庭教育や子育てを行うことが出来る支援体制の整備を図る。

(1) 岩手県学校・家庭・地域の連携による教育支援活動促進委員会

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

ア 国庫委託事業の基本的方針等について 平成27年5月18日

イ 国庫委託事業の成果・課題等について 平成28年2月16日

(2) 家庭教育支援推進事業

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

滝沢市、遠野市、金ヶ崎町、平泉町、陸前高田市、田野畑村、久慈市、洋野町、軽米町において実施した。

(3) 子育てサポーター活動促進セミナー

(国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施)

ア 目的……岩手県子育てサポーターと県、各市町村の子育て支援関係者との交流促進、相互理解を図り、本県の子育て支援の充実及び子育てサポーターの資質向上・活動促進を図る。

イ 期 日

(ア) 平成27年6月11日 生涯学習推進センター 32人

(イ) 平成27年7月8日 大船渡合庁 14人

(ウ) 平成27年8月3日 宮古合庁 12人

(エ) 平成27年9月14日 久慈合庁 15人

(オ) 平成27年9月24日 生涯学習推進センター 48人

(カ) 平成27年11月20日 一関合庁 14人

ウ 岩手県子育てサポーターの登録者数 116人（平成27年度末現在）

(4) 子育て支援ネットワークの充実

（国庫委託事業「学びを通じた被災地の地域コミュニティ再生支援事業」として実施）

ア 目的……地域における子育て支援に指導的な立場で携わる子育てサポーターや子育て支援団体の資質の向上を図るとともに、相互のネットワークを形成することにより、本県の家庭教育の充実に資する。

イ 事業……

（ア）家庭教育支援担当者のためのプログラムデザイン研修会

a 主 管 生涯学習推進センター

b 期 日 第1回 平成27年5月27日 13人

第2回 平成27年7月24日 7人

第3回 平成27年11月5日 19人

c 内 容 講演、ワークショップ、情報交流会等

d 対 象 行政担当者、子育て支援関係者等

（イ）子育て支援ネットワーク研修会

a 生涯学習推進センター 平成27年7月16日 37人

b 各教育事務所

・ 盛岡教育事務所 平成27年10月9日 54人

・ 中部教育事務所 平成27年10月6日 86人

・ 県南教育事務所 平成28年1月21日奥州地区 41人

平成28年1月28日一関地区 52人

・ 沿岸南部教育事務所 平成27年9月30日 20人

・ 宮古教育事務所 平成27年9月9日 17人

・ 県北教育事務所 平成27年10月27日 40人

ウ 内 容……講義・演習・情報交流

エ 対 象……行政関係者、子育てサポーター養成講座修了者、子育て支援関係者等

3 学習情報の提供と相談体制の充実

様々なメディアを活用して、家庭教育・子育てに関する情報を提供するとともに、家庭教育に悩む親等が気軽に相談できる窓口を設置し、その周知に努めた。

(1) 子育て電話相談「すこやかダイヤル」

ア 目的

家庭教育、特に子育てに関する悩みや不安を抱く親に対して、電話(面接)による相談を行い、家庭教育の充実に資する。

イ 内容

生涯学習推進センターに設置する専用電話「すこやかダイヤル」により、相談員が親等の家庭教育に関する相談に応じる。

【すこやかダイヤル】

電話番号：0198-27-2134

開設期間：通年(祝日、年末年始は除く)

相談対応：平日10時～17時は電話、夜間

・ 休日はFAX、留守番電話

ウ 相談件数 764件 [単位：件、%]

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	28	3.7
しつけ全般	40	5.2
遊び・友だち	15	2.0
家庭・環境	37	4.8
知能・ことば	5	0.7
いじめ・不登校	30	3.9
虐待・育児不安	17	2.2
心理・性格	260	34.0
集団生活・社会性	36	4.7
学習・進路	15	2.0
人間関係	43	5.6
その他	238	31.2
計	764	100.0

(2) 子育てメール相談

ア 目的

子育てについて学ぶ余裕がない親、子育てに関心が薄い親、孤立しがちな親等、すべての親に対してきめ細かな家庭教育支援を行うため、ITを活用した家庭教育相談、情報提供を行う。

イ 内容

生涯学習推進センターが運営する「まなびネットいわて」を活用し、メール相談者に対する相談員によるアドバイスのメール回答や、配信希望登録者へのメールマガジン配信（毎週木曜日）等の情報提供を行う。

ウ 相談件数 114件 [単位：件、%]

相談領域	相談件数	割合
健康・安全	1	0.9
しつけ全般	9	7.9
遊び・友だち	5	4.4
家庭・環境	17	14.9
知能・ことば	2	1.8
いじめ・不登校	10	8.8
虐待・育児不安	22	19.3
心理・性格	13	11.4
集団生活・社会性	7	6.1
学習・進路	4	3.5
人間関係	5	4.4
その他	19	16.6
計	114	100.0

第8節 広がりや深まりのある生涯学習の振興

第1 多様な学習活動を支援する環境の整備充実

学校教育ではぐくまれる「生きる力」を基盤とし、変化の激しい社会において、各個人が自立した一人の人間として力強く生きていくための総合的な力を身に付けることが求められていることから、学習情報提供や相談体制の充実、普及奨励、学習成果を生かす環境づくりなど、生涯にわたって学習を継続できるようにするための支援や環境づくり等に取り組んだ。

1 生涯学習社会の実現を目指した推進体制の充実

近年における社会経済の急激な変化に伴う社会構造の変化、高度情報化や国際化の進展等の一方で、高齢化社会の進行も一層顕著になってきている。

生涯学習の推進においては、このような社会の変化に適切に対応しながら、一人一人が生きがいを感じながら学びを継続するとともに、学んだ成果を適切に生かしていくことが求められている。

平成18年12月には、時代の変化に対応すべく、教育基本法に「生涯学習の理念」(第3条)が新しく規定されたことをはじめ、「教育の目標(第2条)」、「家庭教育(第10条)」、「社会教育(第12条)」、「学校、家庭及び地域住民等の連携協力(第13条)」等、学校教育のみならず、生涯学習・社会教育関係の規定の充実も図られた。

本県においても、一人一人が真に生きがいのある人生を創造するとともに、東日本大震災津波からの復興に向けた活力に満ちた地域社会を築くための施策の展開が求められている。

(1) 岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議の開催

生涯学習に関する基本的な施策を調査審議し、もって本県における生涯学習の総合的な振興を図るため、次の会議を開催した。

なお、平成19年度まで生涯学習審議会の開催を年1回とし、社会教育委員会議を年2回開催してきたが、両会議の関係は非常に密接であることから、平成20年度以降、全員の委員が兼任し両会議を同時開催することとした。

【岩手県生涯学習審議会・岩手県社会教育委員会議】

ア 期日

第1回 平成27年7月23日

第2回 平成28年2月3日

イ 出席

第1回 委員16人中12人出席

第2回 委員16人中10人出席

ウ 内容

(ア) 平成27年度主要施策について

a 生涯学習文化課

b 学校教育室

c スポーツ健康課

d 県立生涯学習推進センター

e 県立図書館

f 県立博物館

- g 県立美術館
- h 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団
- (イ) これからの教育振興運動のあり方について
- (ウ) 平成26～27年度協議テーマ「社会教育の今日的役割 ～絆づくりと活力あるコミュニティの形成に係る拠点づくりについて～」について
- (エ) 平成27年度社会教育功労者表彰に係る選考について
- (オ) 平成28年度社会教育関係団体活動費補助金の交付について

2 連携と協力による生涯学習の普及奨励

(1) 学習意識の啓発

県民の生涯学習に対する理解と意欲を高め、学習活動の充実を図るため、生涯学習推進センターにおいて、県内全市町村とのネットワークによる生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」等により、学習情報の提供や広報活動に努めた。

ア 生涯学習情報提供事業

(ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

- a 情報量…………… 2,644件
- b 利用件数…………… 19,287件
- c システム利用件数…………… 46,745件

イ 生涯学習情報紙「岩手県立生涯学習推進センター情報」の発行

(ア) 発行部数…………… 707部

※（県内小・中・義務教育・高等学校、教育関係機関、市民センター等へメール配信625件）

(イ) 年間発行回数…………… 4回

(2) 学習活動の支援

県民の学習活動の成果を地域社会に生かすことができるよう生涯学習ボランティア活動推進事業を実施するとともに、岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」において、広域的な学習機会と学習情報の提供に努めた。

また、電話による学習相談を行い、生涯学習・社会教育事業の支援を行った。

ア 生涯学習ボランティア活動推進事業（生涯学習推進センターボランティア登録数）

750人

イ 電話相談「マナビコール」の開設

- (ア) 開催日……………毎週月～金曜日
- (イ) 時間…………… 9時～17時
- (ウ) 相談員……………生涯学習推進センター専門職員
- (エ) 相談件数……………175件

第2 生涯にわたる学習機会の充実

生涯学習の中核を担う社会教育の充実を図るとともに、家庭教育をはじめとした生涯にわたる学習機会の充実を図り、自立した個人の育成や地域コミュニティの形成を促した。

1 成人の学習活動の支援

(1) 一般成人教育

ア 学級講座（成人大学講座等）

	市町村数	学級数	受講者数
成人大学講座	11	144	5,187
成人学級・講座	24	1,787	72,777
その他	19	292	13,345

イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

(ア) ボランティア登録者

登録者数……745人（生涯学習推進センター）

(イ) ボランティアの研修

岩手県読書をすすめるつどい

平成28年2月6日 アイーナ 165人参加 講演及び活動発表等

ウ 成人団体活動の支援

(ア) P T Aへの補助

補助団体	補助対象事業	事業内容	補助金額
(一社) 岩手県P T A連合会	家庭教育セミナー	○平成27年8月29日、葛巻町、194人 ○平成27年11月21日、花巻市、218人 ○講演、パネルディスカッション等	150千円
	広報コンクール 三行詩コンクール	○審査 平成27年5月13日 ○対象 81人 ○審査 平成27年9月18日 ○対象人数2,308人 ※年次表彰式で表彰	
	岩手県P T A研究大会 準備	○平成28年11月6日開催予定の研究大会準備 ○北上市 ○実行委員会組織	
	会報発行	○「P T Aいわて」 ○会員及び関係機関等 ○3回発行(1回当たり10,000～15,000部)	
岩手県高等学校P T A連合会	研究協議会	○平成27年6月5日 ○盛岡市 ○講演等 ○参加者数251人	120千円
	会報発行	○「ポローニア」 ○会員及び関係機関等 ○2回発行(1回当たり30,000部)	
	母親会員交流会	○平成27年10月28日 ○盛岡市 ○発表・講演 ○参加者数144人	
岩手県国公立幼稚園P T A連絡協議会	研究大会	○平成27年6月26日 ○花巻市 ○講演・研究協議等 ○参加者数264人	120千円
	ブロック研修会	○平成27年6月～11月 ○4ブロック ○講演、実践交流会等 ○参加者数986人	
	会報発行	○1回発行(1回当たり2,500部)	

(イ) 岩手ユネスコ協会連盟への支援

補助金額：120千円

事業名	実施期日	実施場所	参加人数等	内容
ユネスコ運動岩手県大会	11月7日 ～8日	盛岡市	230人	講演、シンポジウム
ユネスコ活動顕彰事業	9月18日 11月7日 11月17日 11月18日	盛岡市	7件 1,250人	選定、表彰等
国際交流活動研修会	1月22日 ～23日	滝沢市	191人	講演、分科会、全体会、交流会等
ユネスコ運動広報事業	5月16日	県内	400部	会報発行
	2月21日		300部	

(2) 女性教育

女性の地位向上と充実した人生の創造のため、多様で高度な学習機会を提供するとともに、女性の持つ豊かな感性を地域づくりに役立てる社会参加を促進した。

また、自主的な団体活動を促進するための指導者の養成に努めた。

ア 女性学級・講座

女性のライフスタイルや家庭生活の変化に伴い、女性の学習志向が一層高まり、婦人問題、生活上の課題を中心に、市町村を主体として計画的な学習が行われた。

【学級・講座開設状況】

区分	市町村数	学級数	学級生数
女性学級・講座	19	403	11,113
その他	8	19	1,136

イ 女性団体活動の支援

本県の女性団体は、女性の地位と福祉の向上及び相互の連携を図ることを目的とし、岩手県女性団体連絡協議会を組織している。

県教育委員会は、岩手県地域婦人団体協議会が行う社会的、公共的に意義のある事業に対してその経費の一部を補助し、また、その団体の自主性を尊重しつつ求めに応じて助言指導を行うなど、その活動の支援を行った。

【組織状況（平成27年5月1日現在）】

団体名	単位団体数	会員数
特定非営利活動法人岩手県地域婦人団体協議会	35	8,164

(ア) リーダー研修会

- a 期日 平成27年6月18日
b 場所 宮古市
c 参加人数 115人

(イ) 岩手県地域婦人大会

- a 期日 平成27年10月28日
b 場所 盛岡市
c 参加人数 1,000人

2 高齢者の学習活動の支援

○ 高齢者学級・講座

高齢者の高度で多様なニーズに対応するため、各市町村において今日的課題に関する講座や世代間交流事業などが行われた。

区分	市町村数	学級数	学級生数
高齢者学級・講座	27	669	41,007
その他	9	127	4,464

3 視聴覚教育

○ 視聴覚教育の推進

教育関係者には、視聴覚教材、機材を適切に活用し学習効果を高めるとともに、放送など視聴覚メディアの活用と併せ、メディアの研究開発による教育の機会の拡充を図ることが求められていることから、指導者養成に当たっては、機器の操作や指導方法等について、専門的研修を実施し、指導法の浸透を図った。

ア 視聴覚教育指導者研修（社会教育関係）

視聴覚教育総合全国大会（東京都） 平成27年8月4日～5日 5人参加

イ 視聴覚ライブラリー専任職員研修会

視聴覚教育協議会専任職員等研修会（生涯学習推進センター）平成27年6月18日～19日 12人参加

ウ 16ミリ映写機操作技術講習会

[単位：回、人]

教育事務所	回数	修了者数
盛岡	3	37
中部	3	13
県南	2	22
沿岸南部	2	5
宮古	1	1
県北	0	0
計	11	78

エ 教材フィルム利用状況

[単位：本、人]

視聴覚ライブラリー名	利用本数	観覧者数
中央	1,118	19,174
花巻図書館	303	5,421
北上市	114	6,476
西和賀町	0	0
県南第一	1,109	27,750
沿岸第一	286	3,710
釜石市	16	665
遠野市	45	641
大槌町	0	0
久慈市	60	646
県北第二	39	899
二戸	104	2,298
計	3,194	67,680

4 指導体制の充実

社会教育活動を総合的、効果的に推進するため、市町村に社会教育主事が27人、社会教育指導員が42人配置されている。

近年、社会を取り巻く環境の変化や新たな課題への対応のため、社会教育関係職員の専門性が一層強く求められており、関係職員への教育は重要となっている。

平成27年度は、以下の研修等を行った。

(1) 新任社会教育関係職員研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年5月14日～15日 | 生涯学習推進センター | 181人

【内容】生涯学習の推進に関する基本的事項及び職務に関する研修

(2) 社会教育指導員等研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年5月21日 | 生涯学習推進センター | 84人

【内容】社会教育指導員等としての職務、各分野における専門的事項に関する研修

(3) 岩手県社会教育委員研究大会兼岩手県公民館大会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年7月9日～10日 | 久慈市文化会館 | 300人

【内容】生涯学習及び社会教育に関する基本的な事項、職務及び今日的な在り方に関する研修
公民館の在り方等に関する研修

(4) 社会教育主事・公民館職員・社会教育指導員等研修会兼生涯学習セミナー

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年9月9日 | 生涯学習推進センター | 77人

【内容】社会教育職員等を対象に、諸課題に対応する社会教育活動の在り方等に関する研修

(5) 資質向上研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年9月17日 | 生涯学習推進センター | 22人

【内容】社会教育関係職員の資質向上に関する研修

(6) 広報スキルアップ研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年11月26日 | 生涯学習推進センター | 58人

【内容】魅力的かつ効果的な周知・広報活動に関する研修

(7) 対人スキルアップ研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年7月28日 | 生涯学習推進センター | 66人

【内容】生涯学習関係職員等に不可欠な実践的対人スキルの育成を図る研修

(8) 事業プログラム開発研修講座

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年8月20日 | 生涯学習推進センター | 17人

【内容】事業プログラム開発に関する研修

(9) 希望移動研修

【期日 | 対象地区 | 参加者数】

期 日	対象地区	参加者数
平成27年6月12日	県北地区	30人
平成27年7月14日	中部地区	23人
平成27年9月29日	県南地気	35人
平成27年11月18日	盛岡地区	23人
平成27年11月19日	沿岸南部地区	6人

【内容】市町村のニーズに応じ、社会教育関係職員等を対象に行う研修

(10) 復興支援セミナー（沿岸会場）

【期日 | 対象地区 | 参加者数】

期 日	対象地区	参加者数
平成27年6月2日	宮古地区	46人
平成27年6月25日	県北地区	19人
平成27年6月29日	宮古地気	13人
平成27年10月13日	県北地区	10人
平成27年12月7日	沿岸南部地区	27人
平成28年2月11日	沿岸南部地区	84人

【内容】沿岸被災地からの要請により、主に生涯学習・社会教育関係職員を対象とした復興支援に関する研修

(11) 図書館等職員研修

ア 新任図書館長等研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年4月24日 | 県立図書館 | 15人

【内容】

- (ア) 新任の図書館長等を対象にした基礎的研修
- (イ) 講話 市町村立図書館長の役割及び図書館運営
- (ウ) 講義 県立図書館等概況説明
- (エ) 情報・意見交換

イ 生涯学習ボランティア活動推進事業

県民の学習成果を地域社会における諸活動の中で生かすことのできる環境の整備に資する。

岩手県読書をすすめるつどい（出典：岩手県立図書館統計資料）

平成28年2月6日 アイーナ 165人参加 講演及び事例発表

(12) 図書館等職員研修（出典：『要覧2016（平成28年度版）岩手県立図書館編集』）

ア 新任図書館長研修

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年9月1日～4日 | 県立図書館他 | 1人

【内容】文部科学省主催研修の動画受信による研修

イ 図書館等初任職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】平成27年5月14日～15日 | 県立図書館 | 45人

【内容】

- (ア) 市町村立図書館及び公民館図書室の経験年数3年未満の職員を対象にした実務に関する研修
- (イ) 講話（図書館サービスについて）
- (ウ) 講義（図書館の連携、資料の受入～配架、図書館と著作権、レファレンスサービス等）
- (エ) グループワーク
- (オ) 館内見学

ウ 市町村図書館等職員専門研修

期 日	会 場	参加者数
平成27年10月9日	県立図書館	50人
平成27年12月9日	宮古市立図書館	21人
平成27年12月10日	盛岡市都南図書館	22人
平成27年12月15日	北上市立中央図書館	25人

エ 図書館等中堅職員研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】 平成27年7月9日～10日 | 県立図書館 | 55人

【内容】

- (ア) 市町村立図書館及び公民館図書室の経験年数おおむね3年以上の職員を対象にした実務に関する研修
- (イ) 講義・意見交換（障がい者と図書館）
- (ウ) 講義（資料提供としてのレファレンス・サービス）
- (エ) 講義・実技（こわれた本の修理-資料管理 保存・維持・更新・修理作業-）

オ 図書館職員・図書館協議会委員合同研修会

【期日 | 会場 | 参加者数】 平成27年10月29日 | アイーナ | 45人

【内容】

- (ア) 県内公共図書館・公民館図書室及び関係機関の職員、図書館協議会委員を対象にした図書館運営の在り方や今日的課題等に関する研修
- (イ) 基調講演（図書館と危機管理-saveMLAKの経験に基づいて-）
- (ウ) 事例発表（災害から資料を守り救うために、実践的な危機管理マニュアルを目指して）
- (エ) 全体会

(13) 文部科学省・国立教育政策研究所研修講座

ア 公民館職員専門講座

公民館職員として必要な高度かつ専門的な知識・技術についての研修を行い、地域の指導的立場にある公民館職員としての力量を高める。

【期日 | 会場】 平成27年5月19日～22日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】 講義、演習、事例発表、研究協議等

【参加者数】 1人（県立生涯学習推進センター）

イ 全国生涯学習センター等研究交流会

全国の生涯学習センター等の代表者・職員等を対象に、生涯学習センター等の運営上の課題等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】 平成27年6月4日～5日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】 基調講義、事例研究等

【参加者数】 1人（県立生涯学習推進センター）

ウ 新任図書館長研修

図書館に関する基本的な知識を教授し、館長の資質の向上を図る。

【期日 | 会場】平成27年9月1日～4日 | 県立図書館、一戸町立図書館

【内容】講義、実践報告等

【参加者数】2人(岩手県立図書館、一戸町立図書館)

エ 美術館を活用した鑑賞教育の充実のための指導者研修

鑑賞教育の重要性を踏まえ、全国の小・中学校等の教員と美術館の学芸員等が一堂に会し、研究協議を行う。

【期日 | 会場】平成27年8月3日～4日 | 東京国立近代美術館及び国立新美術館

【内容】講演、グループワーク等

【参加者数】2人(岩手県立美術館、県南教育事務所)

オ 地域教育力を高めるボランティアセミナー

学校・家庭・地域の連携の推進、地域課題への対応方策等に視点をあて、地域住民が様々な観点から学校や地域の学習支援の活動に参画する事業の在り方等について研究協議等を行う。

【期日 | 会場】平成28年3月3日～4日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】行政説明、事例研究、グループ協議等

【参加者数】6人(県立生涯学習推進センター、県南教育事務所、市町村担当者等)

カ 社会教育主事専門講座

社会教育主事として必要な高度かつ専門的な知識・技術に関する研修を行い、都道府県の指導的立場にある社会教育主事としての力量を高める。

【期日 | 会場】平成27年11月10日～13日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】講義、演習、事例研究、研究発表等

【参加者数】3人(県立生涯学習推進センター、県南教育事務所、宮古教育事務所)

キ 社会教育主事講習への派遣

(ア) 秋田大学社会教育主事講習

【期日 | 会場】平成27年7月14日～8月7日 | 秋田大学等

【内容】講義、演習、グループ研究等

【参加者数】2人(公立小学校教諭、市町村職員)

(イ) 社会教育主事講習[A]

【期日 | 会場】平成27年7月22日～8月26日 | 国立教育政策研究所教育実践研究センター等

【内容】講義、演習、グループ研究等

【参加者数】1人(県立高等学校教諭)

ク メディア教育指導者講座

学びの場における情報通信技術の活用促進を図る上で必要な専門的知識と技術を習得するための研修を行う。

【期日 | 会場】平成27年11月16日～20日 | 国立教育政策研究所社会教育実践研究センター

【内容】講義、演習等

【参加者数】1人(県立生涯学習推進センター)

ケ 全国博物館長会議

学びの場における情報通信技術の活用促進を図る上で必要な専門的知識と技術を習得するための研修を行う。

【期日 | 会場】平成27年6月10日 | 文部科学省 講堂

【内容】行政説明、事例発表、パネルディスカッション等

【参加者数】2人(県立博物館、花巻新渡戸記念館)

5 社会教育施設の整備充実（1 県立生涯学習推進センター）

(1) 運営の方針

本県生涯学習推進の中核機関として、県民の学習活動を支援、促進するため、生涯学習に関する情報提供・学習相談、調査研究及び指導者養成等の事業を総合的、効果的に推進するとともに、市町村及び関係機関・団体との連携強化に努め、本県生涯学習の振興を図る。

(2) 運営の重点

ア 学習情報提供・学習相談

生涯学習情報システムなど、多様なメディアを活用した総合的な学習情報の提供及び学習相談の充実に努める。

(ア) 学習情報データベースの充実と生涯学習情報提供及び学習相談の充実

(イ) 家庭教育に関する情報提供及び相談の充実

(ウ) 生涯学習に関する広報活動の充実

イ 調査・研究

生涯学習に関する各種調査を実施するとともに、生涯学習推進上の諸課題に関する研究を推進し、本県生涯学習の振興に役立てる。

(ア) 生涯学習及び社会教育の推進状況等に関する調査の実施

(イ) 生涯学習推進上の諸課題に関する研究の推進

(ウ) 生涯学習推進研究発表会の開催

ウ 指導者の養成・研修

生涯学習・社会教育関係職員及び有志指導者を対象とした研修を充実し、関係職員の資質の向上と指導者の養成を図る。

(ア) 主に生涯学習・社会教育関係職員を対象とした研修（職員研修）

(イ) 主に有志指導者（ボランティア）を対象とした研修（有志指導者研修）

(ウ) 市町村等のニーズに応じた研修（養成研修）

(3) 事業等の実施状況

ア 学習情報の提供

(ア) 生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の管理運用

インターネットを活用し、各種の生涯学習情報を県民に提供した。

【生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」の利用状況】

分野	利用件数(前年比)	<参考>情報数(前年比)
講座・イベント	2,620 (527)	451 (△197)
施設	2,412 (1,325)	569 (0)
団体・グループ	4,825 (3,536)	219 (0)
指導者	8,581 (4,169)	750 (20)
教材	849 (179)	664 (0)
計	19,287 (9,736)	2,653 (△177)

(イ) 生涯学習情報紙の発行

【名称】岩手県立生涯学習推進センター情報

【内容】国・県・市町村における生涯学習の推進状況、県立生涯学習推進センターの事業に関する情報等

【発行部数・回数】710部・年4回

【配布先】県、市町村教育委員会、小中高等学校、関係機関及び施設等

(ウ) 学習相談事業「マナビィコール」

【内容】生涯学習の推進に関する事業や学習活動についての電話相談
電話番号：0198-27-4563（月曜日～金曜日の9時～17時）

【相談件数】平成27年度175件

(エ) 子育て相談「すこやかダイヤル」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての電話相談、面接相談
電話番号：0198-27-2134

（月曜日～金曜日の10時～17時、これ以外の夜間、休日はFAX、留守番電話対応）

【相談件数】平成27年度764件

(オ) 子育て相談「すこやかメール相談・メールマガジン」

【内容】子育てに関する悩みや不安についての携帯電話メール相談、子育て情報提供

【相談件数】平成27年度114件

【子育て情報提供】毎週木曜日メールマガジン配信

イ 調査・研究

(ア) 研究紀要「2015 研究報告 Vol.18 いわたの生涯学習」の発行

【部数】1,500部

【内容】社会教育関係職員の研修の充実方策に関する実践的研究

(イ) 平成27年度岩手県生涯学習推進研究発表会

【期日】平成28年2月3日～4日 【会場】生涯学習推進センター

【参加者数】280人

【内容】(1)講演「住民主役の地域づくりをどのように進めるか」

(2)研究発表・協議

①「市町村における教育振興運動の効果的な推進方策に関する実践的研究」

②「社会教育関係職員の研修の充実方策に関する実践的研究」

(3)鼎談「岩手の社会教育・生涯学習のこれからを語る」

ウ 指導者の養成・研修

【生涯学習推進センター利用状況】

利用区分	事業数・団体数(前年比)	利用人数(前年比)
主催事業	50 (3)	3,056 (475)
随時研修	2 (△3)	90 (△63)
講師派遣	49 (11)	2,838 (794)
施設利用	47 (18)	3,427 (654)
その他	4 (1)	493 (△2)
計	152 (30)	9,904 (1,858)

【各種研修事業実施状況】

[単位：人]

区 分	研修・講座名	期 日	受講者数
職員研修	新任社会教育関係職員研修講座	平成27年5月14日～15日	100
	社会教育指導員等研修講座	平成27年5月21日	84
	家庭教育支援担当者のためのプログラムデザイン研修会	平成27年5月27日～11月5日	22
	対人関係スキルアップ専門研修講座	平成27年7月28日	66
	事業プログラム開発専門研修講座	平成27年8月20日	17
	資質向上専門研修講座	平成27年9月17日	22
	家庭教育子育て電話相談員研修会 第2回	平成28年2月25日	59
	連携協働セミナー	平成27年10月9日	23
	広報スキルアップ研修講座	平成27年9月17日	58
	事業評価研修会	平成27年9月17日	28
	岩手県地域視聴覚教育協議会専任職員等研修会	平成27年6月18日～19日	9
有志指導者研修	学校支援ボランティア推進研修会	平成27年6月5日	64
	読書ボランティア研修会(センター会場)	平成27年7月3日	253
	読書ボランティア研修会(久慈会場)	平成27年8月27日	98
	放課後子どもプラン指導者合同研修会(2回)	平成27年7月1日・9月11日	365
	子育て支援ネットワーク研修会	平成27年7月16日	37
	子育てサポーター活動促進セミナー(センター会場:2回)	平成27年6月11日・9月24日	80
	子育てサポーター活動促進セミナー(県内4会場)	平成27年7月8日～11月20日	55
	放課後児童支援員認定資格研修(県内4会場)	平成27年7月14日～12月2日	301
要請研修	復興支援セミナー(県内6カ所)		197
	希望移動研修(5回)		117
	随時研修(2回)		90
	出前研修(講師派遣)(49回)		2,838
岩手県生涯学習推進研究発表会(2日)		平成28年2月3日～4日	280
計			5,263

6 社会教育施設の整備充実（2 県立図書館）

(1) 運営の方針

ア 図書館機能充実と広報活動の充実

(ア) 県と指定管理者が役割と責任を明確にした上で、連携協力を行い図書館としての一体性を保持しながら、利用しやすい施設を目指す。

図書館のサービス提供部門の運営を担う指定管理者は、図書館の運営方針等に基づき適切に業務を管理運営するとともに、県は指定管理者の管理運営が適切に行われているかを評価し、図書館機能が充実するように努める。

(イ) 図書館の運営上の課題を協議するため、図書館協議会を開催する。

(ウ) 利用者の便宜を図り利用促進につなげるため、印刷物の発行やホームページ等を活用し広報等情報の発信に努めるほか、アンケート等により利用者の意見を聞くよう努める。

(エ) 図書館機能の充実のため、図書館職員の資質の向上に向けた取組を進める。

イ 図書館資料の収集、整理、保存及び活用

(ア) 県民の需要を広域的かつ総合的に把握し、図書館資料として相応しい資料や情報を収集、整理し、保存するとともに活用を図り、県民の利用に供していく。

(イ) 県民の利用を促進するために障がい者への郵送貸出などのサービスを提供するとともに、所蔵資料に係る目録等の整備を進める。

(ウ) 郷土資料の収集、整理等を重点的に実施し、ホームページにより情報提供を図るとともに、資料の保存に当たってのデジタル化を進める。

また、郷土資料講座を実施して活用に取組む。

(エ) 東日本震災津波関係の記録の収集については、喫緊の課題として、関係機関と連携を図りながら重点事項として取り組む。その結果は、震災関係資料コーナーやホームページ等で情報発信する。

(オ) 古文書等の貴重資料について適切な整理を行い、その保存活用を図るとともに、デジタルライブラリーいわてにより公開し、いわての文化の情報発信に努める。

ウ 相談機能の維持充実

(ア) 県民の図書館を利用した学術研究活動等に寄り添った図書館資料を活用したレファレンスサービスを提供する。

(イ) 地域課題の解決支援に向けた情報提供として、県民のニーズを踏まえつつ、必要な情報を提供するなどの取組を進める。

(ウ) レファレンス事例データベースの情報を提供するなど郷土資料に関する各種データベースを充実し、情報を提供する。

エ 学習機会の提供と読書活動の奨励

(ア) 図書館資料を活用した企画展示等により学習への契機づくりを進める。

(イ) 関係団体との連携により読書週間を設け各種関連事業を実施するほか、県内の読書サークルなどへの図書館資料の貸出や読み聞かせ会の実施等により県民の読書活動が進むように取り組む。

オ 市町村支援及び連携

(ア) 市町村立図書館等のニーズを踏まえつつ、図書館運営に関する助言等を行うとともに、協力貸出や協力レファレンス等の支援に取り組む。

(イ) 図書館を取り巻く様々なテーマについての調査研究を、市町村立図書館等と共同で実施する。

(ウ) 県内の図書館間の相互協力を推進する。

(エ) 東日本大震災津波により被害を受けた県内の市町村立図書館等に必要な支援を行う。

(オ) 市町村職員のための研修講座を実施する。

カ 関係団体等との連携

- (ア) 図書館協会、読書推進運動協議会を通じて読書活動奨励等が全県的な活動となるよう県内図書館や関係団体等との連携を進める。
- (イ) 図書館以外の社会教育施設等との連携を強め、情報提供等のサービスの提供に努める。
- (ウ) いわて県民情報交流センター内施設等と連携しながら県立図書館利用者の満足度向上に努める。

(2) 実施状況

ア 県立図書館協議会開催状況

【期日】平成27年11月16日

- 【協議事項】・県立図書館利用状況等について
・県立図書館事業実施状況等について
・県立図書館施策推進計画について

イ 広報活動

各種機関誌を発行するとともに、報道機関等への情報提供やホームページの充実に努めた。

ウ 図書館資料の収集（出典：『要覧2016（平成28年度版）岩手県立図書館編集』等）

岩手県立図書館資料収集方針に基づき図書館資料を収集した。郷土資料については、網羅的な収集に努めた。特に、東日本大震災津波に関する資料収集は各方面に呼びかけ、積極的に取り組んだ。資料収集等の実績は次のとおり。

(ア) 図書資料

[単位：冊]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総冊数
一般用	5,936	7,751	312	630,279
団体用	1,327	61	467	125,983
計	7,263	7,812	779	756,262

※ 団体用図書の年度末総冊数には、購入・寄贈の他、「国民読書年図書（1,712冊）」
「セット貸出図書（90冊）」の冊数が加わっているものであること。

(イ) 視聴覚資料

[単位：点]

区分	購入	寄贈	除籍	年度末総点数
16ミリ映画フィルム	0	0	0	1,540
ビデオテープ	0	0	3	2,852
DVD	58	54	8	2,540
CD	42	12	2	4,157
レコード	0	0	0	1,492
録音テープ	0	0	0	1,448
レリーフ・巧芸画	0	0	0	97
計	100	66	13	14,126

(ウ) 新聞・雑誌

[単位：タイトル]

区分	年度末総タイトル数
新聞	352
雑誌	5,357
計	5,709

(エ) マイクロフィルム [単位：点]

区 分	購 入	寄 贈	遡及	除 籍	年度末総点数
マイクロフィルム	26	0	389	0	11,042

※遡及：未登録の資料を遡及登録したもの

(オ) 電子資料 [単位：点]

区 分	年度末総点数
CD-ROM等	603
オンラインデータベース	11
計	614

(カ) 震災関連資料 [単位：点]

区 分	年度末総点数
図書資料等	26,032
視聴覚資料	187
計	26,219

(キ) デジタル化資料 [単位：点]

資 料 名	27年度デジタル化点数
蝦夷地航路図ほか	3

エ 利用者サービス (出典：『要覧2016 (平成28年度版) 岩手県立図書館編集』)

(ア) 入館者数及び新規貸出登録者数

入館者数……………462,543人

新規貸出登録者数…5,529人

(イ) 個人への館外貸出数 [単位：冊又は点]

区 分	冊数又は点数
図書資料	274,509
視聴覚資料	10,780
うちビデオテープ	212
DVD	5,156
CD	5,412

(ウ) 図書館映画会及び読み聞かせ会

映画会は、一般向け43回、児童向け23回、計66回開催した。

また、児童向け読み聞かせ会を55回開催した。

(エ) 参考調査 (レファレンス・サービス)

調べものや読書相談等に前年度に比べ3,014件増の延べ23,736件の利用があった。

(オ) ビジネス支援サービス

【ビジネス支援コーナー講演等】

[単位：人]

講 演 タ イ ト ル	開 催 日	参加者数
としょかん金融講座「子育て世代のライフプラン」	平成27年5月9日	15
としょかん金融講座「親子で学ぶお金の使い方」	平成27年8月7日	24
としょかん金融講座「知っておきたい相続の基本」	平成27年11月11日	17
創業経営支援セミナー「世界一カンタンなビジネスプランの創り方」	平成28年1月31日	31

(カ) 二次資料の作成

利用者のレファレンスサービス利用の便宜を図るため、二次資料を整備して提供した。

- ・レファレンス事例データベース
- ・国立国会図書館レファレンス協同データベース
- ・郷土関係雑誌目次集
- ・岩手日報記事索引

オ 市町村への支援協力（出典：『要覧2016（平成28年度版）岩手県立図書館編集』等）

- (ア) 市町村立図書館等職員専門研修
 - ・国立国会図書館における複写サービスと著作権
 - ・児童サービスの実際について-県立図書館の事例から-
 - ・読み聞かせについて
- (イ) 市町村立図書館等への訪問 39回
- (ウ) 図書館等調査研究会の開催 委員17人 2回
- (エ) 協力貸出
 図書資料： 1,064件、2,214冊
 視聴覚資料：38件、102点
- (オ) 団体貸出
 図書資料： 26団体、37,337冊
 視聴覚資料：9団体、 23点

カ 展示事業（出典：『要覧2016（平成28年度版）岩手県立図書館編集』等）

(ア) 4階展示コーナー企画展示 [単位：点]

実施内容	開催期間	展示点数
働く女性の今むかし	平成27年4月24日～5月28日	168
岩手の洋学者たち	平成27年6月5日～7月20日	174
戦争の時代と岩手の人々	平成27年8月1日～9月23日	269
第32回 賢治資料展「切符を拝見！賢治と鉄道」	平成27年10月2日～11月23日	295
猫百変化 ～のら猫からばけ猫まで～	平成27年12月4日～平成28年1月24日	171
第36回 手づくり絵本展	平成28年1月30日～2月7日	119
5年目の3.11～震災関連資料コーナーの資料から～	平成28年2月19日～4月10日	207

(イ) 各カウンターミニ展示 [単位：回]

場 所	開催回数
総合、児童、新聞・雑誌、音と映像、企画、郷土、パスファインダー、コンシェルジュ	49

7 社会教育施設の整備充実（3 県立青少年の家）

(1) 県南青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域の特性を生かした研修内容の充実を図った。
- (イ) ボランティアの育成と活用による研修活動の充実を図った。
- (ウ) 関連施設・団体との連携による機能の活用を図った。

イ 研修活動

- (ア) 団体等の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
- (イ) 研修プログラム作成のための事前協議の奨励に努めた。
- (ウ) 職員研修の計画的な推進と利用団体に対する助言・指導の充実を図った。

ウ 利用の促進

- (ア) 関係教育機関、団体との連携による年間にわたる効果的な利用の促進に努めた。
- (イ) 施設開放と利用形態の多様化に対応した。
- (ウ) 親しみやすい施設運営と利用者層の拡大に努めた。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の計画的な補修整備を行った。
- (イ) 掲示資料等の収集と研修環境の整備を図った。
- (ウ) 施設・設備の点検と安全の確保に努めた。

(2) 陸中海岸青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 安全確保を念頭に活動内容の充実に努め、一部の事業において海の活動を取り入れたプログラムを展開することができた。
- (イ) 近隣市町村を中心に関係者及び関係機関との情報交換を密にし、協力体制の確保及び連携再構築への礎とすることができた。
- (ウ) ボランティアの育成とその活用に努めた。

イ 研修活動

- (ア) 利用団体との事前打ち合わせに丁寧に対応し、利用者（団体）のねらいが達成されるよう支援に努めた。
- (イ) 「ボランティア及び視察研修」の団体に、活動内容の充実の一助として、講師や活動場所等の情報提供に努めた。また、利用時の様々な規則等の理解に協力を求めた。
- (ウ) 施設の夜間利用を含む日帰り利用について、利用者のニーズに応じ、柔軟な対応に努めた。

ウ 利用の促進

- (ア) 管内校長会や主管課長会議等で、一部再開における現状説明の理解と協力の下、利用周知を図った。
- (イ) 近隣市町村への広報や季刊誌等により、利用促進に努めた。
- (ウ) キャラバン活動を積極的に受け入れ、利用の周知及び促進に努めた。
- (エ) 利用者の立場に立ち、利用者の満足度を高める接遇を心掛け、対応することができた。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の点検・整備に努めた。
- (イ) 活動エリアの環境保全と安全確保に努めた。
- (ウ) 情報収集及び提供に努めた。

(3) 県北青少年の家

ア 主催事業

- (ア) 自然環境や地域、施設の特性を生かし、研修内容の充実に努めた。
- (イ) ボランティアの育成とその活用に努めた。
- (ウ) 近隣の社会教育施設や地域団体等との連携強化を図った。

イ 研修活動

- (ア) 団体の研修目的や活動計画に対応した弾力的な運営に努めた。
- (イ) 利用者のニーズに応じて、新しい研修活動プログラム（レク、創作活動等）を導入した。
- (ウ) 職員研修を行い、利用団体に対する指導・助言の充実に努めた。

ウ 利用の促進

- (ア) 管内の校長会議や市町村社会教育担当者会議等の場で、提案型の利用案内を行った。
- (イ) 施設開放事業を行い、広く地域住民に親しまれるよう努めた。
- (ウ) 利用者の意向に沿った管理運営に努め、満足度の向上を図った。
- (エ) 積極的な臨時開所や出前講座の実施、月2回の地元FMラジオ番組への電話出演、ホームページ・ポスター・チラシ等で広報活動を展開した。

エ 環境の整備

- (ア) 施設・設備の安全点検、補修整備を計画的に行った。
- (イ) 研修環境の整備・改善及び情報提供を図った。
- (ウ) 自然環境に優しい施設及び環境美化に努めた。

【県立県南青少年の家 平成27年度主催事業及び自主事業】

- (1) 集団宿泊指導研修会 ①②
【期日 | 参加者数】 ① 5月7日 35人 ②5月8日 42人
- (2) アドバイザー・スタッフ養成講座
【期日 | 参加者数】 5月16日～17日 31人
- (3) 自然ワンダーランド ①②③④
【期日 | 参加者数】
①春 緑の風を楽しもう 5月 2日 35人 ②夏 海を楽しもう 8月 2日～ 4日 36人
③秋 色づく山の中で 10月10日 30人 ④冬 真っ白な雪の中で 1月23日～24日 32人
- (4) みんな de スクラム
【期日 | 参加者数】 6月6日 11人
- (5) かるがも親子体験教室 ①②
【期日 | 参加者数】
①親子deアウトドアクッキング 7月4日 71人 ②キャンプdeチャレンジ 8月29日～30日 36人
- (6) 水と緑のフレンドシップ
【期日 | 参加者数】 7月26日～30日 30人
- (7) 親子de手作りクリスマス！
【期日 | 参加者数】 11月28日、12月12日 139人
- (8) 県南は～とふるDay
【対象|期日|参加者数】 9月18日 10人
- (9) 冬のわくわく創作ランド
【期日 | 参加者数】 1月8日 10人
- (10) 冬のおもしろ体験ランド～雪はともだち～
【期日】 1月30日～31日 24人
- (11) [自主事業]「栗駒山トレッキング」
【期日|参加者数】 9月24日 26人
- (12) [自主事業]「夏山・秋山トレッキング」①②
【期日|参加者数】 ①7月22日 23人 ②10月22日 24人
- (13) [自主事業]「みどりのキャンパス ふれあいフェスティバル」
【期日 | 参加者数】 9月26日～27日 1,769人
- (14) [自主事業]「県南青少年の家所長杯 サッカーフェスティバル」
【期日 | 参加者数】 10月3日～4日 1,040人
- (15) [自主事業]「親子deチャレンジ！」
【期日|参加者数】 11月14日 16人
- (16) [自主事業]「レッツ！スケート みどりの郷」①②
【期日 | 参加者数】 ①1月23日 24人 ②1月30日 32人

【県立陸中海岸青少年の家 平成27年度主催事業及び自主事業】

- (1) 自然体験活動セミナー
【期日|参加者数】 5月1日 40人
- (2) ワンダフルネイチャー ～鯨山登山～
【期日|参加者数】 5月10日 34人
- (3) 家族ふれあい塾 ～家族で楽しもう！アウトドア料理と山田八景トレッキング～
【期日|参加者数】 5月17日～18日 28人
- (4) マリンランド杯グラウンド・ゴルフ交流大会 ①②③
【期日|参加者数】
① 5月21日 134人 ② 8月20日 81人 ③ 10月8日 85人

- (5) アドバイザースタッフセミナー
【期日|参加者数】7月5日～6日 12人
- (6) マリンランド自然体験塾 ①②
【期日|参加者数】
①海の子野外教室 8月6日～8日 30人 ②雪ん子野外教室 1月7日～9日 29人
- (7) 海釣り道場
【期日|参加者数】5月9日～10日 17人
- (8) ハートフルキャラバン7月～9月
【期日|参加者数】 通年 参加者なし
- (9) マリンランドやまびこキャラバン
【期日|参加者数】 通年 4,400人
- (10) [自主事業]「シーカヤック体験」
【期日|参加者数】 6月7日 12人
- (11) [自主事業]「マリンランドフェスタ 感謝まつり」
【期日|参加者数】 9月27日 22人
- (12) [自主事業]「鮭ヶ崎灯台トレッキング」
【期日|参加者数】 10月24日 33人
- (13) [自主事業] 親子deチャレンジ!
【期日|参加者数】 11月14日～15日 22人
- (14) [自主事業] 創作ひろば①②
【期日|参加者数】①12月12日 59人 ②2月6日 44人
- (15) [自主事業] マリンランド 1Dayスキー教室
【期日|参加者数】2月23日 5人
- (16) [自主事業] 第13回マリンランドフットサル交流会
【期日|参加者数】11月21日～22日 508人
- (17) [自主事業] 第37回陸中海岸剣道スポーツ少年団交歓交流会
【期日|参加者数】2月20日～21日 312人
- (18) [自主事業] 第9回マリンランド陸中ミニバスケットボール交流会
【期日|参加者数】3月5日～6日 440人

【県立県北青少年の家 平成27年度主催事業及び自主事業】

- (1) 野外活動セミナー ①②
【期日|参加者数】①5月8日 20人 ②5月30日 30人
- (2) ジュニアフォレスターズ大作戦 ①②③
【期日|参加者数】①6月6日～7日 45人 ②10月3日～4日 44人 ③1月30日～31日 57人
- (3) わんぱく広場
【期日|参加者数】6月21日 69人
- (4) プラネタリウム鑑賞デー ①②③
【期日|参加者数】①7月5日 88人 ②10月10日 29人 ③12月20日 82人
- (5) サマーニコニコキャンプ ①②
【期日|参加者数】①7月11日～12日 44人 ②7月18日～19日 44人
- (6) サマーわくわくキャンプ
【期日|参加者数】7月28日～30日 34人
- (7) サマーチャレンジキャンプ
【期日|参加者数】8月4日～7日 28人
- (8) スケート場感謝デー
【期日|参加者数】11月3日 1,008人

- (9) スケート実技セミナー
【期日 | 参加者数】 1月10日～11日 16人
- (10) 誰でもスケート教室 ①②
【期日 | 参加者数】 ①11月21日 ②2月7日 168人 (2回計)
- (11) ウィンタースクール
【期日 | 参加者数】 2月7日 44人
- (12) だれでもカーリング教室
【期日 | 参加者数】 2月14日 15人
- (13) [自主事業] ステラパル春まつり
【期日 | 参加者数】 5月17日 384人
- (14) [自主事業] いきいきグラウンド・ゴルフ大会 ①②
【期日 | 参加者数】 ①5月21日～26日 129人 ②9月17日 126人
- (15) [自主事業] ステラパル夏まつり
【期日 | 参加者数】 8月23日 1,963人
- (16) [自主事業] 親子でデイキャンプ
【期日 | 参加者数】 9月27日 60人
- (17) [自主事業] 親子deチャレンジ
【期日 | 参加者数】 11月14日～15日 50人
- (18) [自主事業] スケートキッズ感謝デー
【期日 | 参加者数】 3月21日 325人

8 社会教育施設の整備充実（4 県立博物館）

県立博物館は、本県における教育、学術及び文化の発展と、新しい郷土を築く県民意欲の高揚に寄与することを基本姿勢として運営に努めている。平成26年度は、テーマ展の開催、各種講演会、セミナーの開催など、館の内外にわたる積極的な活動を展開した。

(1) 博物館協議会開催状況

ア 平成27年度岩手県立博物館協議会

- ① 期日 平成27年11月13日
- ② 会場 岩手県立博物館会議室
- ③ 協議事項
 - a 平成26年度博物館協議会の意見等への対応状況について
 - b 平成27年度博物館事業実施状況について
 - c 平成28年度博物館事業計画(案)について
 - d 運営全般について

(2) 平成27年度利用状況

総利用者数：54,880人

- 入館者数……………40,258人
- 教育普及事業参加者数……………14,012人
- 移動展入館者数……………610人

【平成27年度入館者数】

[単位：人、日]

区分 月	個人利用				団体利用				免除利用				総利用人員				開館 日数	1日平均 利用人数
	一般	高大 学生	小中 学生	計	一般	高大 学生	小中 学生	計	一般	高大 学生	小中 学生	計	一般	高大 学生	小中 学生	計		
4	948	39	473	1,460	80	85	0	165	517	4	185	706	1,545	128	658	2,331	27	86
5	1,331	94	814	2,239	92	21	0	113	889	125	612	1,626	2,312	240	1,426	3,978	27	147
6	752	52	485	1,289	69	24	13	106	526	143	567	1,236	1,347	219	1,065	2,631	25	41
7	1,188	64	650	1,902	140	0	25	165	379	139	359	877	1,707	203	1,034	2,944	27	109
8	2,062	86	1,429	3,577	47	0	0	47	444	101	320	865	2553	187	1,749	4,489	28	160
9	908	51	428	1,387	52	0	39	91	349	29	883	1,261	1,309	80	1,350	2,739	17	161
10	1,468	57	963	2,488	114	0	86	200	991	43	1,511	2,545	2,573	100	2,560	5,233	27	98
11	1,015	39	585	1,639	66	0	0	66	808	101	367	1,276	1,889	140	952	2,981	25	119
12	591	43	384	1,018	0	0	0	0	597	1	547	1,145	1,188	44	931	2,163	24	90
1	1,360	39	679	2,078	3	0	0	3	634	5	320	959	1,997	44	999	3,040	24	127
2	2,441	92	643	3,176	161	0	0	161	1,384	58	289	1,731	3,986	150	932	5,068	24	211
3	1,149	60	657	1,866	56	0	65	121	437	10	227	674	1,642	70	94	2,661	27	99
計	15,213	716	8,190	24,119	880	130	228	1,238	7,955	759	6,187	14,901	24,048	1,605	14,605	40,258	302	133

(3) 博物館活動

ア 資料の収集保管活動

[単位:点]

(ア) 資料の収集整理

平成27年度は、右の8,447点の資料
 についての受け入れ、登録事務を行った。

【収集資料数】	地質	生物	考古	歴史	民俗	計
平成26年度末 累計	8,923	142,242	57,975	40,491	19,364	268,995
平成27年度登録点数	12	7,950	185	116	185	8,448
計	8,935	150,192	58,160	40,607	19,549	277,443

(イ) 資料の貸出状況

他の博物館、美術館などに展示や研究等の目的で貸出した資料は、次のとおりである。

- a 地 質 ゴリラ全身骨格複製ほか 24点
- b 生 物 昆虫標本ほか 448点
- c 考 古 豊岡遺跡土偶ほか 29点
- d 歴 史 刀 新藤義国ほか 97点
- e 民 俗 淡路人形「三番叟」「千歳」ほか 24点
- f 共 通 県内被災文化施設写真パネル 20点

(ウ) 文化財科学

資料の保存と活用のため、適切な環境の維持、調整に努めた。
 また、資料の保存管理のために必要なくん蒸消毒と科学的保存処理を行った。

イ 調査研究活動

博物館における調査研究活動は、共通テーマのほか地質、生物、考古、歴史、民俗及び文化財科学の各分野ごとに行う研究テーマと全分野で取り組む総合調査とがある。

平成27年度は30テーマについて年次計画に従い研究を進めた。

分 野	調査研究テーマ
地 質	「地域地質に関する研究」 ほかに2テーマ
生 物	「地域生態系の研究」 ほかに5テーマ
考 古	「考古学史の研究」 ほかに4テーマ
歴 史	「近世史の研究」 ほかに4テーマ
民 俗	「有形民俗資料に関する研究」 ほかに3テーマ
文化財科学	「文化財の保存環境に関する研究」 ほかに6テーマ

ウ 展示活動

(ア) 常設展示の充実

「総合展示室」「いわて文化史展示室」「いわて自然史展示室」「ミニプラザ」等の展示替え

(イ) 特別展示等の開催

種 別	名 称	会 期
企画展	「商家の暮らし～花巻・佐藤家の衣食住～」	平成27年6月30日(火)～8月23日(日)
テーマ展	「クマゲラの世界～未知なる生態に迫る～」	平成27年3月14日(土)～5月31日(日)
テーマ展	「火山灰から社会をよむ—10世紀の巨大噴火を北東北—」	平成27年9月19日(土)～11月23日(月・祝)
特別展	「発掘された日本列島2015」	平成28年1月14日(木)～2月28日(日)
特別展	「海に生きた歴史—復興発掘調査が語る一万年の海との共生—」	平成28年1月14日(木)～3月6日(日)
トピック展	復興震災・国立科学博物館コラボミュージアム 「生物界の怪しい仲間たち—科博のコレクションから—」	平成27年9月29日(火)～11月8日(日)
特別展	「近代へのとびら—大島高任の挑戦—」	平成28年3月19日(土)～5月15日(日)
合同移動展	「文化・芸術が集うときin九戸村」	平成27年10月30日(金)～11月1日(日)

(ウ) 解説会

以下のとおり、計697回催し、4,121人の参加があった。

a 展示解説会（定時：13回開催、507人参加）

期 日	場 所	担当	テーマ
平成27年5月3日	特別展示室	生物	テーマ展「クマゲラの世界」
平成27年7月4日	特別展示室	民俗	企画展「商家の暮らし～花巻・佐藤家の衣食住～」
平成27年8月3日	特別展示室	民俗	
平成27年9月20日	特別展示室	考古	テーマ展「火山灰から社会をよむ—10世紀の巨大噴火を北東北—」
平成27年10月17日	特別展示室	考古	
平成27年11月1日	特別展示室	各部門	岩手県立博物館移動展
平成27年11月15日	特別展示室	考古	テーマ展「火山灰から社会をよむ—10世紀の巨大噴火を北東北—」
平成28年1月23日	特別展示室	考古	特別展「発掘された日本列島2015」
平成28年1月23日	特別展示室	考古	特別展「海に生きた歴史—復興発掘調査が語る一万年の海との共生—」
平成28年2月13日	特別展示室	考古	特別展「発掘された日本列島2015」
平成28年2月13日	特別展示室	考古	特別展「海に生きた歴史—復興発掘調査が語る一万年の海との共生—」
平成28年2月27日	特別展示室	考古	特別展「発掘された日本列島2015」
平成28年2月27日	特別展示室	考古	特別展「海に生きた歴史—復興発掘調査が語る一万年の海との共生—」

b 展示解説会（随時：8回開催、450人参加）

※展覧会会期中、来館者の希望により担当学芸員が随時展示解説又は講演を行った。

c 常設展示・展示解説会（674回開催、延べ3,129人参加）

区 分	回 数	参加者数	場 所	担 当	内 容
定時解説	98回（原則として毎日）	延べ233人	総合展示室 ほか	学芸第三課 （解説員）	総合展示室の展示資料に ついての展示解説会
通覧解説	576回（随時）	延べ2,886人			

d 移動展展示解説会（2回開催、延べ35人参加）

期 日	場 所	担当	テーマ
平成27年11月1日	九戸村公民館	各部門	「文化・芸術が集うとき in 九戸」

エ 教育普及活動

【講演会、観察会等の開催事業一覧】

No.	開催事業名	開催回数	参加者数
1	県博日曜講座	24回	1,255人
2	文化講演会	1回	84人
3	冬期文化講演会	1回	74人
4	北上川水源地セミナー	1回	40人
5	コラボミュージアム講習会	2回	20人
6	クマガラ生態写真展講演会	1回	17人
7	iPS細胞と再生医療市民講座	1回	88人
8	バックヤードツアー	1回	30人
9	古文書入門講座	6回	88人
10	伝統芸能鑑賞会	1回	80人
11	民俗講座	1回	55人
12	笛の会	1回	93人
13	考古学セミナー	2回	75人
14	自然鑑賞会	2回	41人
15	地質観察会	2回	67人
16	博物館館園実習	7回	49人
17	文化財等取扱講習会	3回	113人
18	第7回岩手県立博物館まつり	1回	1,545人
19	たいけん教室～みんなのためそう～	52回	1,946人
20	チャレンジ博物館	57回	1,716人
21	冬休みワクワク！ワークショップ	1回	212人
22	冬の写生会	2回	28人
23	ミュージアムシアター	11回	587人
24	岩手県植物誌調査会	24回	286人
25	県博出前講座	7回	291人
計		—	8,880人

1 県博日曜講座 (24回開催、延べ1,255人参加)

期 日	場 所	テ ー マ
4月12日	教室	岩手のカワシンジュガイの今とこれから
4月26日	講堂	クマゲラ研究小史
5月10日	講堂	八戸藩士に選ばれた最初の27人
5月24日	講堂	ミトコンドリアDNAを指標としたクマゲラの遺伝子多様性の解析
6月14日	講堂	南部家の歴史と由緒を重んじた藩主・南部利視
6月28日	教室	生命史をひも解くーカンブリア紀ー
7月12日	教室	花巻・佐藤家の衣食住
7月26日	講堂	エクスカーション「花巻」～3コースから花巻を探る～
8月9日	教室	幽霊のはなし
8月23日	講堂	花巻城下のくらしと文化
9月13日	講堂	瓦からみた岩手の古代史～胆沢城から平泉～
9月27日	教室	岩手に「弥生文化」はなかった？
10月11日	講堂	遺跡からみた火山活動と人々の応答
10月25日	講堂	火山灰から社会をよむ
11月8日	教室	享保の産物調査と盛岡藩
11月22日	教室	砂金の母岩をさぐる
12月13日	講堂	日本の水草を調べる・分類する・守る
		岩手県の植物相～分かったこと、分からないこと～
12月27日	教室	国体今昔物語ー明治神宮陸上競技大会から国民体育大会へー
1月10日	教室	たたら吹き製鉄から洋式高炉への道程ー橋野高炉の歴史的位置を考えるー
1月24日	講堂	海に生きた歴史①ー縄文・弥生ー
2月14日	講堂	海に生きた歴史②ー古代～近代ー
2月28日	講堂	東日本大震災と埋蔵文化財ー「発掘された日本列島2015」展を中心にー
3月13日	講堂	ジオパークで再発見！三陸の魅力
3月27日	講堂	日本史の中の釜石・釜山

2 文化講演会 (1回開催、延べ84人)

【期日】11月3日
【テーマ】災害考古学のゆくえ

3 冬期文化講演会 (1回開催、延べ74人)

【期日】2月5日
【テーマ】新生代化石記録が語る過去2000万年間の岩手県の実環境変動

4 北上川水源地域セミナー (1回開催、40人受講)

【期日】1月16日
【テーマ】カワシンジュガイの県内生息状況とその生態について

5 コラボミュージアム講習会 (10人参加)

【期日】10月10日、10月31日
【テーマ】シダ植物同定会
海藻の怪しい生き方ーミルヤワカメにみつ生活史の多様性ー

6 クマゲラ生態写真展講演会 (17人参加)

【期日】8月15日
【テーマ】白神山とクマゲラ

7 iPS細胞と再生医療市民講座 (88人参加)

【期日】2月13日
【テーマ】iPS細胞と再生医療「知ることから始めよう～安全な再生医療実現のために～」

8 バックヤードツアー (30人参加)

【期日】5月17日

9 古文書入門講座 (全6回、延べ67人参加)

【期日】5月土日
【演題】現在も見られる変体仮名 等

10 伝統芸能鑑賞会 (80人参加)

【期日】6月21日
【テーマ】倉沢人形歌舞伎

11 民俗講座 (55人参加)

【期日】8月23日
【テーマ】花巻城下のくらしと文化

12 笛の会 (93人参加)

【期日】4月29日
【テーマ】笛の会～名笛「田鶴子」に寄せて～
展示解説

13 考古学セミナー (全2回、75人参加)

【期日】9月26日、10月17日
【テーマ】現地見学会、講演

14 自然観察会 (全2回、41人参加)

【期日】6月28日、9月27日
【場所】外山森林公園、秋田県森吉山

15 地質観察会 (全2回、67人参加)

【期日】7月5日、10月11日
【テーマ】「網取の地質観察とイワシ化石採集」
「大船渡付近のカンブリア紀～白亜紀にわたる火成岩類」

16 博物館館園実習 (全7日、49人参加)

【期日】8月20日～27日

17 文化財等取扱講習会 (全3日、113人参加)

【期日】2月3日～5日
【対象】県内各市町村の文化財担当職員及び博物館等職員

18 第7回岩手県立博物館まつり (1,545人参加)

【期日】10月4日

19 たいけん教室みんなだためそう！ (52回開催、延べ1,946人参加)

【期日】毎週日曜日
【内容】博物館に親しむためのプログラム

20 冬休みワクワク！ワークショップ (1回開催、延べ212人参加)

【期日】12月23日
【内容】幼児～小学生向けワークショップ

21 冬の写生会 (2回開催、延べ28人参加)

【期日】12月19日～1月17日、1月23日～2月14日
【内容】博物館から見える景色やマメンキサウルス等の展示資料を描いた作品を募集

22 ミュージアムシアター (全11回、延べ587人参加)

【期日】毎月第1土曜日
【内容】博物館資料や展示・季節等に関連する16ミリ映画上映

23 岩手県植物誌調査会（全24回開催、延べ286人参加）

【期日】4月～3月

【内容】標本同定会

24 県博出前講座（7回開催、延べ291人）

期 日	テーマ	依頼者
5月12日	6学年社会科「大陸に学んだ国づくり」	北上市立南小学校
7月22日	水生生物調査方法の指導	岩手県立久慈高等学校自然科学部
8月2日	「岩手の帰化植物」	滝沢市環境課所管たきざわ環境パートナー会議
8月5日	水生生物調査方法の指導	岩手県立久慈高等学校自然科学部
8月31日	水生生物調査	盛岡市立太田小学校
11月11日	5学年かつら組学級総合「救え！絶滅危惧種」	岩手大学付属小学校
1月22日	盛岡町歩き	岩手県立盛岡第二高等学校

[参考] 県内社会教育施設の設置・利用状況（県立を除く）

（※各項目の利用実績は、平成26年度実績）

1 図書館（平成27年4月1日現在）（出典：『平成27年度図書館・公民館図書室等実態調査 岩手県立図書館編集』）

	合 計	図書館	公民館等
施設数	53	46	7
職員数	474	446	28
(うち専任)	98	3	3
蔵書総冊数	4,679,124	4,469,882	209,242
年間受入冊数	198,381	189,719	8,662
貸出冊数	5,115,769	5,008,237	107,532

2 公民館（平成27年10月1日現在）

	合 計	本館 計	本館		分館
			中央館	地区館	
施設数	227	148	21	127	79
職員数	563	492	131	361	71
(うち本務)	110	110	45	65	0
(〃 兼務)	131	111	34	77	20
(〃 非常勤)	322	271	52	219	51
利用団体数	46,844	43,599	11,940	31,659	3,245
利用者数	2,149,059	2,057,532	576,919	1,480,613	91,527
(うち団体)	1,834,949	1,747,586	529,744	1,217,842	87,363
(〃 個人)	314,110	309,946	47,175	262,771	4,164

3 博物館等（平成27年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	104	63	41
職員数	434	285	149
(うち本務)	160	87	73
(〃 兼務)	81	63	18
(〃 非常勤)	193	135	58
※学芸員数（内数）	(57)	(45)	(12)
来館者数	1,944,135	688,335	1,255,800

4 青少年教育施設（平成27年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	10	5	5
職員数	42	18	24
（うち本務）	12	6	6
（〃 兼務）	14	7	7
（〃 非常勤）	16	5	11
利用団体数	3,113	296	2,817
利用者数	89,915	26,681	63,234
（うち団体）	67,314	17,706	49,608
（〃 個人）	22,601	8,975	13,626

5 文化施設（平成27年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	31	15	16
職員数	214	83	131
（うち本務）	138	54	84
（〃 兼務）	25	17	8
（〃 非常勤）	51	12	39
利用団体数	27,128	12,402	14,726
利用者数	1,990,127	623,583	1,366,544
（うち団体）	1,465,448	592,682	872,766
（〃 個人）	524,679	30,901	493,778

※宮古市民会館除く

6 その他の社会教育施設（平成27年10月1日現在）

	合 計	教育委員会所管	その他所管
施設数	212	66	146
職員数	540	82	458
（うち本務）	180	18	162
（〃 兼務）	51	36	15
（〃 非常勤）	309	28	281
利用団体数	111,028	14,355	96,673
利用者数	2,496,647	372,258	2,124,389
（うち団体）	2,404,010	318,736	2,085,274
（〃 個人）	92,637	53,522	39,115

第9節 地域の「創造力」向上を目指した文化芸術の振興

第1 文化振興基金を活用した支援等

1 創作・発表・鑑賞機会の拡充

文化振興基金を活用した支援等により、各地域において優れた芸術芸能に触れ、鑑賞する機会の拡大を図ったほか、若い世代の活動や発表を行う機会の拡大を推進するとともに、各種の舞台芸術事業を開催した。

さらに、創作活動を奨励するため、県人作家の文芸作品、美術活動等の奨励を行い、芸術活動の振興と水準の向上を図った。

(1) 公益財団法人岩手県文化振興事業団文化振興基金助成事業

ア 既存事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
文化活動成果発表事業	2	700	スプリングハーモニーほか
文化活動研修事業	5	1,270	芸術文化講座ほか
文化団体備品整備事業	13	3,870	仙北小鷹さんさ踊り保存会ほか
参加する文化活動推進事業	1	230	姫神ホール20歳の玉山物語ほか
特認事業	1	380	岩手県芸術文化活動記録集刊行
計	22	6,450	

イ 特別事業

[単位：件、千円]

事業区分	件数	助成額	事業内容
新進・若手芸術家等派遣事業	1	2,000	(一社)岩手県芸術文化協会
備品整備事業	7	4,418	小河原虎舞(大船渡市小河原町内会)ほか
計	8	6,418	

(2) 第67回岩手芸術祭

ア 開幕式典・開幕フェスティバル

【期日】平成27年10月3日(土) 【会場】岩手県民会館大ホール 【鑑賞者数】800人

イ 美術展

[単位：点、人]

種目	期間	会場	応募点数	鑑賞者数
工芸	平成27年10月9日～12日	岩手県民会館	49	4,027
書道			184	
日本画	平成27年10月15日～18日		32	
版画			36	
水墨画			123	
写真	平成27年10月22日～25日		136	
デザイン			55	
現代美術			25	
洋画	平成27年10月3日～6日		185	
彫刻			15	

ウ 巡回美術展

[単位：点、人]

期 間	会 場	展示点数	鑑賞者数
平成27年11月14日～12月13日	6市町村6会場	82	1,728

エ 小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術） [単位：点、人]

期 間	会 場	応募点数	鑑賞者数
平成27年12月11日～13日	岩手県民会館展示室	6,859	2,206

オ 巡回小・中学校美術展（小学校書写、中学校書写、小学校絵画、中学校美術） [単位：点、人]

期 間	会 場	展示点数	鑑賞者数
平成27年12月23日～平成28年2月21日	4市町村4会場	310	210

カ 映像フェスティバル

【期日】平成27年10月25日 【会場】もりおか町屋物語館 【鑑賞者数】40人

キ 演劇

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
新舞踊発表会	平成28年2月21日	さくらホール（北上市）	1,200
岩手民謡まつり	平成27年11月8日	岩手県民会館 大ホール	708

ク 伝統芸能

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
茶会	平成27年10月4日	盛岡市中央公民館	767
吟詠剣詩舞道祭	平成27年10月4日	岩手県民会館大ホール	916
謡と仕舞の会	平成27年11月23日	岩手県民会館中ホール	320
華道展	平成27年11月6日～9日	岩手県民会館展示室	1,800
邦楽のつどい	平成27年11月8日	岩手県民会館中ホール	576

ケ 音楽

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
ソロと室内楽の調べ	平成27年10月4日	岩手県民会館中ホール	235
ピアノ演奏会	平成27年10月17日	岩手県民会館中ホール	250
三曲演奏会	平成27年10月18日	岩手県民会館大ホール	450
声楽部門演奏会	平成27年11月7日	岩手県民会館中ホール	298
ギター音楽の夕べ	平成27年11月21日	岩手県民会館中ホール	195
吹奏楽演奏会	平成27年11月22日	盛岡市民文化ホール大ホール	856
合唱祭	平成27年12月13日	岩手県民会館大ホール	850

コ 舞踊

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
洋舞発表会	平成27年10月11日	岩手県民会館大ホール	1,185
日本舞踊公演	平成27年11月15日	岩手県民会館大ホール	1,800

サ 演芸

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
新舞踊発表会	平成28年2月21日	さくらホール（北上市）	1,200
岩手民謡まつり	平成27年11月8日	岩手県民会館大ホール	708

シ 文芸祭

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
小説大会	平成27年11月1日	岩手県民会館会議室（盛岡市）	10
戯曲大会	平成28年1月16日	盛岡劇場タワホール（盛岡市）	15
文芸評論大会	平成27年10月11日	岩手大学農学部一号会議室 （盛岡市）	19
随筆大会	平成27年10月31日	日本現代詩歌文学館（北上市）	23
児童文学大会	平成27年11月8日	プラザおでって（盛岡市）	28
詩の大会	平成27年10月18日	なはんプラザ（花巻市）	12
短歌大会	平成27年10月10日	盛岡市勤労福祉会館（盛岡市）	101
俳句大会	平成27年10月17日	岩手県公会堂（盛岡市）	79
川柳大会	平成27年10月26日	アイーナ501号室（盛岡市）	66

ス 県民文芸作品集第46集刊行

【発行日】平成27年12月12日 【掲載点数】169点 【応募点数】496点

セ 移動公演

[単位：人]

内 容	期 日	会 場	鑑賞者数
新舞踊	平成27年11月29日	サンホテル衣川荘（奥州市）	118
合 唱	平成27年12月5日	一戸町コミュニティセンター	225

(3) 創作活動奨励事業

ア 芸術選奨

受 賞 者	分 野	作 品 名
岩手県民謡協会	評論等	新 岩手の民謡
金子 千保（盛岡市）	随筆集	「もう一つの北国」バーモントの人と土
外崎 菊敏（函館市）	文芸評論	胡堂伝～百年分の借金をはねのけた男
馬場 吉彦（盛岡市）	句集	弦楽四重奏曲鎮魂作品1

イ 美術選奨

受賞者	分野	受賞対象活動
大森 隆義（東京都）	平面	ギャラリーアイーナ （第20回不来方会美術会 8月）
辛 遊理（山形市）	絵画	シグ・アートギャラリー（シグセレクト展 8月）
川村 康德（滝沢市）	インスタレーション	ギャラリー彩園子（個展 11月）
工藤 奈月（矢巾町）	絵画	アートスペースムーニ（個展 6月）
町田 俊一（盛岡市）	漆芸	ギャラリーカワトク （第54回東日本伝統工芸展 5月）

2 拠点施設の機能の充実

文化活動の拠点施設として、県民会館、県立博物館、県立美術館及び県立埋蔵文化センターの管理運営の充実と施設設備の機能の向上を図った。県民会館においては自主文化事業の充実、県立博物館においては展示内容等の充実（⇒P120～124）、県立美術館において地元作家の作品収集と企画展の充実（⇒P133～136）、及び県立埋蔵文化財センターにおいては発掘調査等を推進した。

(1) 県民会館

ア 施設利用状況

芸術文化普及振興の拠点施設として、県民の活動発表や鑑賞等の芸術文化関係の催し物のほか、学会、大会等に利用されるとともに、演奏会、展示会、講演会等に数多く利用されている。

【県民会館の利用状況】

[単位：日、%]

	大ホール		中ホール		第1展示室		第2展示室		会議室（5室）	
	利用件数	利用率	利用件数	利用率	利用件数	利用率	利用件数	利用率	利用件数	利用率
4月	18	55.2	16	55.2	10	34.5	11	37.9	18	61.4
5月	11	35.7	17	57.1	21	72.4	21	72.4	17	51.2
6月	22	70.4	20	66.7	24	85.2	18	66.7	24	64
7月	35	90.0	26	83.3	25	83.3	24	80.0	24	78
8月	29	86.7	26	86.7	3	10	22	73.3	21	67.3
9月	25	80.8	24	80.8	4	13.8	27	93.1	20	75.7
10月	27	86.2	26	79.3	24	82.8	24	82.8	25	77.2
11月	27	89.7	26	75.9	27	93.1	27	93.1	27	82.8
12月	20	95.0	26	95.8	14	58.3	16	66.7	20	77.2
1月	19	72.7	4	100	0	0	8	29.6	22	74.8
2月	10	34.6	15	68.2	16	57.1	16	57.1	23	73.6
3月	20	62.1	17	75.0	16	55.2	15	51.7	22	68.3
計	263	71.6	243	77	184	53.8	229	67	263	71

※会議室については5室の平均値である。

イ 自主文化事業の実施状況

(ア) 参加型・育成型事業

[単位：人]

期日(回数)	公 演 名	会 場	入場者数
5月22日	第193回 館野泉ピアノ・リサイタル	中ホール	479
7月14日	松竹大歌舞伎	大ホール	2,896
8月7日	岩手県文化振興事業団創立30周年記念事業 「未来に向かって」～踏出す一歩を支える文化	大ホール	1,047
8月28日	第194回 森麻季ソプラノ・リサイタル	中ホール	550
9月12日	いわてJAZZ2015 前夜祭 中ホール	リハーサル室	167
9月13日	いわてJAZZ2015 大ホール	大ホール	1,415
10月6日	読売日本交響楽団	大ホール	1,333
10月30日	佐渡裕指揮 シエナ・ウィンド・オーケストラ	大ホール	1,901
11月9日	第195回 ライナー・キュッヒル パイオリンリサイタル	中ホール	450
11月21日	宝生流 能	盛岡市民文化ホール 大ホール	746
11月26日	岩手教育の火	大ホール	1,600
12月5日	岩手の大地に舞う	大ホール	1,000
12月10日	舞台「ブロッケン妖怪」	大ホール	1,802
12月12日	舞台「かたき同志」	大ホール	3,226
1月9日	岩手の民謡をたずねて	大ホール	813
1月23日	第17回ショパン国際ピアノコンクール2015入賞者ガラ・コンサート	大ホール	1,296
1月30日	いわて吹奏楽祭1016	大ホール	1,780
2月11日	いわてフィルハーモニー・オーケストラ 第5回定期演奏会	大ホール	754
2月13日	いわてフィルハーモニー・オーケストラ 宮古公演	宮古市民文化会館	800
2月21日	ざ・CLASSIC 2016	中ホール	385
3月24日	宝塚歌劇団 月組公演	大ホール	3,428
8月8日他6回	復興関連事業 ポール・グラボウスキー・トリオ/田野畑中学校、野駄小学校、三崎中学校 小山実稚恵(pf)・早池峰神楽/一関文化センター(600人)、釜石市立双葉小学校(360人) 陸前高田コミュニティホール(300人)		1,770
5月～11月 (1回/月)	ロビーコンサート (計7回)	ロビー	580
6月8日他3回	バックステージツアー (計4回)	大・中ホール	58
8月12日～21日 12月14日～22日	あなたもピアニスト		30,376

(イ) コンサートサロン

[単位：人]

期 日	公 演 名	会 場	入場者数
5月22日	第193回 館野泉 ピアノ・リサイタル	中ホール	479
8月28日	第194回 森麻季 ソプラノ・リサイタル	中ホール	550
11月9日	第195回 ライナー・キュッヒル ヴァイオリンリサイタル	中ホール	450

(ウ) 鑑賞サービス事業

[単位：人]

期日(回数)	公 演 名	会 場	入場者数
7月14日	松竹大歌舞伎	大ホール	2,896
10月6日	読売日本交響楽団	大ホール	1,333
10月30日	佐渡裕指揮 シエナ・ウィンド・オーケストラ	大ホール	1,901
11月21日	宝生流 能	大ホール	746
11月26日	「いわて教育の日」のつどい	大ホール	1,600
12月10日	舞台「ブロッケン妖怪」	大ホール	1,802

(2) 県立美術館

ア 岩手県立美術館協議会の開催状況

区分	期 日	場 所	内 容
第1回	平成27年9月10日	県立美術館会議室	① 平成27年度美術館事業実施状況 ② 平成28年度美術館企画展開催計画案 ③ 美術館運営
第2回	平成28年2月18日	県立美術館会議室	① 平成27年度美術館事業実施状況 ② 平成28年度美術館企画展開催計画案 ③ 美術館運営

イ 利用状況

[単位：人、日]

区分	常設展					企画展					観覧者数の計
	観覧者数				開催日数	観覧者数				開催日数	
	小・中・高生	大学生等	一 般	小 計		小中学生	高・大生等	一 般	小 計		
4月	91	6	258	355	23	74	201	1,109	1,384	17	1,739
5月	315	38	544	897	27	67	133	2,150	2,350	15	3,247
6月	221	4	253	478	24	495	477	4,684	5,656	21	6,134
7月	271	38	652	961	27	783	391	4,386	5,560	12	6,521
8月	66	1	363	430	26	212	136	2,031	2,379	26	2,809
9月	313	6	396	715	26	125	118	2,363	2,606	21	3,321
10月	177	10	338	525	23	50	386	1,681	2,117	25	2,642
11月	85	3	359	447	25	460	422	4,250	5,132	25	5,579
12月	2	27	227	256	24	212	263	1,847	2,322	14	2,578
1月	2	8	155	165	21	406	602	3,347	4,355	25	4,520
2月	42	20	280	342	24	484	161	3,822	4,467	14	4,809
3月	11	7	112	130	27	69	115	2,528	2,712	24	2,842
計	1,596	168	3,937	5,701	297	3,437	3,405	34,198	41,040	239	46,741

ウ 展示事業

(ア) 常設展の開催

[単位：人]

区 分	会 期	観覧者数
第4期展示	平成27年4月1日～19日	275（4月1日以降）
第1期展示	平成27年4月24日～6月28日	1,455
第2期展示	平成27年7月3日～10月4日	2,177
第3期展示	平成27年10月10日～平成28年1月17日	1,238
第4期展示	平成27年1月23日～4月17日	556（3月31日まで）

(イ) 企画展の開催

[単位：人]

事業名	会 期	観覧者数
鬼才の画人 谷中安規展	平成27年4月11日～5月17日	3,543
ゴッティンとポン＝タヴァンの画家たち-展	平成27年6月6日～7月12日	11,309
フリオ・ゴンザレス展	平成27年8月1日～9月23日	5,059
松田松雄展	平成27年10月3日～11月29日	7,068
荒井良二 スキマの国の美術館展	平成27年12月12日～2月14日	10,601
アートフェスタいわて2015	平成28年2月27日～3月27日	3,399

エ アウトリーチ事業

あーとキャラバン

【期日】平成27年6月9日～10日（遠野）	【参加者数】154人
平成27年8月20日～22日（盛岡・宮古）	【参加者数】159人
平成27年10月23日～24日（陸前高田）	【参加者数】42人
平成28年1月22日～23日（大船渡）	【参加者数】40人

オ 教育普及事業

(ア) 展示関連事業

a 復興支援展示事業プログラム

○ギャラリートーク………学芸員による展示作品の解説

【期日】企画展の開催ごとに開催 【参加者数】898人

企画展関連講座等

[単位：人]

内 容	講 師 等	期 日	参加者数
講演会「重き現実と膨らむ夢」	滝沢恭司 氏	平成27年4月11日	45
講演会「谷中安規のつぶやきを聞く」	原田光 氏	平成27年5月2日	36
講演会「ゴッティンとポン＝タヴァンの画家たち—芸術家と場所の記憶をめぐって」	小泉順也 氏	平成27年6月13日	100
講演会「ブルターニュ アーティスト達に愛された場所」	渡辺敦子 氏 ジャンフィリップ・オードラン氏	平成27年7月5日	85
講演会「フリオ・ゴンザレスの生涯と作品」	野中明 氏	平成27年8月15日	38
講演会「スペイン文化とライフスタイル：20世紀フリオ・ゴンザレスの時代から現在まで」	テレサ・イニエスタ 氏	平成27年8月29日	35
ワークショップ「鋳物でおもしろイモノを作ろう」	菅原恵梨 氏	平成27年9月5日 ～6日	9
講演会「いわきのマグマ 松田松雄の人と芸術」	谷 新 氏	平成27年10月3日	63
アーティストトーク	荒井良二 氏	平成27年12月12日	152
上映会&トーク	荒井良二 氏 黄木優寿 氏	平成27年12月13日	102
作家によるワークショップ	荒井良二 氏	平成28年1月11日	29
作家によるサイン会	荒井良二 氏	平成28年1月11日	327
雪灯りイベント		平成28年2月14日	210

b 常設展教育プログラム

- コレクショントーク……学芸員による常設展示作品の解説
【期日】 毎月第2・第4土曜日に年間26回開催 【参加者数】 238人
- 常設展関連講座
【期日】 平成27年4月25日 【講師等】 松園シルバードックス 【参加者数】 88人
【期日】 平成27年5月16日 【講師等】 新村美佳 氏、望月善次 氏、宮澤明裕 氏
【参加者数】 56人
【期日】 平成27年10月25日 【講師等】 学芸員 【参加者数】 20人
- 子ども向け鑑賞カードの運用
- 音声ガイドの運用

(イ) 美術普及事業

a スタジオプログラム

- オープンスタジオ
【期日】 平成27年7月31日～8月2日 【参加者数】 394人
- アートデオヤコ……親子でいろいろな素材に触れて楽しむワークショップ。
【期日】 毎月実施 【対象】 3～6歳児と保護者 各10組 【参加者数】 655人

b 美術プログラム

[単位:人]

内 容	期日	参加者数
館長講座	平成27年5月23日、11月3日、3月19日	129
館長講座2015in宮古	平成27年7月19日、9月20日	54
学芸普及課長講座	平成27年8月9日、12月20日	95
学芸員講座	平成27年11月8日、平成28年1月31日	125
ミツ・サ・アーティスト	平成27年11月22日、平成28年1月9日	394

c 映像プログラム

- アートシネマ上映会……美術に関連する作品等幅広いラインナップで上映 [単位:人]

期 日	内 容	鑑賞者数
平成27年4月26日	カリガリ博士	58
平成27年5月10日	プラーグの大学生	184
平成27年5月17日	メトロポリス	78
平成27年6月14日	炎の人ゴッホ	97
平成27年7月12日	カミーユ・クロードル	68
平成27年8月23日	ゴヤ・スペイン激動の時代	44
平成27年9月13日	汚れなき悪戯	43
平成27年10月18日	少女は自転車にのって	51
平成27年12月13日	まわりみち、あしのねいろ	102
平成28年1月17日	100,000年後の安全	61
平成28年3月13日	世界の名画 描かれたフランス革命	40

(ウ) 来館者対応事業

- a 美術館探検「てくてくツアー」 【期日】年6回 【参加者数】 125人
- b 団体対応 【期日】随時 【利用者数】 2,331人
- c 美術相談 【期日】平成27年12月25日～1月17日
- d ライブラリー企画 【期日】年6回

カ 広報事業

- (ア) 美術館ニュース「アプリーレ」……年2回
- (イ) 企画展チラシ、ポスター……企画展の開催の都度
- (ウ) 常設展展示目録、ポスター……常設展の展示替えの都度
- (エ) 美術館スケジュール等……年4回

キ 美術品修復保存事業

美術品をより良い状態で保存し展示に活用するため、所蔵作品の修復を実施。

3 文化交流・連携の促進

本県文化の全国への発信及び出演団体の資質の向上を図るため、国民文化祭への派遣団体に対し、交通費の一部を補助した。

○ 国民文化祭参加推進事業

- 【期 日】平成27年10月31日～11月15日
- 【場 所】鹿児島県
- 【参 加】3団体、計59人
- 【補助額】1,145千円

第2 児童生徒に対する文化活動支援

児童生徒の文化活動を支援することにより、本県芸術文化の次代の担い手が育つ体制づくりを推進した。

1 青少年劇場

(1) 本公演

[単位：公演、人]

種 目	演 目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
声 楽	混声四重唱とあそぼう 『オペラ』ってなあ に？	平成27年6月29日～7月3日	田野畑村ほか8市町村	10	2,719
児童劇	笑いの芸能「寄席」	平成27年5月25日～6月29日	岩手町ほか7市町村	9	2,797
器 楽	世界に誇る日本の音色 ワヨウセイヨウ	平成27年6月18日 6月22日～26日	平泉町ほか5市町	11	3,714

(2) 小公演

[単位：公演、人]

種 目	演 目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
語り	杜小春	平成27年9月30日～10月1日	岩泉町ほか3市町	3	181

2 文化芸術による子どもの育成事業（巡回公演事業）

[単位：公演、人]

種目・演目	期 日	会 場	公演数	鑑賞者数
オーケストラ、児童劇、音楽劇、演劇、邦舞	平成27年6月～12月	一関市立荻荘中学校ほか14校	14	2,810

文化芸術による子どもの育成事業（派遣事業）

[単位：公演、人]

種目・演目	期 日	会 場	事業数	鑑賞者数
音楽（ピアノ）	平成27年6月5日	県立宮古高等学校	1	507
演劇（人形劇）	平成27年7月3日	県立一関清明支援学校	1	13

3 第37回岩手県高等学校総合文化祭

[単位：人]

部 門	期 日	会 場	参加校数等	入場者数
総合開会式	平成27年10月2日	久慈市文化会館 アンバーホール	89校 約1,200人	—
書 道	平成27年11月10日～17日	岩手県民会館展示室	45校 1,033点	598
美術工芸	平成27年11月27日～30日	岩手県民会館展示室	61校 922点	1,983
合 唱	平成27年7月10日	花巻市文化会館大ホール	37団体	—
	平成27年8月29日	岩手県民会館大ホール	29校 (30団体)	—
吹奏楽	平成27年7月26日	岩手県民会館	20校	約2,500
	平成27年8月1日	北上市文化交流センター さくらホール	12校	約2,500
演 劇	平成27年10月22日～24日	岩手県民会館大ホール	12校 208人	410
文 芸	平成27年10月1日	岩手県民会館中ホール	37校 7,365点	約160
囲 碁	平成27年10月9日～10日	岩手県高校教育会館	15校 83人	—
将 棋	平成27年10月23日～24日	岩手県高校教育会館	23校 167人	—
器 楽	平成27年10月30日	岩手県民会館中ホール	5校 114人	約180
写 真	平成27年10月29日～11月2日	岩手県民会館展示室	30校 250点	409
放 送	平成27年6月8日～9日	岩手県民会館	23校 270エントリー	10
	平成27年11月10日～11日	岩手県民会館	21校 166エントリー	10
郷土芸能	平成27年10月24日	北上市文化交流センター	16校 人	1,300
新 聞	平成27年10月16日	岩手県公会堂	6校 9作品	—
自然科学	平成27年12月8日	岩手県立総合教育センター	11校 18件	—
英 語	平成27年9月18日	岩手県民会館中ホール	16校 27人	約120
日本音楽	平成27年10月6日	岩手県民会館中ホール	6校 84人	59
国際理解	平成27年9月10日	盛岡市勤労福祉会館	6校 8人	56
	平成27年10月7日	岩手県赤十字病院 記念講堂	15校 73人	78
マーチングバンド・ バトントワリング	平成27年9月27日	奥州市総合体育館	7校 人	約2,000
小倉百人一首かるた	平成27年10月17日	二戸市文化会館和室	4校 24人	—
軽音楽	平成27年9月4日	岩手県民会館中ホール	18校32団体142人	約400

4 第38回全国高等学校総合文化祭

平成27年7月に滋賀県等で開催された全国高等学校総合文化祭に計455人の高校生を派遣した。

部 門	期 日	会 場	派遣学校名 (派遣生徒数)
パレード	平成27年7月28日		盛岡第四高等学校(18) 盛岡市立高等学校(53)
合 唱	平成27年7月30日	びわ湖ホール	盛岡第三高等学校(32)
吹奏楽	平成27年7月31日～8月1日	守山市民ホール	黒沢尻北高等学校(55)
器楽・管弦楽	平成27年7月28日～29日	守山市民ホール	久慈高等学校(36)
日本音楽	平成27年7月31日～8月1日	びわ湖ホール	盛岡第二高等学校(36) 千厩高等学校(12)
郷土芸能	平成27年7月29日～31日	甲賀市あいこうか市民ホール 甲賀市碧水ホール	北上翔南高等学校(56) 宮古水産高等学校(10)
マーチングバンド・ バトントワリング	平成27年7月30日	野洲市総合体育館	盛岡第四高等学校(18) 盛岡市立高等学校(53)
美術・工芸	平成27年7月28日～8月1日	県近代美術館 野洲文化ホール	盛岡第二高等学校(1) 盛岡北高等学校(1) 北上翔南高等学校(1) 久慈高等学校(1) 黒沢尻北高等学校(1) 不来方高等学校(2)
書 道	平成27年7月28日～8月1日	県立体育館 県立武道館	盛岡第一高等学校(1) 不来方高等学校(1) 盛岡第四高等学校(1) 盛岡北高等学校(1) 盛岡市立高等学校(1) 福岡高等学校(1) 水沢高等学校(1)
写 真	平成27年7月28日～8月1日	大津市民会館・公民館 ピアザ淡海	宮古商業高等学校(1) 千厩高等学校(1) 盛岡北高等学校(3) 遠野緑峰高等学校(2) 盛岡商業高等学校(1)
放 送	平成27年7月31日～8月1日	栗東芸術文化会館きさら	盛岡第三高等学校(3) 盛岡第一高等学校(5) 盛岡市立高等学校(1) 不来方高等学校(1) 岩手高等学校(2) 盛岡白百合学園高等学校(1)
囲 碁	平成27年7月30日～31日	長浜ロイヤルホテル	盛岡第一高等学校(1) 岩手高等学校(1) 水沢高等学校(1) 盛岡第四高等学校(1) 盛岡第二高等学校(1)
将 棋	平成27年7月28日～29日	長浜ロイヤルホテル	盛岡第二高等学校(1) 釜石高等学校(1) 盛岡第一高等学校(8)
弁 論	平成27年7月29日～30日	大津市生涯学習センター	伊保内高等学校(1)
小倉百人一首 かるた	平成27年7月29日～31日	守山市民体育館	一関第一高等学校(8)
新 聞	平成27年7月28日～8月1日	県立文化産業交流会館 米原市公民館	黒沢尻工業高等学校(2) 高田高等学校(2)
文 芸	平成27年7月28日～8月1日	高島民会館 今津東コミュニティセンター	盛岡第四高等学校(1) 盛岡第三高等学校(2) 水沢高等学校(1) 盛岡第二高等学校(1)
自然科学	平成27年7月30日～8月1日	八日市文化芸術会館 (30日～31日) 大津市民会館・公民館 (1日)	水沢高等学校(2) 福岡高等学校(2) 盛岡農業高等学校(2) 盛岡第一高等学校(2)

5 平成27年度 セミナーサポート事業

以下の各部門の高校生を対象とした技術講習会を開催する経費を補助した。

部 門	期 日	会 場	参加者数等
書 道	平成27年11月17日	岩手県民会館中ホール	45校 1,033人
美術工芸	平成27年8月7日	奥州市文化会館（Zホール）	12校 82人
合 唱	平成27年5月27日～29日	二戸市文化会館、宮古市民文化会館、 盛岡市民文化ホール、二戸市文化会館、 一関文化センター	12校
	平成27年6月23日～26日		17校
演 劇	平成27年5月29日～30日	岩手県民会館、岩手県公会堂 プラザおでって	30校 424人
文 芸	平成27年10月1日	岩手県民会館中ホール他	37校
囲 碁	平成27年7月3日	岩手県高校教育会館	14校 81人
将 棋	平成27年7月10日	岩手県高校教育会館	21校 190人
器 楽	平成27年5月24日	盛岡劇場・河南公民館	5校 145人
写 真	平成27年10月28日	岩手県民会館中ホール	30校 356人
放 送	平成27年7月11日	NHK盛岡放送局	15校 54人
	平成27年9月20日	岩手県民会館	17校 110人
	平成27年10月14日	岩手県民会館	21校 168人
	平成27年11月29日	岩手県民会館	9校 51人
	平成27年12月23日	岩手県民会館	13校 52人
伝統芸能	平成27年10月24日	北上市文化交流センター	16校 400人
新 聞	平成27年10月16日	岩手県公会堂	6校 38人
自然科学	平成27年8月1日～2日	国立天文台水沢V L B I 観測所 奥州宇宙遊学館	3校 11人
	平成27年8月5日	岩手生物工学研究センター	4校 13人
日本音楽	平成27年6月30日	一関文化センター中ホール	6校 99人
マーチングバンド・ バトントワリング	平成27年12月24日	花巻市総合体育館	6校 118人
			3校 21人
百人一首・かるた	平成27年6月20日～21日	盛岡市桜山神社	6校 27人
軽音楽	平成27年9月4日	岩手県民会館中ホール	18校32団体 142人

6 岩手県中学校文化連盟への補助

【補助事業】 第14回岩手中学校総合文化祭

[開催日] 平成27年11月20日……………開会式、舞台部門：参加者 814人

平成27年11月20日～23日……………展示部門：参加者 2,691点

[会 場] 岩手県民会館

【補助額】 1,400千円

第3 文化芸術による地域振興体制づくりへの支援

優れた文化芸術の鑑賞への橋渡しを行う窓口の設置により、県民が気軽に紹介、アドバイス等を受けることができる体制づくりと文化芸術活動を行う団体、企業、行政等のネットワーク構築を環境生活部と連携して推進した。

○ 文化芸術ネットワークの設置

県では、県内4広域振興圏に文化芸術活動に係る諸課題についてのアドバイスやコーディネートを行う「岩手県文化芸術コーディネーター」を設置し、平成27年3月に改訂した「岩手県文化芸術振興指針」に基づき、各広域振興圏において上記コーディネーターを中心とした文化芸術振興に係るネットワークづくりのための連携会議「文化芸術支援ネットワーク会議」を開催し、関係機関・団体間での意見・情報交換を行った。

第10節 郷土への誇りと愛着を深める歴史遺産の継承と伝統文化の振興

第1 世界遺産登録の推進と柳之御所遺跡の整備活用

地域の優れた歴史、文化を十分認識することにより、県民が地域の誇りと保存管理の重要性を再確認し次代に継承していくことの一つとして、「平泉の文化遺産」の世界遺産登録に向けた取組を着実に推進した結果、中尊寺ほか4資産が「平泉一仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群一」として平成23年に登録された。また、柳之御所遺跡ほかの資産について、追加登録への取組を平成25年から継続実施している。併せて、柳之御所遺跡については、史跡公園としての整備活用を推進した。

釜石市の橋野鉄鉱山を含む明治日本の産業革命遺産については平成27年に世界遺産に登録され、登録の際の勧告に対する取組を内閣官房及び世界遺産登録推進協議会（事務局：鹿児島県）と連携を図りながら推進した。「北海道・北東北の縄文遺跡群」については関係道県や関係市町と連携を図りながら、世界遺産登録に向けた取組を推進した。

1 世界遺産登録の推進等

(1) 世界遺産登録推進事業

「平泉の文化遺産」については、柳之御所遺跡、達谷窟、白鳥館遺跡、長者ヶ原廃寺跡、骨寺村荘園遺跡の5資産の拡張による追加登録を目指しており、有識者による平泉の文化遺産世界遺産拡張登録検討委員会を1回開催したほか、追加登録に向けて、これまでの課題を整理し、顕著な普遍的価値を明らかにするため、研究集会「アジアにおける平泉文化」を開催した。

また、登録された5資産に追加登録を目指す資産を加えた保存管理を適切に行うため、遺産影響評価や来訪者管理戦略に基づく周遊マップの作成を行った。

そのほか、資産の保存管理に関する意識の向上を図るため、平泉世界遺産の日関連登録4周年記念講演会の開催、県内の小・中学校、高校等における「平泉出前授業」（24校）などの普及啓発事業を実施した。

【総事業費】 11,131千円

○ 登録4周年記念講演会

【期日】 平成27年6月13日 【会場】 平泉町役場2階会議室 【入場者数】 約60人

【内容】 講演会「平泉一仏国土（浄土）を表す建築・庭園及び考古学的遺跡群一」イコモス勧告及び世界遺産委員会決議の概要と今後

○ 平泉出前授業

実施校数：小学校19校、中学校3校、高等学校1校、特別支援学校1校

○ 教員を対象とする平泉現地研修会

【期日】 平成27年8月7日

【参加者】 20人（小学校10人、中学校5人、高等学校2人、特別支援学校3人）

(2) 縄文世界遺産登録推進事業

北海道・青森県・岩手県・秋田県の4道県に所在する縄文遺跡群は、「北海道・北東北の縄文遺跡群」として、平成21年1月5日にユネスコ世界遺産センターの世界遺産暫定一覧表に記載された（本県では一戸町の御所野遺跡が構成資産）。

この「北海道・北東北の縄文遺跡群」の世界遺産登録を推進するため、専門家委員会及び国際会議等を開催し、構成資産及び縄文時代・縄文文化についての定義づけ等を検討し、文化庁へ推薦書改定案を提出した。

また、国内フォーラムを岩手県で開催し、縄文遺跡群の価値についての普及活動を行った。

【総事業費】 4,718千円

- 国内フォーラム（岩手県開催）

【期日】平成27年12月6日 【会場】サンセール盛岡 【入場者数】約120人

【内容】基調講演、遺跡報告

(3) 明治日本の産業革命遺産世界遺産登録推進事業

「明治日本の産業革命遺産」は、産業遺産分野におけるシリアル・ノミネーションとして平成21年1月に世界遺産暫定一覧表に追加記載され、平成27年7月8日に世界遺産に登録された（本県では釜石市の橋野鉄鉱山が構成資産）。

県では内閣官房及び世界遺産登録推進協議会と連携し、世界遺産登録の際の決議事項への取組を推進した。また、橋野鉄鉱山世界遺産登録記念フォーラムを開催した。

【総事業費】 26,578千円

- 橋野鉄鉱山世界遺産登録記念フォーラム

【期日】平成27年12月13日 【会場】盛岡市民文化ホール

【内容】基調講演、パネルトーク 【入場者数】約550名

2 柳之御所遺跡の整備活用

(1) 柳之御所遺跡整備調査事業

奥州藤原氏の政庁「平泉館」と推定されている柳之御所遺跡の史跡整備及び内容確認のための発掘調査を行った。併せて調査整備指導委員会を開催した。

【総事業費】 73,378千円

(2) 柳之御所遺跡土地公有化事業

史跡の恒久的な保全を図るため、柳之御所遺跡内の民有地の公有化を推進した。

【総事業費】 69,329千円

(3) 平泉文化研究機関整備推進事業

平泉文化について共同研究を推進し、その成果をまとめた。

【総事業費】 1,500千円

第2 伝統芸能等の伝承や郷土理解のための学校教育との連携

地域の歴史や風土の中で培われてきた伝統芸能や文化財等を内外に広く情報発信したほか、次代を担う子どもたちが郷土の歴史や文化を十分に理解し、進んで継承していけるよう様々な取組を支援した。

1 文化財の保存と管理

(1) 岩手県文化財保護審議会の開催状況

	期 日	会 場	審議事項
第1回岩手県文化財保護審議会	平成27年9月11日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定等について (6件)
第2回岩手県文化財保護審議会	平成28年2月10日	県庁12階特別会議室	岩手県指定文化財の指定等について (2件)

(2) 文化財の指定

平成27年4月7日 岩手県教育委員会告示第2号

指定番号	種 別	名 称	員 数	所有者
有第250号	古文書	嘉永六年盛岡藩三閉伊通百姓一揆畠山 家文書 附 三重箱	3通 1組	田野畑村田野畑110番地4 畠山 富貴子

平成27年4月7日 岩手県教育委員会告示第3号

指定番号	名 称	保持団体
無民第43号	犬吠森念仏剣舞	犬吠森念仏剣舞保存会

平成27年11月6日 岩手県教育委員会告示第5号

指定番号	種 別	名 称	員 数	所有者
有第251号	彫刻	木造六臂十一面観音菩薩立像	1 軀	陸前高田市矢作町字寺前79番地 宗教法人観音寺
有第252号	彫刻	木造天部形立像（伝毘沙門天）	1 軀	陸前高田市矢作町字寺前79番地 宗教法人観音寺
有第253号	彫刻	木造観音菩薩立像（伝虚空蔵菩薩）	1 軀	陸前高田市矢作町字寺前79番地 宗教法人観音寺
有第254号	彫刻	木造十一面観音菩薩立像	1 軀	陸前高田市小友町字上の坊24番地 宗教法人定膳寺
有第255号	工芸品	時鐘 南部盛岡城楼鐘	1 口	花巻市城内9番30号 花巻市
有第256号	工芸品	時鐘 奥州路磐手郡盛岡県城北更鐘	1 口	盛岡市内丸12番2号 盛岡市

(3) 文化財の保存修理及び保護対策事業

ア 文化財保存修理事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
国指定文化財・修理・防災事業	法人 1 件	5,025	873
国指定文化財・指定史跡等保存整備（一般）事業	平泉町ほか 2 件	70,736	17,633
〃 26年度からの繰越事業	釜石市 1 件	8,515	1,500
国指定文化財・指定史跡等購入事業	平泉町 1 件	62,130	5,655
県指定文化財・修理・防災事業	個人 2 件	2,728	1,364
県指定文化財・指定文化財保存活用整備事業	個人 1 件	946	473

イ カモシカ保護対策事業

[単位：千円]

事業名	補助事業者	総事業費	うち県費補助額
食害対策	住田町ほか 1 町	1,759	879

(4) 文化財の調査

ア 指定候補物件調査

種別	名称	実施期日
有形文化財	木造六臂十一面観音菩薩立像 木造天部形立像（伝毘沙門天） 木造観音菩薩立像（伝虚空蔵菩薩） 木造十一面観音菩薩立像	平成27年 7 月 26 日
有形文化財	時鐘 南部盛岡城楼鐘 時鐘 奥州路磐手郡盛岡県城北更鐘	平成27年 7 月 28 日

イ 文化財パトロール事業
【総事業費】 1,233千円

ウ カモシカ特別調査事業
【総事業費】 2,135千円

エ カモシカ通常調査事業
【総事業費】 141千円

(5) 美術銃砲刀剣類の登録

【平成27年度登録件数】 114件

【総登録件数】 33,658件

2 埋蔵文化財の保護

(1) 県内遺跡発掘調査事業

ア 発掘調査

事業名	調査地区
北上川中流域河川改修工事（中村遺跡）	北上市
東北横断自動車道釜石秋田線（新里愛宕裏遺跡）	遠野市
地域連携道路整備事業折壁地区 室根バイパス（八幡沖遺跡）	一関市
地域連携道路整備事業一般国道340号和井内工区（袈帯遺跡）	宮古市
主要地方道重茂半島線地域連携道路整備事業 重茂地区（千鶏IV遺跡）	宮古市
宮古西道路（田鎖車堂前遺跡、田鎖遺跡）	宮古市
河川等災害復旧事業 市道沼の浜青の滝線（重津部I遺跡）	宮古市
市道赤前上下線道路整備事業（赤前III遺跡）	宮古市
三陸沿岸道路（西平内I遺跡、サンニヤ遺跡、北鹿糠遺跡、南鹿糠I遺跡、上のマッカ遺跡）	洋野町
三陸沿岸道路（中平遺跡、上泉沢遺跡）	野田村
三陸沿岸道路（高根遺跡、山口駒込I遺跡、青猿I遺跡、根井沢穴田IV遺跡、荷物日向I遺跡ほか）	宮古市
三陸沿岸道路（石峠II遺跡、間木戸I遺跡、房の沢IV遺跡）	山田町
三陸沿岸道路（田屋遺跡、白石遺跡）	大槌町
三陸沿岸道路（小白浜遺跡）	釜石市
警察施設災害復旧事業（宮野貝塚）	大船渡市
防災集団移転促進事業 赤前・津軽石地区（赤前III遺跡）	宮古市
土地区画整理事業 赤浜地区（赤浜II跡）	大槌町
土地区画整理事業 高田西地区（高田城跡）	陸前高田市
土地区画整理事業 高台IV（西和野I遺跡）	陸前高田市
町営災害公営住宅事業 大浦地区（川半貝塚）	山田町
防災集団移転促進事業 船越地区（クク井遺跡）	山田町
宮古盛岡横断道路 区界道路（盆花遺跡）	盛岡市

イ 試掘調査

事業名	調査地区
三陸沿岸道路	釜石市～洋野町
東北横断自動車道釜石秋田線	遠野市
宮古盛岡横断道路	宮古市、盛岡市
一関遊水地事業	一関市
地域連携道路整備事業 一般国道340号	住田町、宮古市
農地整備事業	盛岡市、一戸町
畑地帯総合整備事業（担い手育成型）	二戸市
主要地方道重茂半島線	山田町～宮古市

ほか83件

ウ 分布調査

事業名	調査地区
一般国道106号宮古盛岡横断道路	宮古市
農業水利施設保全合理化事業 国見地区	北上市
農村地域防災減災事業 東和北地区	花巻市
一般国道45号三陸沿岸道路	田野畑村
経営体育成基盤整備事業 小猪岡地区	一関市
産業廃棄物処理施設設置調査事業	八幡平市
地域連携道路整備事業 一般国道396号上宮守地区	遠野市
一般県道盛岡滝沢線下鶴飼地区	滝沢市
地域連携道路整備事業	奥州市
海岸勢外復旧工事 船越南地区	山田町

ほか 81件

(2) 埋蔵文化財緊急発掘調査事業

遺跡等の埋蔵文化財の実態把握及び開発事業との調整のために、市町村が実施する調査に対して、その経費の一部を助成した。

○ 発掘調査等 11市4町1村で実施

(3) 岩手県立埋蔵文化財センターの充実

発掘調査により得られた諸資料の整理及びデータ化を進めるとともに、機関誌の発行や研修会を主催して文化財の普及活用に取り組み、管理運営や教育普及活動事業の充実を図った。

【埋蔵文化財センター受託事業】

ア 発掘調査【計36遺跡】

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	北上市	中村遺跡
	遠野市	新里愛宕裏遺跡
	盛岡市	盆花遺跡
	大槌町	田屋遺跡、白石遺跡
	山田町	石峠Ⅱ遺跡、間木戸Ⅰ遺跡、房の沢Ⅳ遺跡
	宮古市	根井沢穴田Ⅳ遺跡、山口駒込Ⅰ遺跡、乙部野Ⅱ遺跡、荷竹日向Ⅰ遺跡、荷竹日影Ⅱ遺跡、高根遺跡、青猿Ⅰ遺跡
	野田村	中平遺跡、上泉沢遺跡
	洋野町	西平内Ⅰ遺跡、上のマッカ遺跡、サンニヤ遺跡、南鹿糠Ⅰ遺跡、北鹿糠遺跡
岩手県	宮古市	千鶏Ⅳ遺跡、田鎖車堂前遺跡、田鎖遺跡、袈帯遺跡、重津部Ⅰ遺跡、
	一関市	八幡沖遺跡
宮古市	宮古市	赤前Ⅲ遺跡、越田松長根Ⅰ遺跡
山田町	山田町	川半貝塚、クク井遺跡
大槌町	大槌町	赤浜Ⅱ遺跡
陸前高田市	陸前高田市	高田城跡、西和野Ⅰ遺跡

イ 報告書の発刊【計18遺跡】

13冊、各300部発刊

委託元	所在地	遺跡名
国土交通省	北上市	千苅遺跡
	平泉町	館岡Ⅱ遺跡
	久慈市	宇部館跡、北之越遺跡
	田野畑村	浜岩泉Ⅲ、菅窪長屋構Ⅱ遺跡、菅窪長屋構Ⅲ遺跡
	宮古市	向新田遺跡、青野滝北Ⅰ遺跡、青野滝北Ⅱ遺跡、青野滝北Ⅲ遺跡、磯鶏石崎遺跡、木戸井内Ⅵ遺跡
	大槌町	松磯遺跡
岩手県	平泉町	伽羅之御所跡
	大船渡市	宮野貝塚
宮古市	宮古市	赤前Ⅲ遺跡
山田町	山田町	焼山遺跡

ウ 調査報告書

平成27年度発掘調査略報 300部

エ 普及事業

(ア) 第36回埋蔵文化財展

【期間】平成27年10月30日～11月1日

【場所】九戸村公民館

【内容】地元の文化財を中心とした展示を行った。

(イ) 第37回埋蔵文化財発掘調査技術講習会

【期日】平成28年2月6日

【場所】県民会館中ホール

【内容】「縄文人の生と死－助成・子ども・老人－」

講師 国立歴史民俗博物館教授 山田 康弘 氏

(ウ) 第37回埋蔵文化財公開講座

【期日】平成27年12月11日

【場所】県立博物館

【内容】埋蔵文化財調査に携わる県内市町村職員等の考古学上の特別研修として、職務に必要な知識・技能の習得を行った。

(エ) 所報「わらびて」の発行

年2回発行（132号～133号）

3 文化財の積極的な活用

(1) 遺跡周知事業

文化財保護法第95条第1項の規定に基づき、遺跡に関する諸資料の整備とその周知徹底を継続して行うとともに、市町村担当職員の研修で指導・助言を行った。

- ア 遺跡台帳の改訂（電算化）
- イ 遺跡基本図の改訂（電算化）
- ウ 台帳、基本図の複製配布
- エ 現地確認調査等の事前協議
- オ 市町村文化財担当職員等の研修会における指導・助言
- カ 文化財保護法関連諸書類処理

(2) 伝統芸能伝承活動促進事業

民俗芸能団体のネットワーク組織である県民俗芸能団体協議会において、団体相互の情報交換や共通課題の解決に取り組んでいる（平成28年3月31日現在404団体加入）。

また、公演機会を確保し後継者の育成を図るため、次の事業を実施した。

- ア 岩手県民俗芸能フェスティバル
【期日】平成27年12月5日 【会場】県民会館（盛岡市）【鑑賞者数】1,000人
- イ 第57回北海道・東北ブロック民俗芸能大会
【期日】平成27年11月1日 【会場】仙台市民会館（仙台市）

第11節 生涯スポーツの振興

県民の誰もがそれぞれのライフステージにおいて、興味、関心、目的や適性等に応じて、「する、みる、支える」スポーツに親しみ、スポーツが生活の一部として日々の暮らしに定着していくことを目指し各事業を展開した。

第1 運動・スポーツに親しむ人々の広がり

「する・みる・支える」といった多様なスポーツ参加を推し進め、県民の誰もが、生涯にわたって、自主的にスポーツに親しむ生涯スポーツの振興を図った。

1 「生涯スポーツ推進月間」の充実

「生涯スポーツ推進月間」を設定し広く県民に周知したことにより、各市町村において、それぞれの地域の特色ある各種スポーツ大会等が多数開催され、多くの県民が参加した。

事業名	事業件数	参加人数
生涯スポーツ推進月間	220 件	83,115 人

第2 運動・スポーツに親しめる場の広がり

生涯スポーツ振興の拠点となる総合型等の地域スポーツクラブの創設・育成を図るとともに、県民の多様なニーズに対応できるよう、専門的知識と実践力を持った生涯スポーツ指導者の養成や資質の向上を図った。

1 総合型地域スポーツクラブの創設・育成

県広域スポーツセンターが中心となり、関係機関と連携をとりながら巡回指導等を行い、総合型地域スポーツクラブの創設・育成を図った。

【総合型地域スポーツクラブ創設状況（平成27年7月1日現在）】

[単位：クラブ、人]

市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計	市町村名	創設済クラブ		創設準備中 クラブ数	クラブ数 合計
	クラブ数	加入者数				クラブ数	加入者数		
盛岡市	5	2,253	3	8	陸前高田市	1	149	—	1
八幡平市	—	—	—	—	住田町	1	非会員制	—	1
雫石町	2	3,178	—	2	釜石市	2	282	—	2
葛巻町	1	162	—	1	大槌町	1	休止	—	1
岩手町	—	—	1	1	宮古市	2	1,022	—	2
滝沢市	1	454	—	1	山田町	—	—	—	—
紫波町	1	85	—	1	岩泉町	1	258	—	1
矢巾町	1	390	—	1	田野畑村	1	87	—	1
花巻市	2	26,775	—	2	久慈市	1	93	4	5
遠野市	10	2,639	1	11	洋野町	1	214	—	1
北上市	4	3,716	1	5	野田村	0	—	1	1
西和賀町	—	—	1	1	普代村	1	176	—	1
奥州市	5	6,292	—	5	二戸市	2	403	—	2
金ヶ崎町	2	337	—	2	軽米町	—	—	2	2
一関市	2	2,614	6	8	九戸村	—	—	—	—
平泉町	—	—	1	1	一戸町	2	328	—	2
大船渡市	1	98	—	1	計	53	52,005	21	74

2 指導者の養成確保及び資質向上

各種講習会、研修会等を開催し、指導者の養成確保及び資質の向上を図った。

【生涯スポーツ関係事業等実施状況】

- (1) 総合型地域スポーツクラブ運営研修会
【期日】①平成27年6月12日 【場所】大船渡市 【参加者数】32人
②平成27年10月28日 【場所】盛岡市 【参加者数】26人
- (2) 岩手県スポーツ推進委員研修会
【期日】平成27年9月11日～12日 【場所】一関市 【参加者数】183人

3 施設の整備充実

(1) 県営体育施設の状況

県営体育施設は、本県の中心的スポーツ施設として、全国規模の大会をはじめ、全県的な各種競技会の開催を通じて、本県スポーツの振興に大きな役割を果たしている。

県教育委員会で所管する体育施設は、次の7施設であり、住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減等を図るため、指定管理者制度を導入している。

県営運動公園ほか5施設は公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団が、県営スキージャンプ場は八幡平市が指定管理者に指定されている。

ア 県営運動公園（陸上競技場、補助競技場、野球場、ラグビー場、サッカー場、テニスコート、登はん競技場、交通公園）

イ 県営体育館

ウ 県営野球場（グラウンド、屋内練習場、トレーニング室）

エ 県営スケート場

オ 県営武道館（大道場、柔道場、剣道場、弓道場、相撲場、トレーニング室）

カ 県立御所湖広域公園艇庫

キ 県営スキージャンプ場

(2) 県営体育施設設備の整備

利用者が安全に楽しく利用できるよう、平成27年度は、次の施設・設備の改修工事等を行った。

ア 県営体育館音響設備更新

イ 県営体育館給排水全面改修工事

ウ 県営野球場スタンド外階段改修工事

エ 県営野球場トイレ改修工事

オ 県営野球場バッティングゲージ更新

カ 県営武道館天井改修工事

キ 県立御所湖広域公園艇庫繫索柱及び見通し板災害復旧工事

(3) 県営体育施設の利用状況

[単位：日、件、人]

施設名	区分	開館日数	利用件数	利用人数
県営運動公園		366	12,779	706,882
県営体育館		152	372	37,085
県営野球場		323	1,563	100,998
県営スケート場		295	833	42,632
県営武道館		324	3,391	165,678
県立御所湖広域公園艇庫		173	1,184	14,537
県営スキージャンプ場		185	54	306
計		—	20,176	1,068,118

4 公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団の事業

公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団は、県教育委員会等から指定管理者の指定及び業務委託を受け、施設管理及び各種事業を行っている。

県立青少年の家3施設における開催事業は、116～118ページのとおり。

それ以外の県営体育施設等における開催事業は、以下155ページまでのとおり。

【公益財団法人岩手県スポーツ振興事業団事務局 平成27年度受託事業及び自主事業】

- | | |
|---|---|
| <p>1 指導者派遣事業
【期日】5月～3月 市町村 37件
【場所】各市町村体育施設等 【参加者】1,610人</p> <p>2 被災地スポーツ支援事業
【期日】4月～3月 4市町村 12件
【場所】県内避難仮設住宅・被災地等 【参加者数】159人</p> <p>3 巡回グラウンド・ゴルフ交流記録会
【期日】5、7、9月
【場所】陸前高田市、宮古市 2市 6件
【参加者数】177人</p> <p>4 武道教室・稽古始演武会
【内容】柔道、剣道、なぎなた、弓道、空手道 他
【期日】4月～3月
【場所】県営武道館 【参加者数】12,330人</p> <p>5 ボルダリング無料体験会
【期日】4月29日、10月12日
【場所】県営運動公園登はん場 【参加者数】726人</p> <p>6 親子ランニング教室
【期日】5月3日、8月31日
【場所】県営運動公園陸上競技場 【参加者数】496人</p> <p>7 親子野球教室
【期日】9月27日
【場所】県営野球場 【参加者数】83人</p> <p>8 第27回湖上フェスティバル
【期日】7月26日
【場所】県立御所湖広域公園艇庫 【参加者数】246人</p> <p>9 第21回県民スポーツ・レクリエーション祭
【期日】9月～11月 10種目
【場所】県営体育施設 【参加者数】4,610人</p> <p>10 第8回高齢者健康・体づくり指導者セミナー
【期日】9月11日
【場所】県営武道館 【参加者数】74人</p> <p>11 スポーツフェスティバル2015
【期日】10月12日
【場所】県営体育施設 【参加者数】3,693人</p> <p>12 スケート場オープニング事業
【期日】11月3日
【場所】県営スケート場 【参加者数】1,202人</p> <p>13 スケートキッズOnサタデー
【期日】11月～3月の土曜日 計15回
【場所】県営スケート場 【参加者数】4,004人</p> <p>14 第29回氷上フェスティバル
【期日】12月12日
【場所】県営スケート場 【参加者数】1,254人</p> <p>15 スポーツボランティア研修会
【期日】5月9日
【場所】検視運動公園 【参加者数】34人</p> | <p>16 健康・体づくり運動の指導プログラムに関する研究
【期日】通年</p> <p>17 [自主事業] 運動公園さくらまつり
【期日】4月24日～26日
【場所】県営運動公園内</p> <p>18 [自主事業] 春を訪ねてウォーキング!
【期日】5月16日
【場所】県営運動公園～東北農業研究センター
【参加者数】7人</p> <p>19 [自主事業] すまいるグラウンド・ゴルフ練習会
【期日】5月～10月 計20回
【場所】県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】861人</p> <p>20 [自主事業] すまいるソフトテニス教室
【期日】5月～10月 計16回
【場所】県営運動公園テニスコート 【参加者数】202人</p> <p>21 [自主事業] スポ振ぶらんちクラブ
【期日】5月～10月 計16回
【場所】県営運動公園内</p> <p>22 [自主事業] すまいるグラウンド・ゴルフ交流会
【期日】6月～9月 計3回
【場所】県営運動公園内 【参加者数】400人</p> <p>23 [自主事業] 植物・樹木観察会
【期日】6月2日
【場所】県営運動公園内 【参加者数】102人</p> <p>24 [自主事業] 夏休み1dayキッズサッカースクール
【期日】7月30日
【場所】県営運動公園陸上競技場 【参加者数】64人</p> <p>25 [自主事業] 鯉放流事業～大きく育てみんなの鯉～
【期日】7月31日
【場所】県営運動公園内日本庭園 【参加者数】39人</p> <p>26 [自主事業] 第4回理事長杯G・Gグラウンドチャンピオン大会
【期日】10月29日
【場所】県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】153人</p> <p>27 [自主事業] すまいるボルダリング教室
【期日】12月～2月 全8回
【場所】県営運動公園屋内登はん場 【参加者数】119人</p> <p>28 [自主事業] 家族で雪っこ体験教室
【期日】1月23日
【場所】県営運動公園陸上競技場他 【参加者数】35人</p> <p>29 [自主事業] すまいる卓球Room
【期日】通年
【場所】県営運動公園ふれあいハウス 【参加者数】2,406人</p> |
|---|---|

【県営体育館 平成27年度自主事業】

- | | |
|--|---|
| 1 キッズ運動塾
【期日】4月～7月 計12回
【参加者数】337人 | 3 春のヒップホップ教室
【期日】6月～7月 計8回
【参加者数】245人 |
| 2 ぶらんちクラブ
【期日】5月～7月 計8回
【参加者数】485人 | |

【県営武道館 平成27年度自主事業】

- | | |
|--|--|
| 1 ぶらんちスポーツクラブ
【期日】5月～2月 計112回
【参加者数】3,849人 | 4 少年柔道教室
【期日】12月26日～28日
【参加者数】80人 |
| 2 スポ振キッズうんどう塾
【期日】5月～10月
【参加者数】550人 | 5 少年剣道教室
【期日】12月26日～28日
【参加者数】74人 |
| 3 弓道教室
【期日】6月～7月 計10回
【参加者数】293人 | 6 希望郷いわて国体空手道競技体験会
【期日】1月9日
【参加者数】284人 |

【県営野球場 平成27年度自主事業】

- | | |
|---|---|
| 1 県営野球場バランスボール教室
【期日】5月～2月 計16回
【参加者数】96人 | 3 室内グラウンド・ゴルフ練習会、記録会
【期日】12月～2月 計23回
【参加者数】2,253人 |
| 2 親子野球教室
【内容】2016国体会場で楽天イーグルスに教わろう
【期日】6月6日 【参加者数】77人 | |

【県立御所湖広域公園艇庫 平成27年度自主事業】

- | | |
|--|---|
| 1 湖上ウォークラリー
【期日】5月11日
【参加者数】11人 | 4 親子カヌー教室
【期日】8月1日～2日
【参加者数】40人 |
| 2 御所湖探検カヌー教室
【期日】5月16日
【参加者数】15人 | 5 御所湖カヌー教室普及艇カヌー記録会
【期日】9月5日～6日
【参加者数】20人 |
| 3 シニアカヌー教室
【期日】9月13日
【参加者数】12人 | |

【県営スケート場 平成27年度自主事業】

- | | |
|---|---|
| 1 スケート教室
【期日】 2月の日曜日 計3回
【参加者数】 30人 | 2 第29回氷上フェスティバル スケートレッスンタイム
【期日】 12月12日
【参加者数】 137人 |
|---|---|

【県立花巻広域公園 平成27年度自主事業】

- | | |
|---|---|
| 1 ぎんがのもり春まつり
【期日】 5月4日
【参加者数】 2,994人 | 6 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ練習会
【期日】 5月～8月 計6回
【参加者数】 226人 |
| 2 ぎんがのもり夏まつり
【期日】 7月20日
【参加者数】 2,148人 | 7 ぎんがのもり森の恵み工作
【期日】 6月～10月 計3回
【参加者数】 55人 |
| 3 ぎんがのもり秋まつり
【期日】 10月12日
【参加者数】 1,860人 | 8 ぎんがのもりドッグフェスティバル
【期日】 10月18日
【参加者数】 282人 |
| 4 ぎんがのもりノルディックウォーキン
【期日】 5月10日
【参加者数】 12人 | 9 ぎんがのもりキッズサッカースクール
【期日】 10月10日
【参加者数】 28人 |
| 5 ぎんがのもりグラウンド・ゴルフ大会
【期日】 5月～10月 計4回
【参加者数】 423人 | |

【県勤労身体障がい者体育館 平成27年度自主事業】

- | | |
|---|---|
| 1 スポーツ吹矢交流会
【期日】 5月31日
【参加者数】 24人 | 5 パラリーナフェスティバル
【期日】 10月12日
【参加者数】 30人 |
| 2 ニューススポーツ交流会
【期日】 6月21日
【参加者数】 25人 | 6 卓球バレー交流会
【期日】 11月1日
【参加者数】 22人 |
| 3 車椅子バスケットボール体験会
【期日】 6月28日
【参加者数】 27人 | 7 冬のヒップホップ教室
【期日】 11月～12月 計6回
【参加者数】 57人 |
| 4 車椅子バスケットボールフェスタ
【期日】 7月12日、9月20日
【参加者数】 85人 | 8 いきいきママさんバレーボール交流会
【期日】 2月28日
【参加者数】 57人 |

第3 ネットワークの広がり

生涯スポーツを推進する団体等の連携を充実させるため、広域スポーツセンター機能の拡大と充実を図るとともに、県民の多様なニーズに応えるネットワークの構築を図った。

1 生涯スポーツに関する情報提供

岩手県広域スポーツセンターのホームページを更新し、スポーツ指導者とスポーツの指導を求める県民への情報の提供等を行うとともに、総合型地域スポーツクラブ等の情報も新たに更新し生涯スポーツを推進する団体間の連携強化を図った。

2 平成27年度各種登録指導者数

- (1) 県スポーツリーダーバンク登録者…… 213人
- (2) 地域スポーツ指導者……1,851人（前年比 68人増）
- (3) 競技力向上指導者…… 371人（前年比 23人増）
- (4) 商業スポーツ施設指導者…… 36人（前年比 2人減）
- (5) フィットネス系資格指導者…… 108人（前年比 1人減）
- (6) メディカル・コンディショニング資格指導者…… 96人（前年比 9人増）
- (7) 総合型地域スポーツクラブ資格…… 144人（前年比 11人増）
- (8) レクリエーション関係資格指導者……1,198人（前年比 54人減）
- (9) 県スポーツ少年団指導者……5,689人（前年比 327人増）

第12節 競技スポーツの強化

第1 中長期的な視点に立った選手育成並びに指導者養成

1 優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発

将来世界に羽ばたくアスリートの輩出を目指して、「いわてスーパーキッズ発掘・育成事業」を実施し、下記のプログラムを行うことにより、優れた素質を有する児童の早期発掘と系統的な能力開発を行った。

プログラム名	実施回数
スペシャルスクール	7回
コンディショニングスクール	8回
競技体験トレーニングスクール	8回
パスウェイプログラム	6回
特別応援プログラム（冬季国体）	2回
トレーニングキャンプ（夏季・冬季）	2回
キッズトライアル（競技体験）	1回
体力測定（3月・8月）	2回

2 選手の育成・強化

平成28年国民体育大会の本県開催に向けて、「県民」「企業」「団体」等と協働する岩手型の競技力向上対策として各種強化事業を実施した。

事業名	対象
ジュニア選手強化事業	中学生 39 競技・高校生 38 競技
トップ選手強化事業	40 競技
指導者スキルアップ事業	40 競技
コーチ派遣事業	40 競技
強化指定校・ 強化指定クラブ支援事業	強化指定校：33 競技 34 校 強化指定クラブ：14 競技 17 団体
重点競技強化事業	40 競技 136 種別
ターゲットエイジ支援事業	37 競技
ふるさと選手支援事業	40 競技
強化選手支援事業	40 競技
優秀指導者招聘事業	40 競技

3 指導体制の確立

指導者の養成及び資質の向上を図るため、指導者スキルアップ事業やコーチ派遣事業等を実施した。

4 各種全国大会の結果

第70回国民体育大会の本県の成績は、男女総合成績（天皇杯）は16位[1099点]となり、前回の37位[807.5点]と比較して順位を21位、得点を291.5点上げている。

また、入賞数は25競技94種目であり、前回の20競技から5競技増、入賞種目数は前回71種目から23種目増となっている。

大会名	入賞数
第70回国民体育大会	94
平成27年度全国高等学校総合体育大会	48
平成27年度全国中学校体育大会	17

第2 競技団体・学校体育団体等の組織体制の充実に向けた支援

1 学校体育団体との連携強化

ジュニア期の強化のため、その母体となっている学校体育団体との連携を一層強化することとし、中学校・高等学校の連携による継続指導等、選手強化の重点化を図った。

2 一貫指導システムの構築

各競技団体において、系統的な選手育成を図るため、各中央競技団体の進めている一貫指導システムを積極的に取り入れ、小中高一貫指導プランを活用し、強化事業を推進した。（41競技団体中38競技団体が作成）

3 主要体育大会（県内開催）

体育大会名	期日	会場
第67回岩手県高等学校総合体育大会	平成27年5月26日～6月21日	盛岡市ほか
第62回岩手県中学校総合体育大会	平成27年7月18日～20日	盛岡市ほか
平成27年度全国高等学校総合体育大会（夏季大会）	平成27年7月28日～8月20日	和歌山県ほか
第44回全国中学校ハンドボール大会	平成27年8月21日～24日	花巻市
第45回全国中学校バスケットボール大会	平成27年8月22日～25日	一関市ほか
第65回岩手県高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会	平成27年11月7日～12月15日	盛岡市ほか
第48回岩手県中学校スケート大会	平成27年11月7日～12月5日	盛岡市
第65回岩手県中学校スキー大会	平成28年1月10日～13日	八幡平市
第65回岩手県高等学校スキー大会	平成28年1月10日～14日	八幡平市ほか
第65回全国高等学校スケート競技・アイスホッケー競技選手権大会	平成28年1月18日～23日	盛岡市ほか

4 学校体育団体助成

団体名	助成金額
岩手県中学校体育連盟	22,895千円
岩手県高等学校体育連盟	70,933千円

第3 スポーツ医・科学サポート体制の充実

競技者の育成を組織的かつ戦略的に行うためには、スポーツ医・科学に基づいた体力分析、トレーニングの本格的実施が不可欠であるため、スポーツ医・科学サポートスタッフのスキルアップやプログラムの研究開発などを推進し、スポーツ医・科学体制の整備・拡充を図る。

また、第71回国民体育大会に向け、国体選手等の競技力向上や指導者の資質向上を図るため、専門的スタッフ等の人員配置など、スポーツ健康科学サポート推進事業の実施体制の充実を進めた。

実施事業	実施回数
スタッフ研修会	3回
競技力向上サポート事業	12回
データ活用事業	31回

[参考] 各県営施設で開催された主な競技会・イベント等

平成27年度に県営施設において開催された主な競技会・イベント等は以下のとおりである。

[単位：人]

施設	競技会等の名称	期日	参加者数 (入場者数)
県営運動公園	盛岡・東北サッカーリーグ	4月5日(日)～11月15日(日)	3,600
	みちのく東北リーグ(サッカー) U13～U15	4月19日(日)～11月15日(日)	1,293
	JリーグポラリスU14	5月6日(水)～11月21日(土)	226
	東北地区大学サッカーリーグ	5月9日(土)～11月3日(火)	1,879
	東北社会人サッカーリーグ	5月17日(日)～7月5日(日)	285
	高円宮杯U18サッカーリーグ	5月17日(日)～9月27日(日)	480
	関東・東北壮年軟式野球大会	6月7日(日)	80
	東日本軟式野球大会(2部)	7月4日(土)～20日(月)	720
	第43回東北総合体育大会山岳競技	7月25日(土)～26日(日)	120
	北日本学生陸上競技対抗選手権	8月8日(土)～9日(日)	1,450
	第43回東北総合体育大会サッカー競技	8月13日(木)～16日(日)	1,000
	第6回全国中学校ラグビーフットボール大会 北海道・東北予選	8月22日(土)～23日(日)	200
	高松宮賜杯全日本軟式野球大会	9月27日(水)～10月18日(日)	720
	希望郷いわて国体サッカーリハーサル大会 全国社会人サッカー大会	10月13日(火)～20日(火)	6,096
県営野球場	プロ野球パリーグ公式戦楽天×ソフトバンク	7月29日(水)	16,048
県営武道館	東北格闘技大会BRAVE-26	4月5日(土)	100
	第28回マルちゃん杯東北少年柔道大会	5月9日(土)～10日(日)	2,500
	第45回東北高等学校弓道選手権大会	6月20日(土)～21日(日)	570
	第25回東北高等学校弓道錬成大会	8月7日(金)～9日(日)	190
	東北格闘技大会BRAVE-27	8月9日(日)	200
	東北総合体育大会空手道競技	8月22日(土)～23日(日)	320
	東北総合体育大会ボクシング競技	8月28日(金)～30日(土)	300
	東北弓道教錬士研修会	9月12日(土)～13日(日)	30
	弓道東北北部三県連合審査	10月25日(日)	85
	第71回国民体育大会冬季大会スケート・アイススケート競技会開始式	1月27日(水)	2,000
	第71回国民体育大会冬季大会スケート・アイススケート競技会表彰式	1月31日(日)	1,000
東北中学校春季柔道大会	3月19日(土)～20日(日)	650	
県立御所湖広域公園艇庫	平成27年度第18回東北高等学校カヌースプリント選手権大会兼第71回国民体育大会リハーサル大会	6月19日(金)～21日(日)	600
	平成27年度国民体育大会東北ブロック兼第42回東北総合体育大会カヌー競技	7月17日(金)～18日(土)	400
県営スケート場	第65回全国高等学校スケート競技アイスホッケー競技選手権大会	1月18日(月)～23日(土)	670
	第71回国民体育大会冬季大会スケート競技会	1月28日(木)～31日(日)	1,860